



取付・設置業者様へ

統合版

グラフィテクト カップボード 取付説明書

この「取付説明書」をよくお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で正しく安全に組み立ててくださいますようお願い申し上げます。

取付方法の動画を公開しています。
詳しくは裏表紙をご覧ください。

安全上のご注意 【必ずお守りください】	06
各部のなまえ	08
取付けに必要な工具	10
取付け前の確認	12
部材の確認	12
取付用木下地の確認	12
ワークトップデザインの確認	12
フルセパレート の取付け	13
引出し・扉・棚板の取外し	13
墨出し	14
◆ ベースキャビネットの取付け	16
樹脂製レッグの取付け	16
防水ゴムの取付け	17
キャビネットの並び順の確認	17
サイドパネルの取付け	18
キャビネットの設置	19
キャビネットの横連結	21
ワークトップの取付け	22
横並びワークトップの取付け	25
キャビネットの壁面固定	28
巾木の取付け	28
各種キャップ・カバーの取付け	29
把手の取付け	29
引出し・扉・棚板の取付け	30
◆ ウォールキャビネットの取付け	31
キャビネットの並び順の確認	31
サイドパネルの取付け	31
キャビネットの壁面固定	32
キャビネットの連結	33
各種キャップ・カバーの取付け	35
扉・棚板の取付け	35

ハーフツール の取付け 36

引出し・扉・棚板の取外し 36

墨出し 37

◆ ベースキャビネット・アッパーキャビネット・トップキャビネットの取付け 39

樹脂製レッグの取付け 39

キャビネットの並び順の確認 40

キャビネットの設置 40

キャビネットの上下連結 42

防水ゴムの取付け 43

サイドパネルの取付け 44

キャビネットの横連結 46

ワークトップの取付け 47

横並びワークトップの取付け 50

キャビネットの壁面固定 53

◆ ウォールキャビネットの取付け 53

キャビネットの並び順の確認 53

サイドパネルの取付け 54

キャビネットの壁面固定 54

キャビネットの連結 56

巾木の取付け 57

各種キャップ・カバーの取付け 58

把手の取付け 59

引出し・扉・棚板の取付け 59

フルツール の取付け 60

引出し・扉・棚板の取外し 60

墨出し 61

◆ ベースキャビネット・アッパーキャビネット・トップキャビネットの取付け	63
ふかし材の取付け	63
樹脂製レッグの取付け	64
キャビネットの並び順の確認	65
キャビネットの設置	65
扉緩衝材の取付け	67
背面ふさぎ板の取付け	68
アッパーキャビネットの積上げ	68
アッパーキャビネット（開き扉）の上下連結	69
ベースキャビネットの横連結	70
アッパーキャビネット（垂直フリッパー扉）の上下連結	70
トップキャビネットの上下連結	71
トップキャビネットの横連結	72
防水ゴムの取付け	73
サイドパネルの取付け	74
キャビネットの壁面固定	74
巾木の取付け	75
各種キャップ・カバーの取付け	76
把手の取付け	77
引出し・扉・棚板の取付け	77
清掃 / シーリング / 養生	78
清掃	78
シーリング	78
養生	79
引出しの取外し・取付け・調整方法	80
引出し	80
スライド棚	84
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法	89
開き扉	89
フラップ扉	93
垂直フリッパー扉	97
棚板	101
部品一覧表	102

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

安全上のご注意 [必ずお守りください]

表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



分解・改造はしない。



キャビネットやワークトップの上に乗ったり、重量物を載せたりしない。



PPバンドを持って運搬しない。

バンドが切れたとき、商品が落下して、ケガの原因となります。



水道・ガス・電気工事は関連する法令・規定に従い、必ず「有資格者」が行う。

誤った接続や固定方法で行うと、火災や感電・ガス漏れ・水漏れの原因となります。



指定位置（下地図参照）に取付用木下地が取り付けられていることを確認する。

木下地がしっかりと取り付けられていないと、キャビネットが落下して、ケガの原因となります。



必ず、商品に同梱している専用の取付部品・指定のネジ類を使用する。



作業中に金属製品の切断面に手をかけるときは、保護手袋を着用する。



運搬の際は2人以上でしっかりと持ち上げる。



設置仕上げに使われる接着剤や溶剤・洗剤・その他薬品類については、それぞれに記載されている注意表示に従い、正しく使用する。

人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります。

⚠ 注意

- ❗ 取付完了後は扉や引出しの傾き・がたつき・ヒンジのゆるみがないことを確認する。

使用中に扉や引出しが落下して、ケガの原因となります。

- ❗ 棚板を取り付けるときは、棚受けを穴にしっかり差し込み、棚板が確実に固定されたことを確認する。

棚受けの差込みが不十分だと、棚板が落下してケガの原因となります。

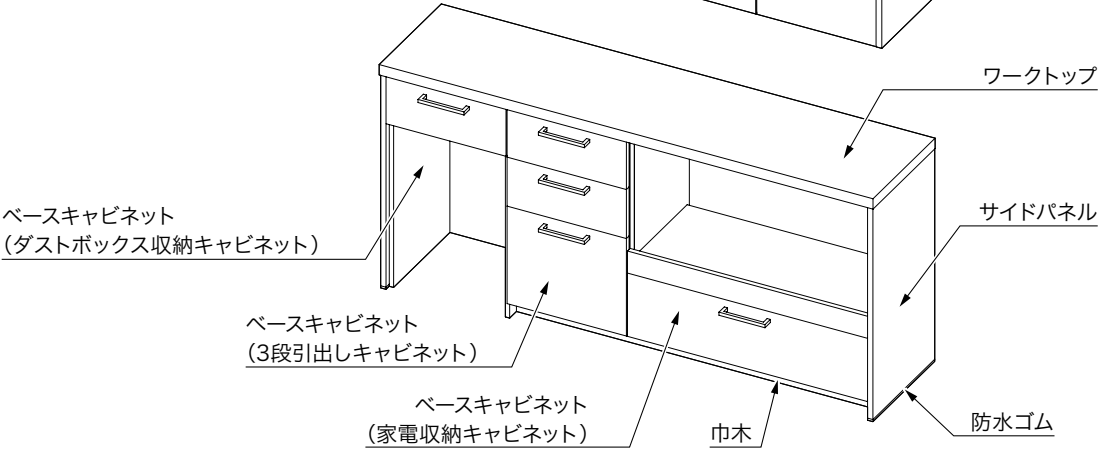
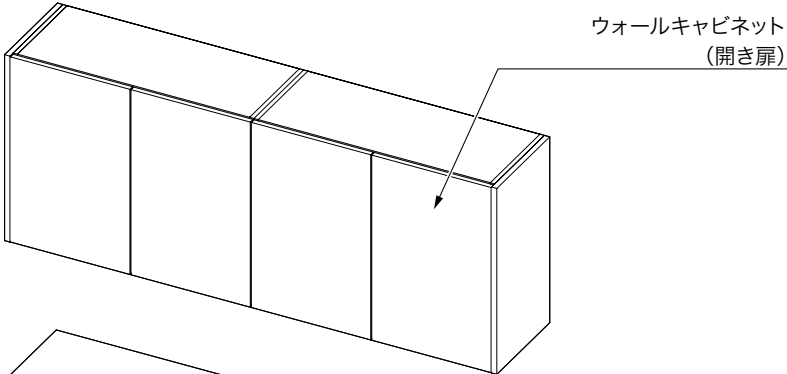
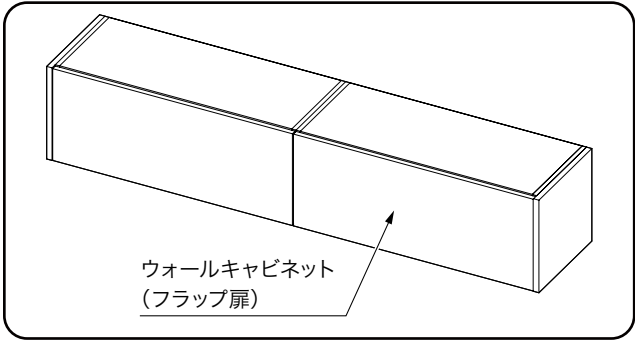
- ❗ ビルトイン機器（水栓金具・食器洗い機・レンジフード・クックトップ・その他の機器）については、それぞれに付属の説明書やラベル表示の内容を守って、正しく取付けを行う。

誤った取付けを行うと思わぬ事故や故障の原因となります。

- ❗ 排水金具の接続は各部品を確実に締め付ける。

接続部から水漏れすると、不快なおいやカビの発生・腐食の原因となります。

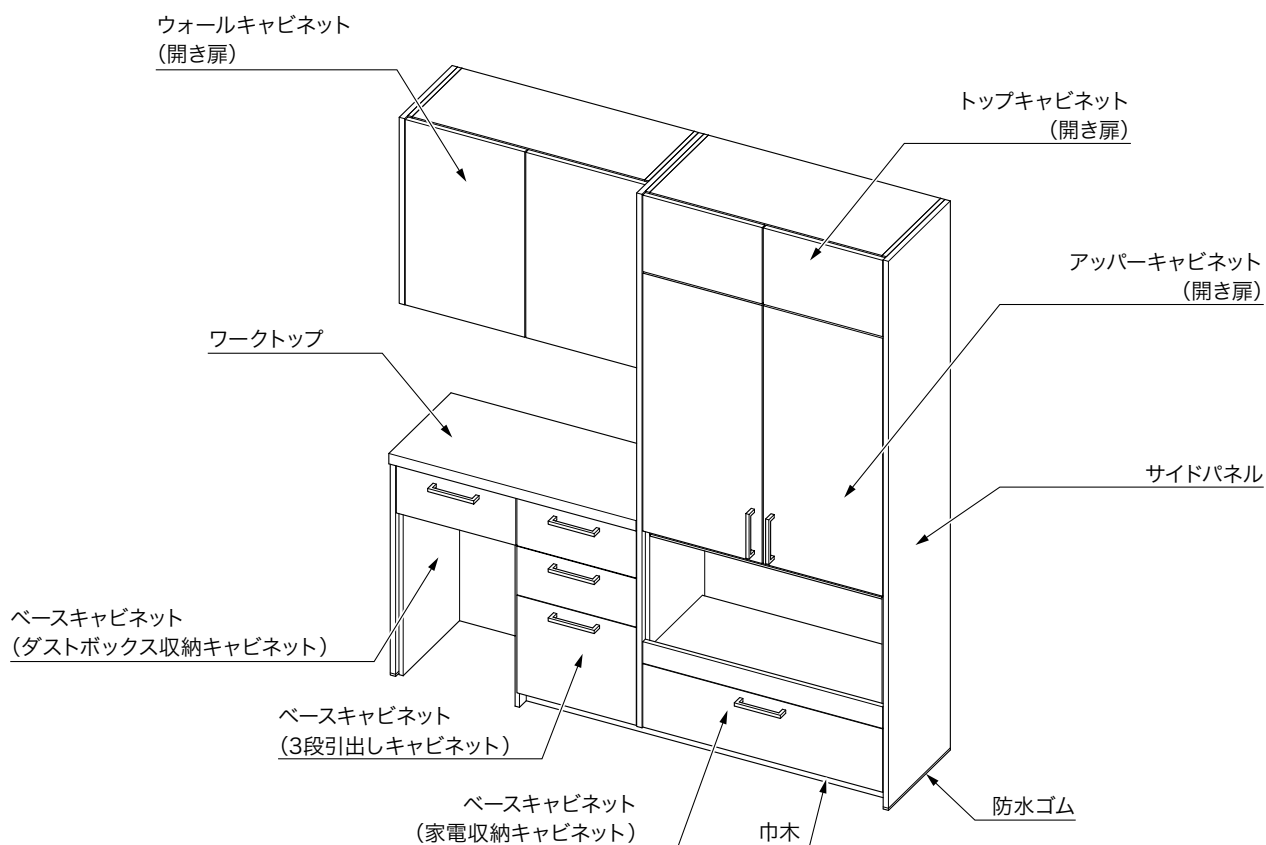
フルセパレート



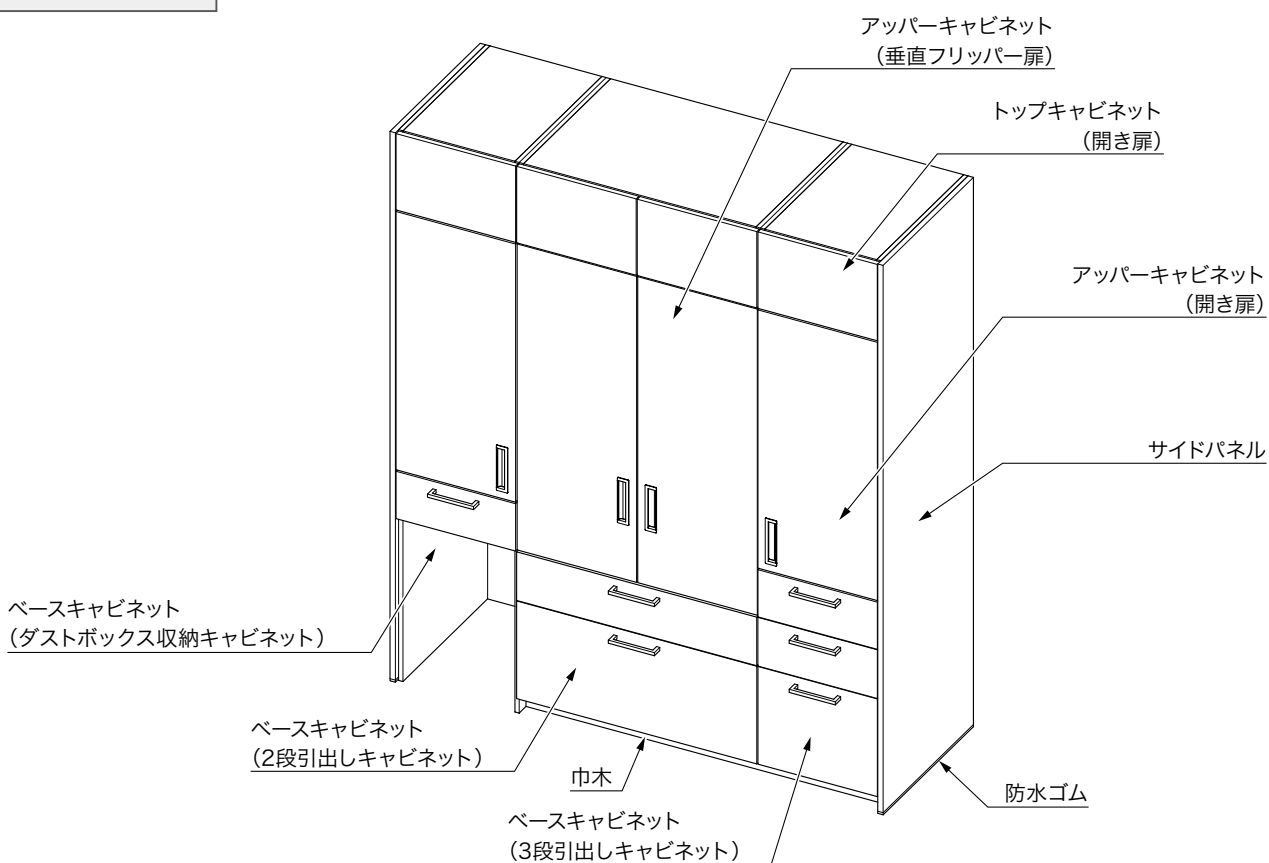
各部のなまえ

各部のなまえ

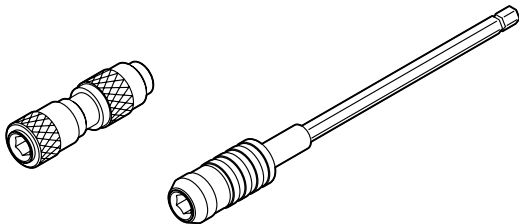
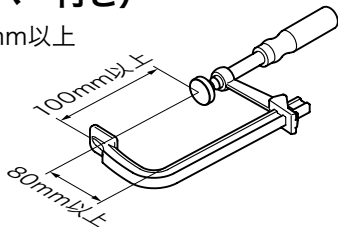
ハーフツール



フルツール



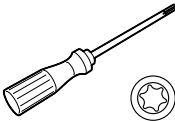
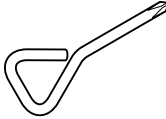
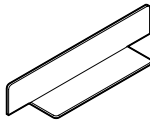
取付けに必要な工具

名称	主用途
【工具】	
スケール (コンベックス)、曲尺	現場採寸、直角確認
レーザー墨出し器、墨つぼ、筆記具	墨出し、レベル確認
目盛りつきスコヤ	キャビネットレベル確認
下げ振り保持器	垂直確認
インパクトドライバー、電動ドライバードリル	
ロングビット (250mm以上)	キャビネット連結、ワークトップ取付け
ビットジョイント またはエクステンションホルダー (200mm以上)	ダストボックス収納キャビネット からの下穴加工
	
ドリル刃 (φ2.5、φ3、φ3.5)	連結ネジ下穴加工
手回しドライバー (プラス、マイナス) ※マイナスドライバーは軸長150mm以上、ヘッド最大幅10mm以下	樹脂製レッグ調整、扉調整
プラスチックハンマーまたはゴムハンマー	樹脂製レッグ取付け
F型クランプ (保護カバー付き) ※最大口開100mm×深さ80mm以上	キャビネット連結
	
コーキングガン、ヘラ	シーリング
カッターナイフ、はさみ	防水ゴムカット
スパナ 8mm	垂直フリッパー扉調整

取付けに必要な工具

名称	主用途
【副資材・その他】	
シリコンシーリング剤	シーリング (ワークトップと壁面の接合部)
マスキングテープ	墨出し、シーリング

※ 下記の付属工具・取付治具は必要な場合(主用途欄参照)に取付部品セットに同梱されます。

名称	主用途
【付属工具】	
トルクスドライバー (T20) 	引出し調整
プラスドライバー 2番 	フラップ扉開閉バランス調整
【取付治具】	
サイドパネル位置出し治具 	サイドパネル位置出し (薄型ワークトップの場合に使用)

取付けに必要な工具

取付け前の確認

部材の確認

荷受け時に配送業者立会いのもと、外観および数量の確認を行ってください。
開梱した部材にキズ・破損がないか確認してください。

取付用木下地の確認

下地位置図で指定された位置に取付用木下地が入っているか確認してください。

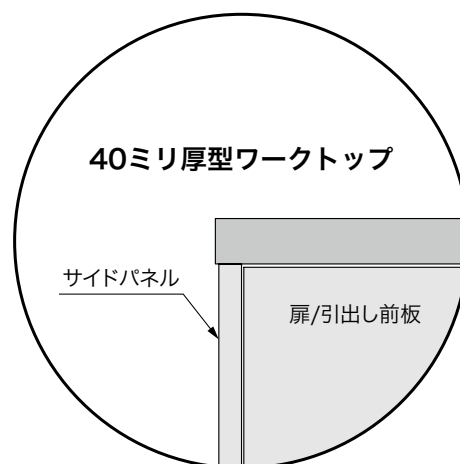
警告

❗ 取付用木下地（厚さ 30 mm×幅 90 mm、または、合板 12 t 以上）が、
下地位置図で指定された位置に入っているか確認する。

ワークトップデザインの確認

※フルツールを除く

ワークトップのデザインによって、部材の取付け方が異なります。
デザインが下記のどちらになるか図面で確認してください。



※ 取付手順はカップボードのタイプ別に分けて記載しています。
カップボードのタイプにより、下記のページへお進みください。

フルセパレートの取付け

⇒ 次ページへ

ハーフツールの取付け

⇒ P. 36

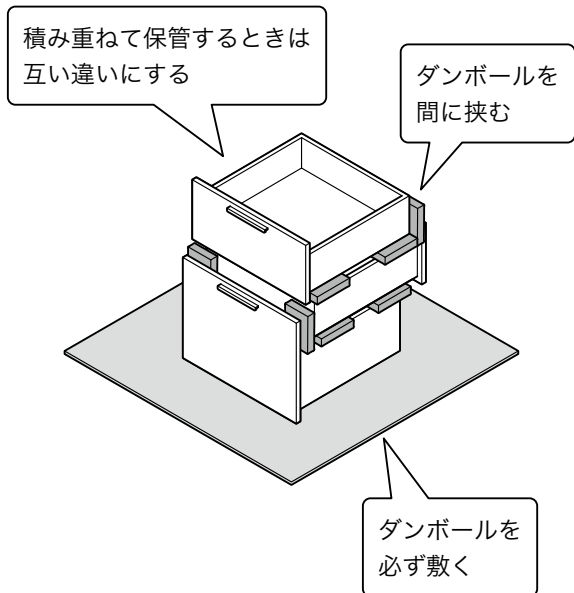
フルツールの取付け

⇒ P. 60

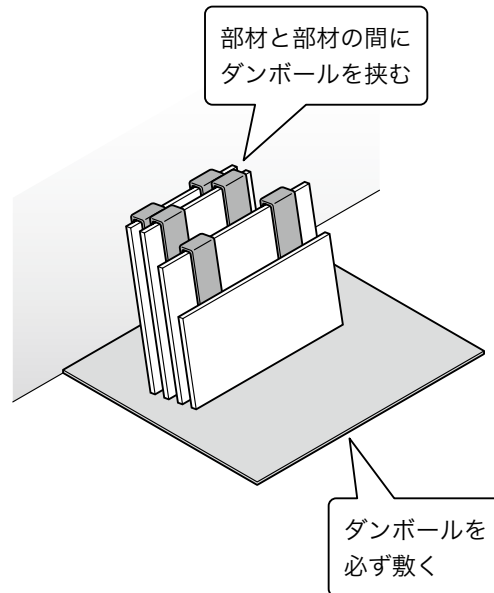
引出し・扉・棚板の取外し

引出し・扉・棚板を取り外して、図のようにダンボールで養生・保管してください。

●引出し



●扉・棚板



⚠ 注意

- ❗ 引出しや扉を取り外す前に、作業手順・方法を確認する。
引出しを外す際は、必ず引出し底面のロックを解除してください。
ロックを解除しないで無理に外そうとすると破損・故障の原因となります。

引出しの取外し・取付け・調整方法

👉 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

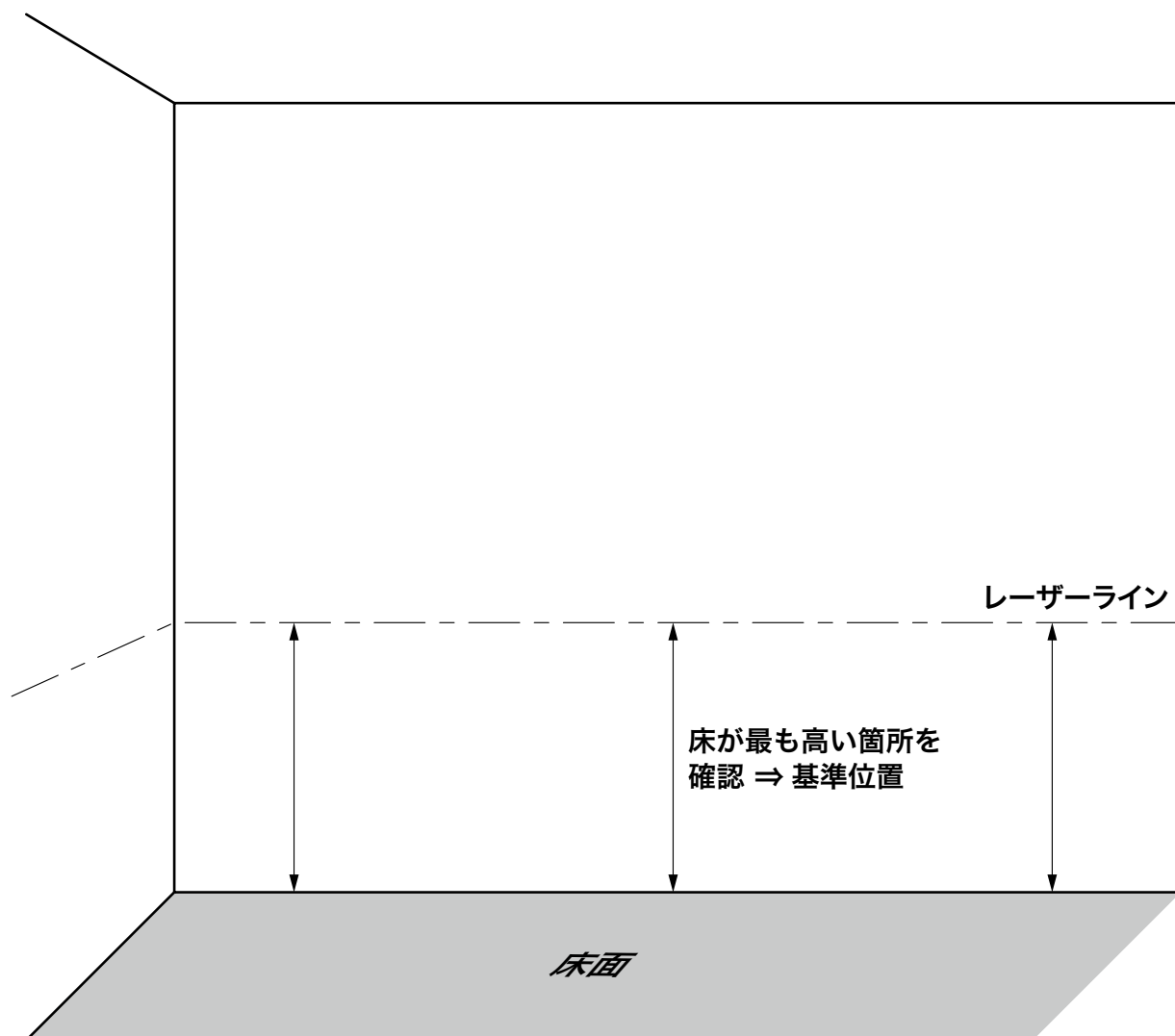
👉 P. 89 参照

開き扉 フラップ扉 棚板

墨出し

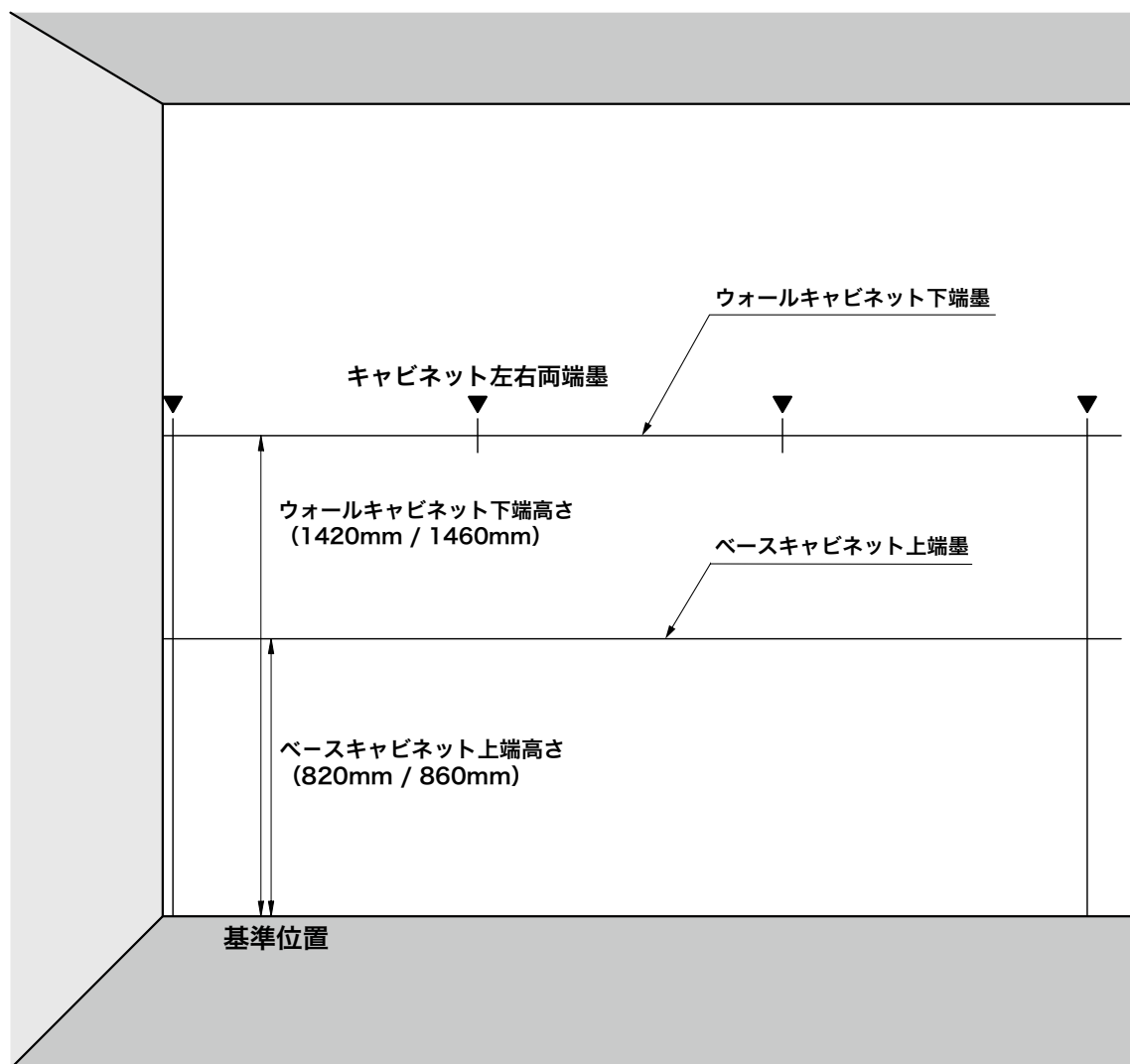
① 高さの基準となる基準位置の確認

- (1) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット設置箇所に水平ラインを照射してください。
- (2) 各キャビネットが位置する床面から、照射した水平ラインまでの距離を確認してください。
- (3) 計測結果から、床が最も高い(距離が短い)箇所を基準位置とします。



② 取付位置の墨出し

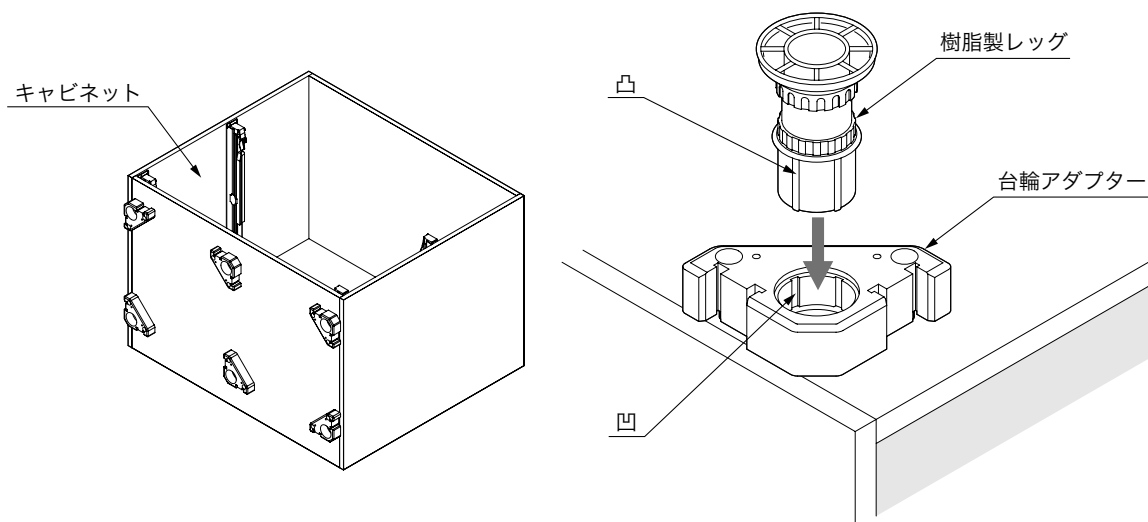
- (1) ベースキャビネットの上端の高さ(ワークトップは含まず)を図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (2) ウォールキャビネットの下端の高さを図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (3) ウォールキャビネットの箱割り位置を図面で確認し、キャビネットの左右両端位置に墨出ししてください。



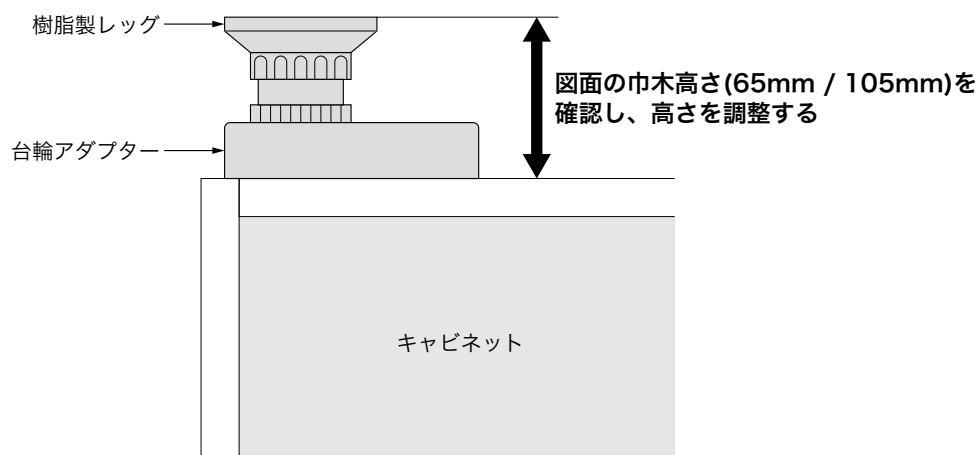
◆ ベースキャビネットの取付け

樹脂製レッグの取付け

- ① キャビネット底面の台輪アダプターに樹脂製レッグを合わせて差し込んでください。
- ② プラスチックハンマーやゴムハンマーで叩き入れ、奥までしっかりと入っているか確認してください。



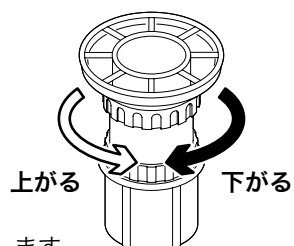
- ③ 樹脂製レッグの高さが図面の巾木高さになっているかを確認し、高さが異なっている場合は調整してください。



樹脂製レッグの高さ調整方法(底面から見た場合)

高さを上げたい場合
・・・反時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・時計回りに回す



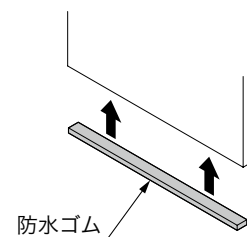
※1回転につき約3mm上下します。

調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

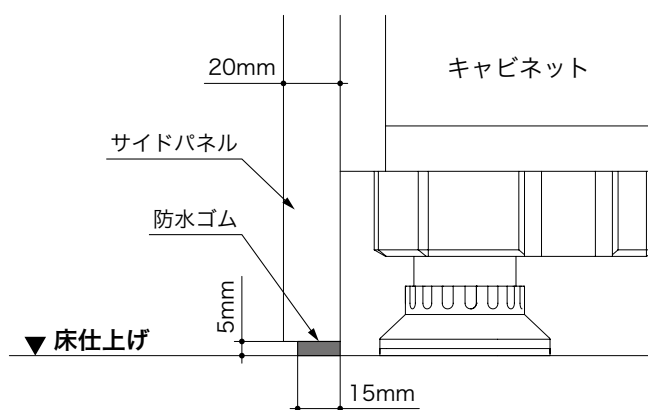
防水ゴムの取付け

サイドパネルに防水ゴムを取り付けます。

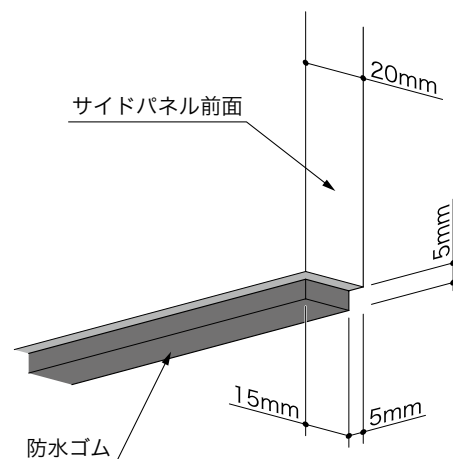
- ① パネルの寸法に合わせて防水ゴムをカットしてください。
- ② パネルの床側木口面に防水ゴムを取り付けてください。



サイドパネル・防水ゴム納まり



※防水ゴムはパネル木口面のキャビネット側に合わせて貼る



下から見た図

キャビネットの並び順の確認

キャビネット背面の製品ラベルに記載されている部材番号と図面の番号を照らし合わせて、キャビネットの並び順を確認してください。

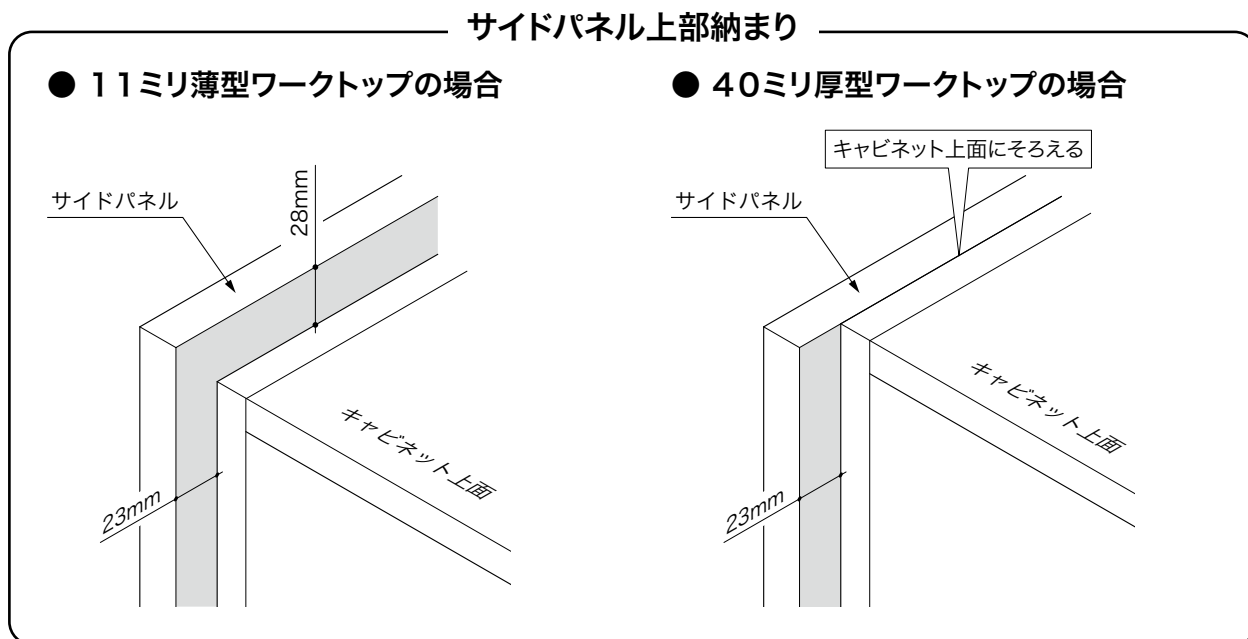
⚠ 注意

❗ 必ず、キャビネットの並び順を確認する。

同じサイズのキャビネットでも、配置位置によって取付け用ガイド穴の数・位置が異なるため、誤った並び順で取付けを行うと思わぬ事故の原因となります。

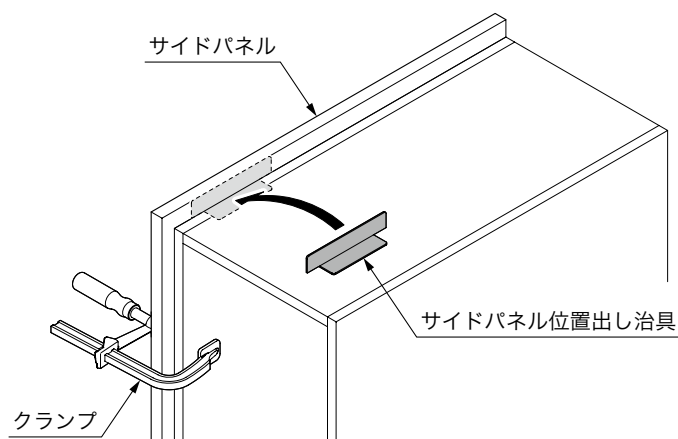
サイドパネルの取付け

- ① ワークトップの仕様によってサイドパネルの納まりが変わりますので、キャビネットからパネルを突き出す寸法を確認してください。(下図参照)



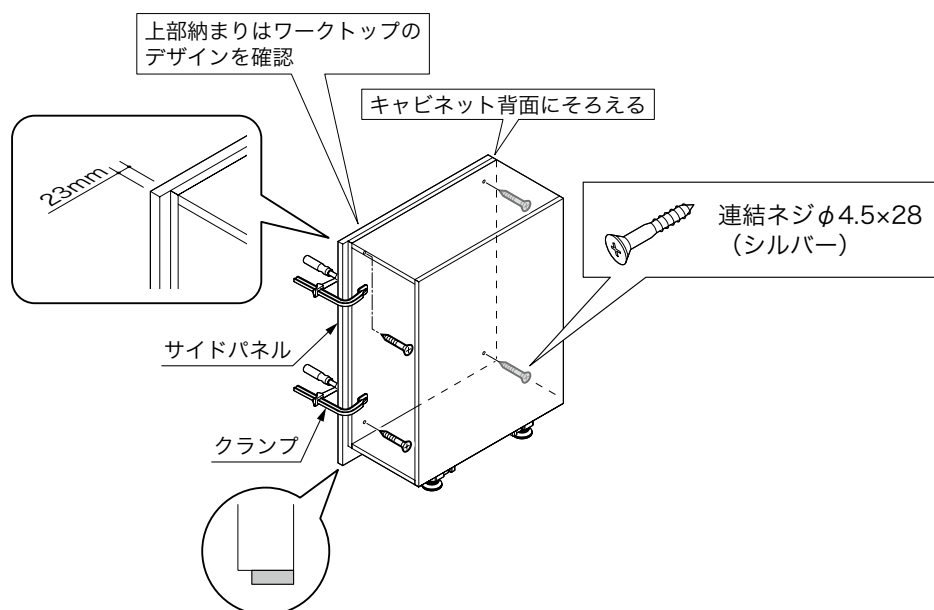
- ② サイドパネルをキャビネットの背面にそろえてください。
 さらに、サイドパネル上部を取付位置に合わせて、クランプで仮固定してください。
 このとき、キャビネット前面から突き出る寸法が23mmになっているか確認してください。

※ 11ミリ薄型ワークトップの場合、パネル上部の位置出しは『サイドパネル位置出し治具』を下図のように当てて行くとキャビネットの上面から28mmの位置が出せます。

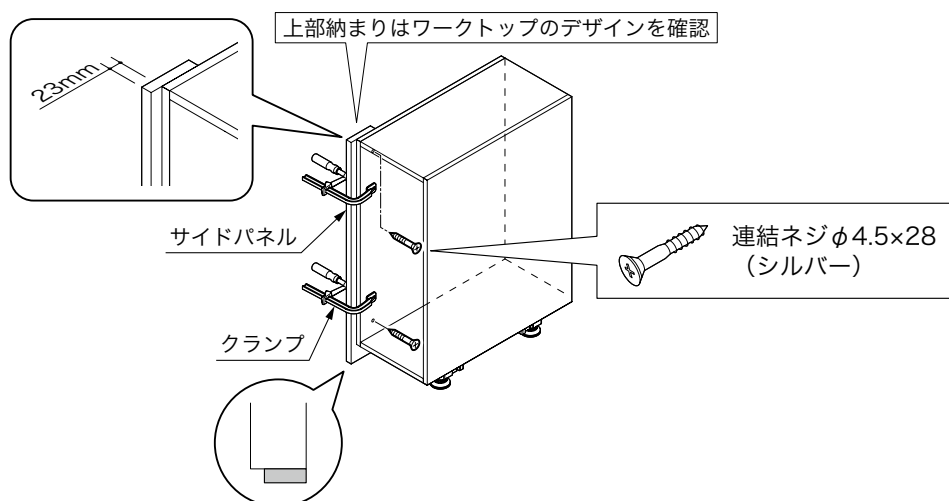


フルセパレート の取付け

- ③ キャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でサイドパネルを取り付けてください。



● サイドパネル側面が壁に接する場合

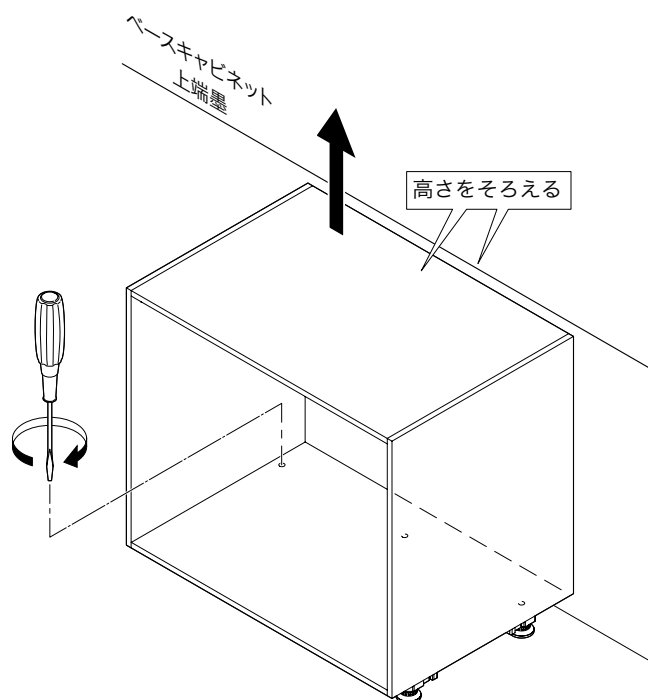


キャビネットの設置

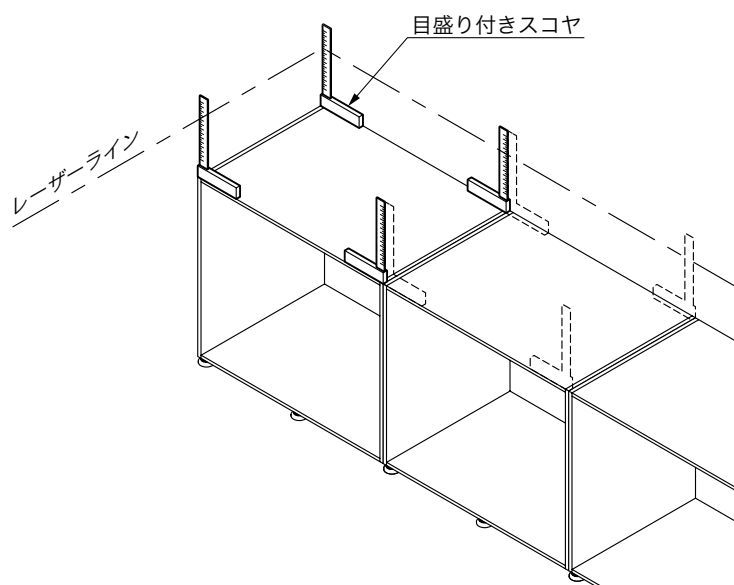
- ① キャビネットの仮置き
キャビネット全てを設置場所へ仮置きしてください。

② キャビネットの高さ・水平調整

- (1) キャビネット奥側の樹脂製レッグの高さを上げ、キャビネット上面が墨出しした上端墨と同じ高さになるように調整してください。



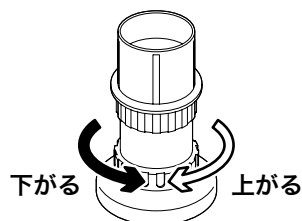
- (2) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット上面+50mm程度の高さに水平ラインを照射してください。
- (3) キャビネット四隅に目盛り付きスコヤを置いて、キャビネット上面からレーザーラインまでの高さを確認してください。
- (4) 手前側の樹脂製レッグの高さを上げ、前後左右水平になるように調整してください。
- (5) 四隅すべての位置でキャビネット上面からレーザーラインまでの高さが同じであることを確認してください。
- (6) 樹脂製レッグが5ヶ所以上あるキャビネットの場合は、四隅のレッグで水平調整を行った後、キャビネット中央のレッグを床面まで下げてください。



樹脂製レッグの高さ調整方法

高さを上げたい場合
・・・時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・反時計回りに回す

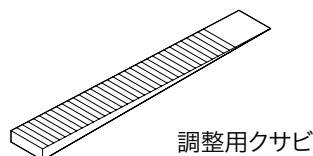


調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

※1回転につき約3mm上下します。

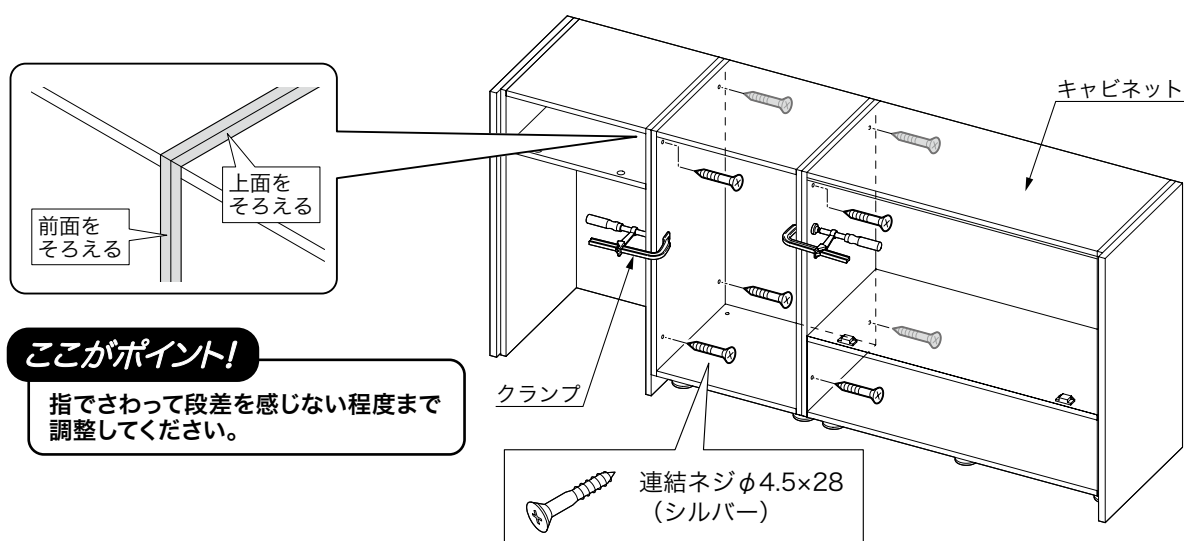
※キャビネット奥側の樹脂製レッグはキャビネットの内側からマイナスドライバー（軸長150mm以上、ヘッド最大幅10mm以下）で回すことができます。

※ ダストボックス収納キャビネットの高さ調整には調整用クサビを使用してください。



キャビネットの横連結

- ① キャビネットの上面・前面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを横連結してください。



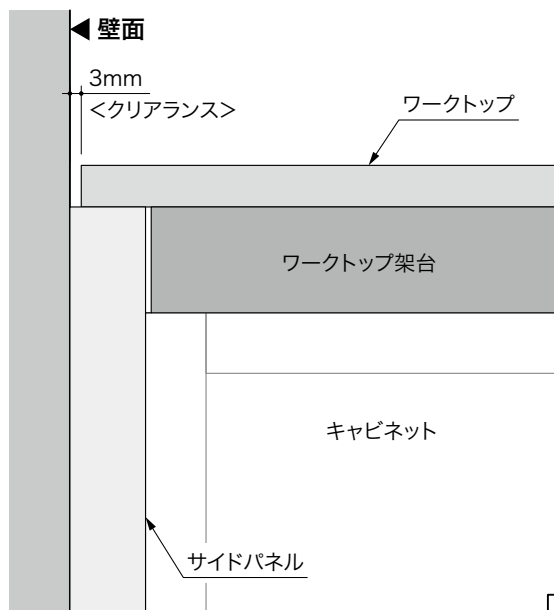
ワークトップの取付け

- ① キャビネットの上にワークトップを仮置きしてください。
- ② 左右および手前のチリ寸法を調整してください。(下図参照)

● 11ミリ薄型ワークトップの場合

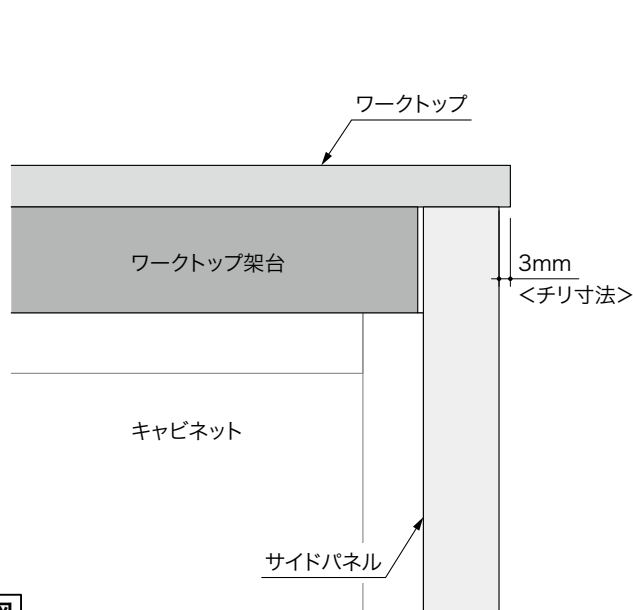
▼ 壁側の納まり

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



▼ オープン側の納まり

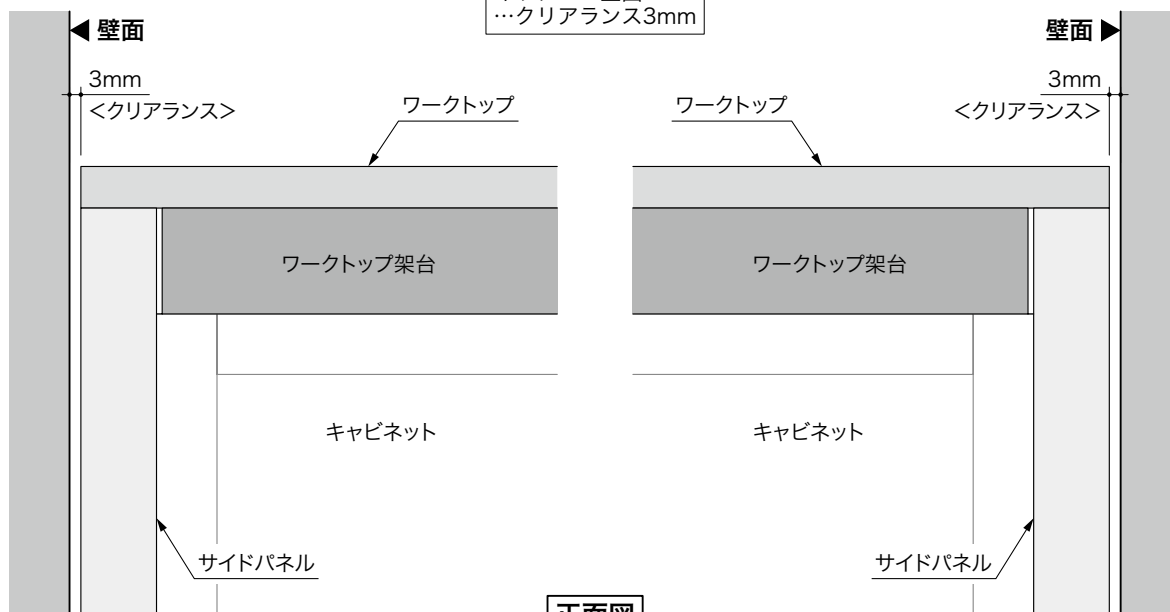
ワークトップ～サイドパネル
…チリ寸法3mm



正面図

▼ 両側壁の場合の納まり

キッチン～壁面
…クリアランス3mm

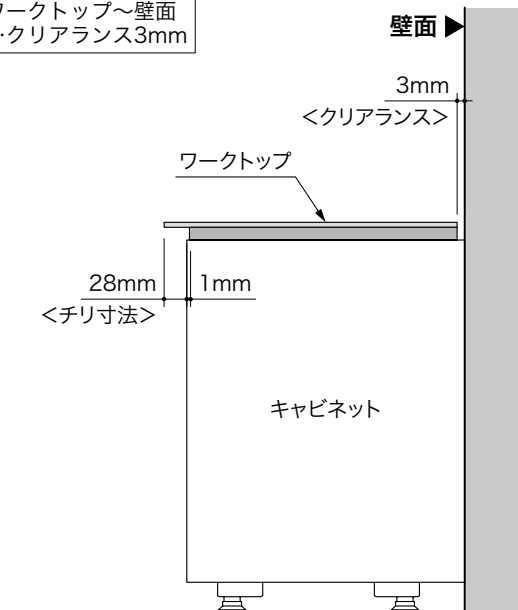


正面図

注) 建築仕上げによっては、クリアランスが3mmにならない場合があります。

ワークトップ～キャビネット前面
…チリ寸法28mm

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



側面図

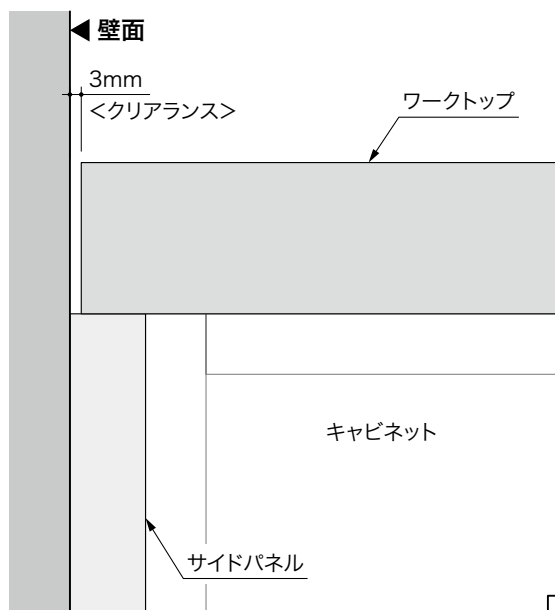
※ 見やすくするため、サイドパネルを透過したイラストで説明しています。

注) ワークトップの架台はキャビネット前面よりも1mm内側に入った位置

● 40ミリ厚型ワークトップの場合

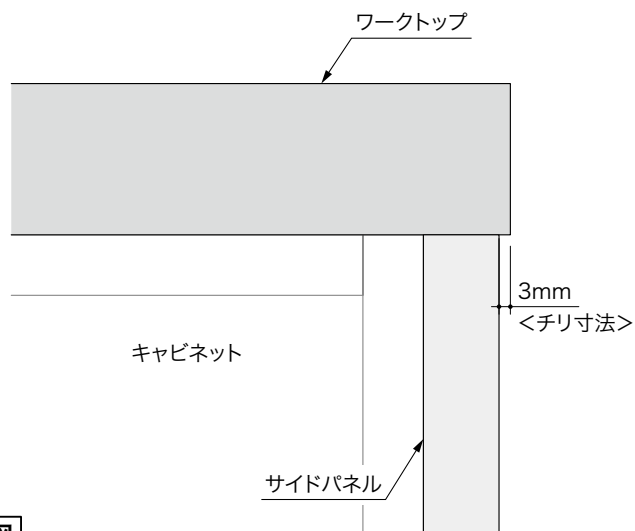
▼ 壁側の納まり

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



▼ オープン側の納まり

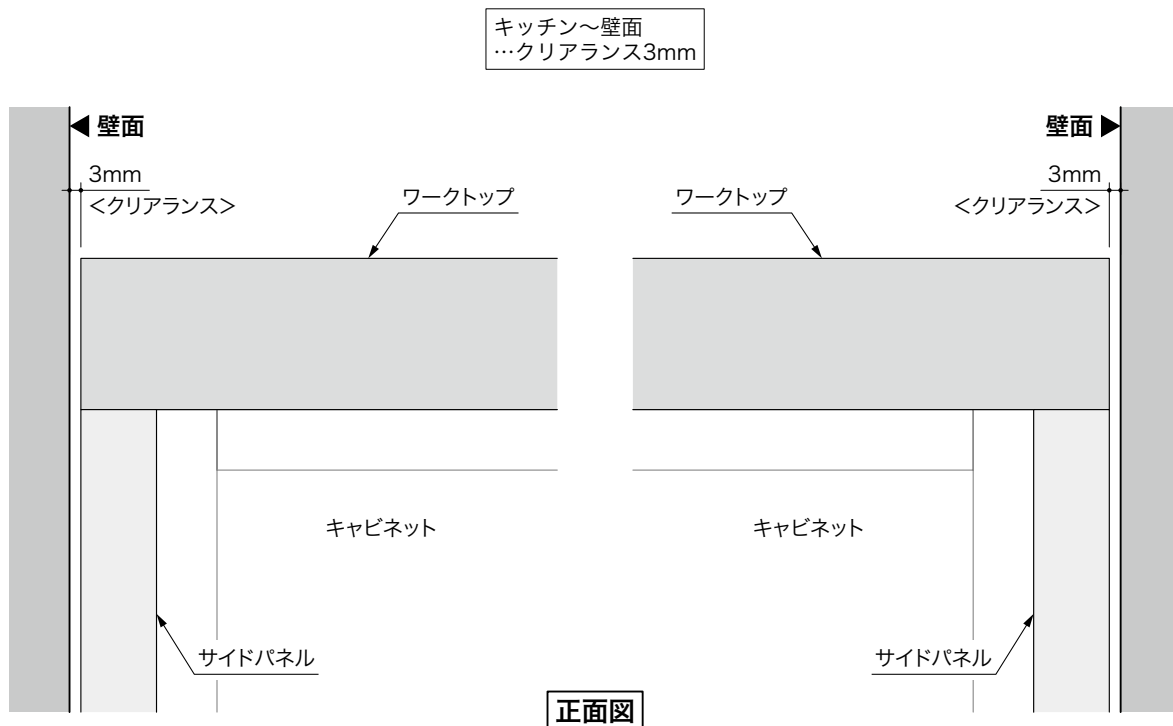
ワークトップ～サイドパネル
…チリ寸法3mm



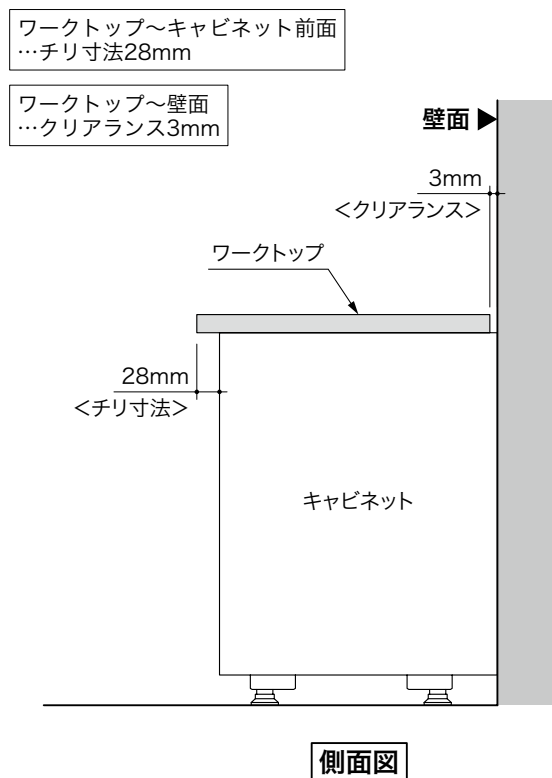
正面図

フルセパレート の取付け

▼ 両側壁の場合の納まり



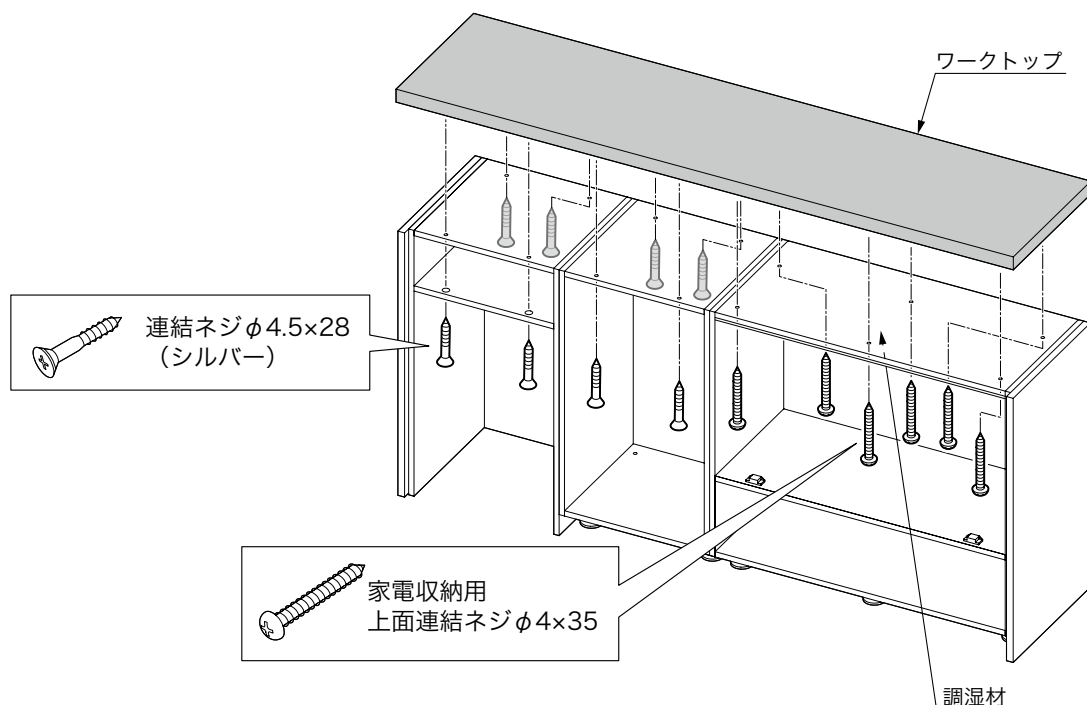
注) 建築仕上によっては、クリアランスが3mmにならない場合があります。



※ 見やすくするため、サイドパネルを透過したイラストで説明しています。

フルセパレート の取付け

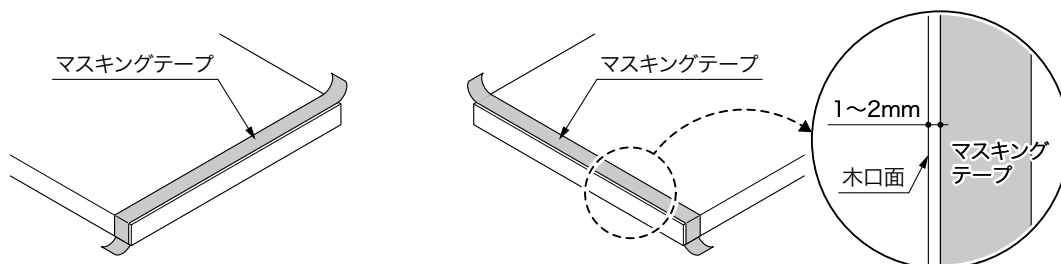
- ③ キャビネット上板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でワークトップを固定してください。
- ⑤ 家電収納キャビネットの調湿材付き上板部分は家電収納用上面連結ネジφ4×35でワークトップを固定してください。



横並びワークトップの取付け

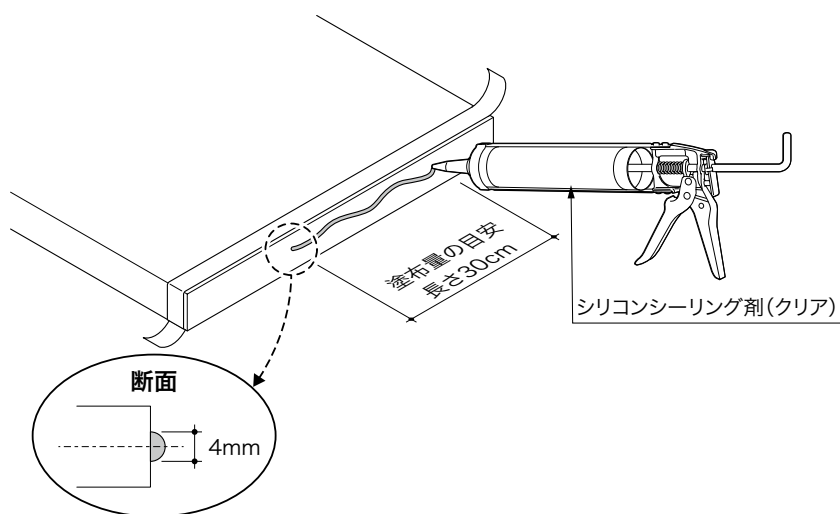
※キッチン(デュエ / デュエアイランド / ウェスタアイランド)と
カッボードを横並びで取り付ける場合のみ

- ① P. 22 ページの「ワークトップの取付け」で1枚目のワークトップの取付けが完了したら、隣接する2枚目のワークトップをキャビネットの上に仮置きしてください。
- ② 接合部木口面にホコリが付いている場合は十分に取り除いてください。
- ③ 接合部付近のワークトップ表面にマスキングテープを貼ってください。
※ マスキングテープは木口面から1~2mm程度離れた位置に貼ってください。

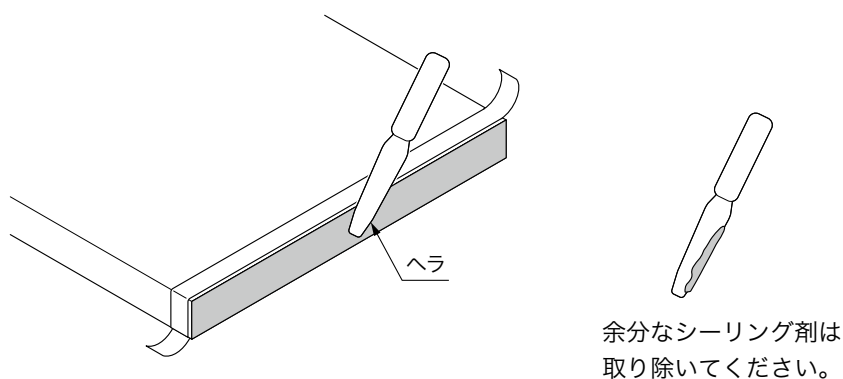


フルセパレート の取付け

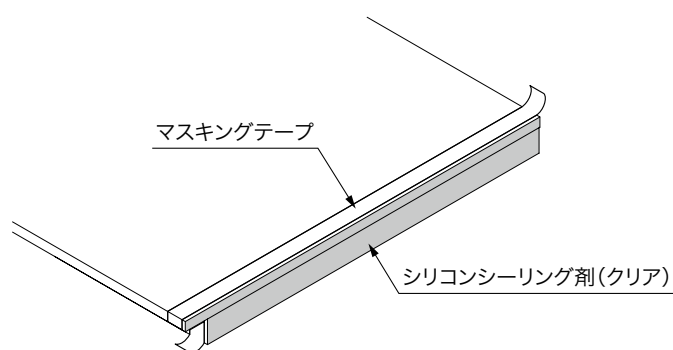
- ④ 先に固定したワークトップの接合部木口面に付属のシリコンシーリング剤(クリア)を塗布してください。



- ⑤ ヘラ等でなるべく薄く延ばしてください。
※ たまりができないように延ばしてください。

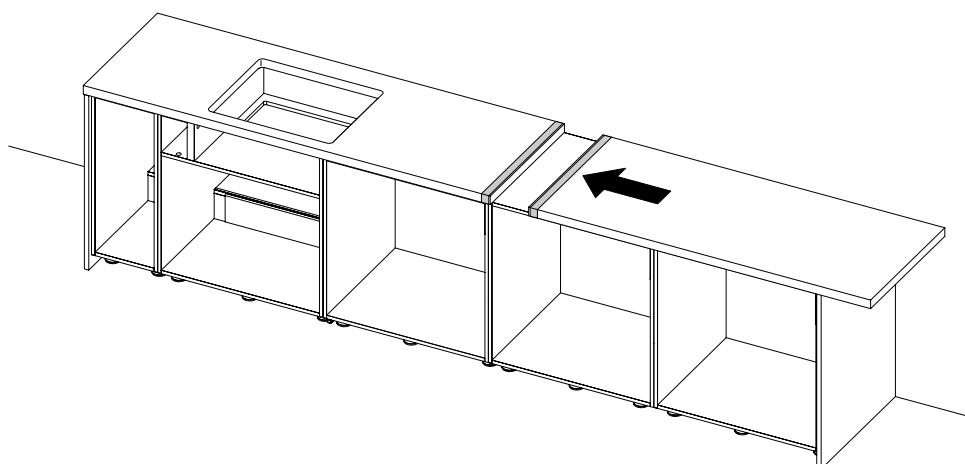


● 11ミリ薄型ワークトップの場合

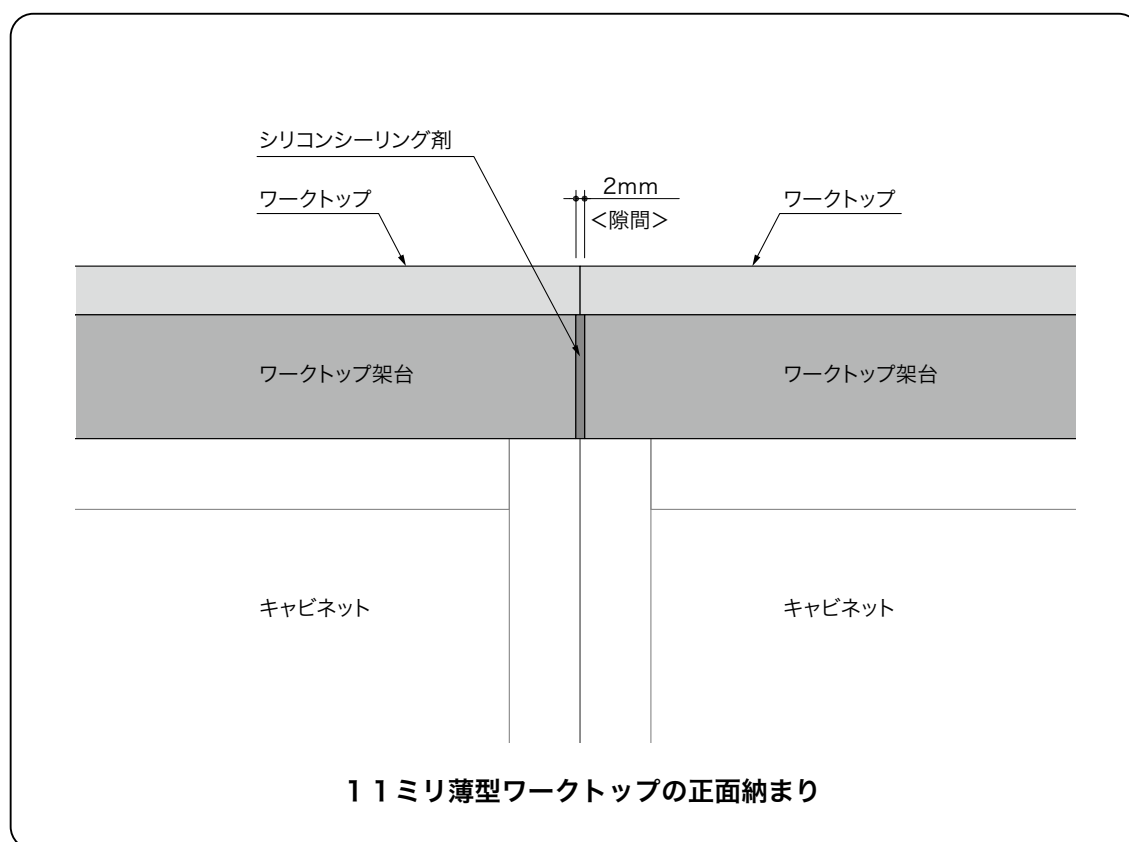


フルセパレート の取付け

- ⑥ 先に固定したワークトップに2枚目のワークトップを突き付けてください。

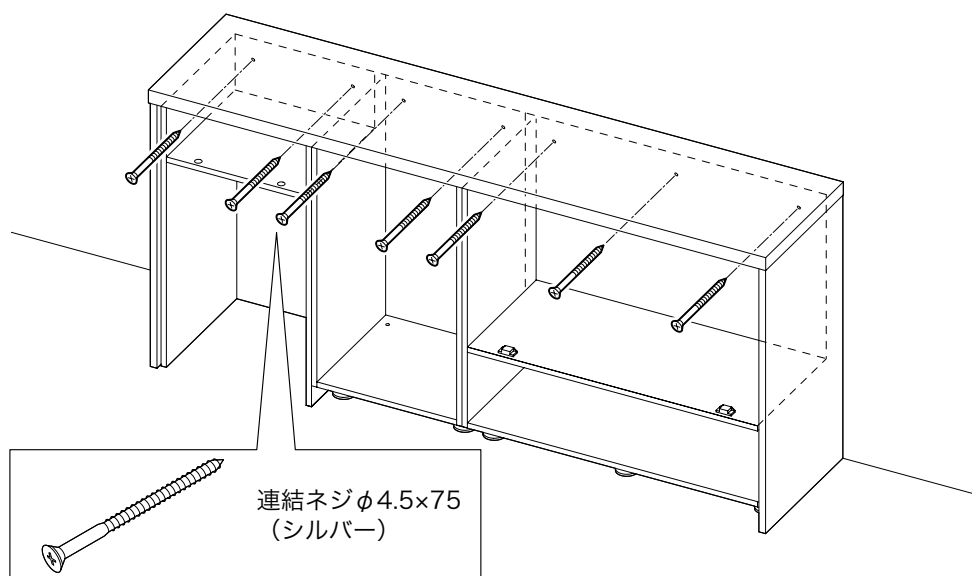


- ⑦ ワークトップ手前のチリ寸法を調整してください。
⑧ キャビネット上板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けて、ネジでワークトップを固定してください。
⑨ はみ出した余分なシリコンシーリング剤はヘラ等でならして取り除いてください。
⑩ マスキングテープをはがしてください。



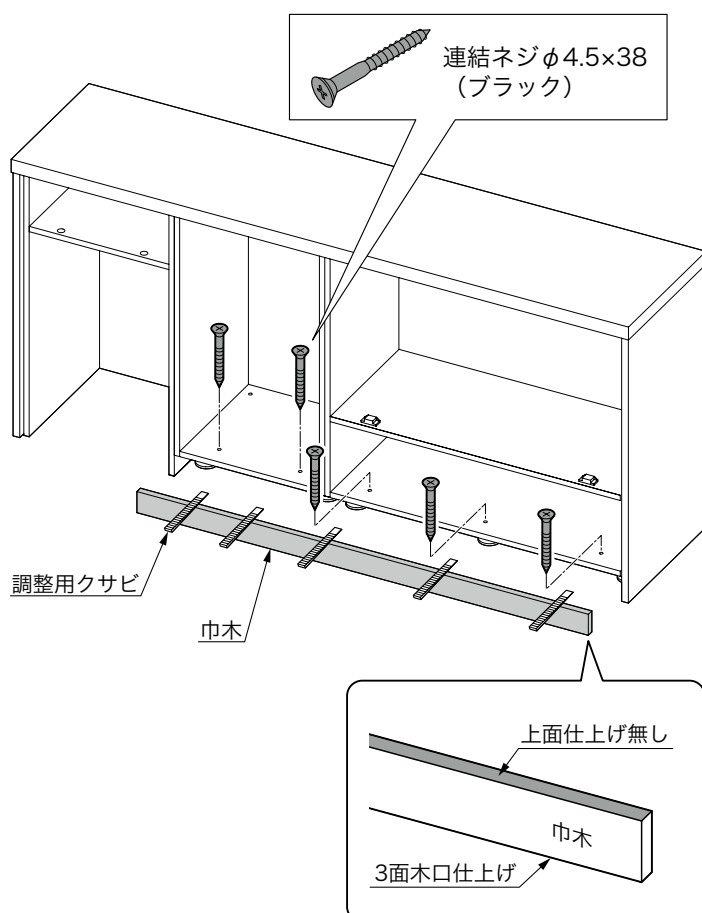
キャビネットの壁面固定

- ① 背板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ② 連結ネジφ4.5×75(シルバー)で壁に固定してください。

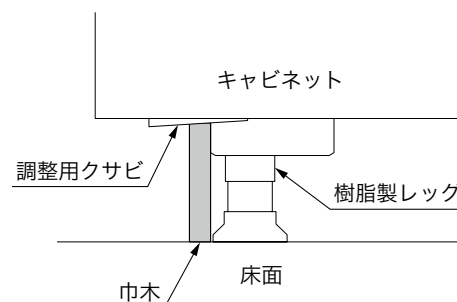


巾木の取付け

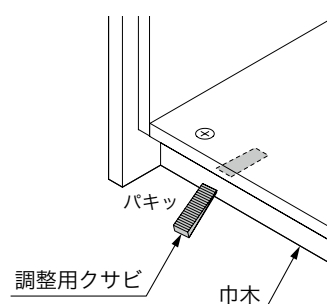
- ① 巾木の木口仕上げ面を床に向けて、キャビネットの下部へ差し込んでください。
- ② 調整用クサビを巾木とキャビネット底板の隙間に差し込み、巾木を仮固定してください。
- ③ 底板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×38(ブラック)で巾木を取り付けてください。



巾木は樹脂製レグに押し当てて取り付けてください。

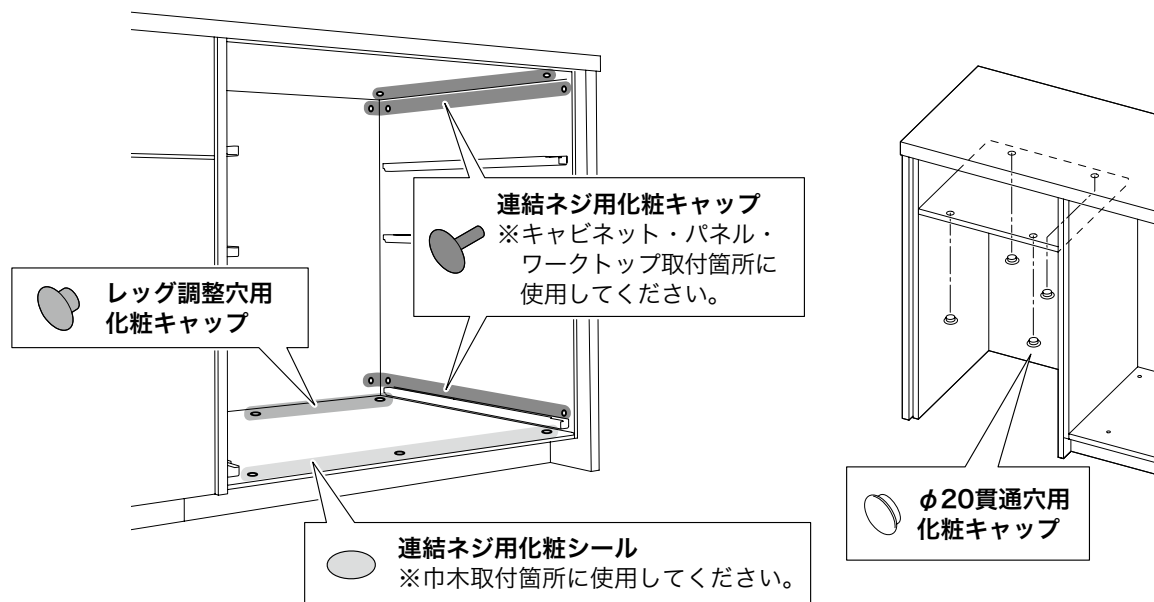


調整用クサビは、巾木取付後に根元から折ってください。



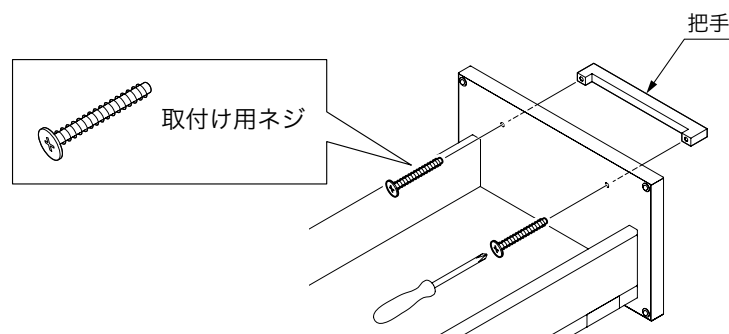
各種キャップ・カバーの取付け

- ① 連結ネジに化粧キャップを取り付けてください。
- ② 巾木を取り付けたネジには化粧シールを貼ってください。
- ③ レッグ調整用穴に化粧キャップを取り付けてください。
- ④ ロングビットを通すためのφ20貫通穴に化粧キャップを取り付けてください。



把手の取付け

把手に付属されている取付け用ネジで把手を取り付けてください。



⚠ 注意

- ❗ 把手を取り付ける際は、必ず手回しドライバーを使用する。
ネジ頭がスリムタイプのため、電動ドライバーを使用すると十字穴が潰れる原因となります。

引出し・扉・棚板の取付け

- ① 設置前に取り外した引出し・扉・棚板を取り付けて調整してください。
もし、扉を開いたときに側面の壁等にぶつかる場合は、86°角度ストッパーを取り付けてください。
- ② 引出しの調整が完了したら、引出し内側両サイドのカバーを取り付けてください。
- ③ 扉の調整が完了したら、ヒンジカップカバーおよびアームカバーを取り付けてください。

引出しの取外し・取付け・調整方法

 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

 P. 89 参照

開き扉 フラップ扉 棚板

◆ ウォールキャビネットの取付け

キャビネットの並び順の確認

キャビネット背面の製品ラベルに記載されている部材番号と図面の番号を照らし合わせて、キャビネットの並び順を確認してください。

⚠ 注意

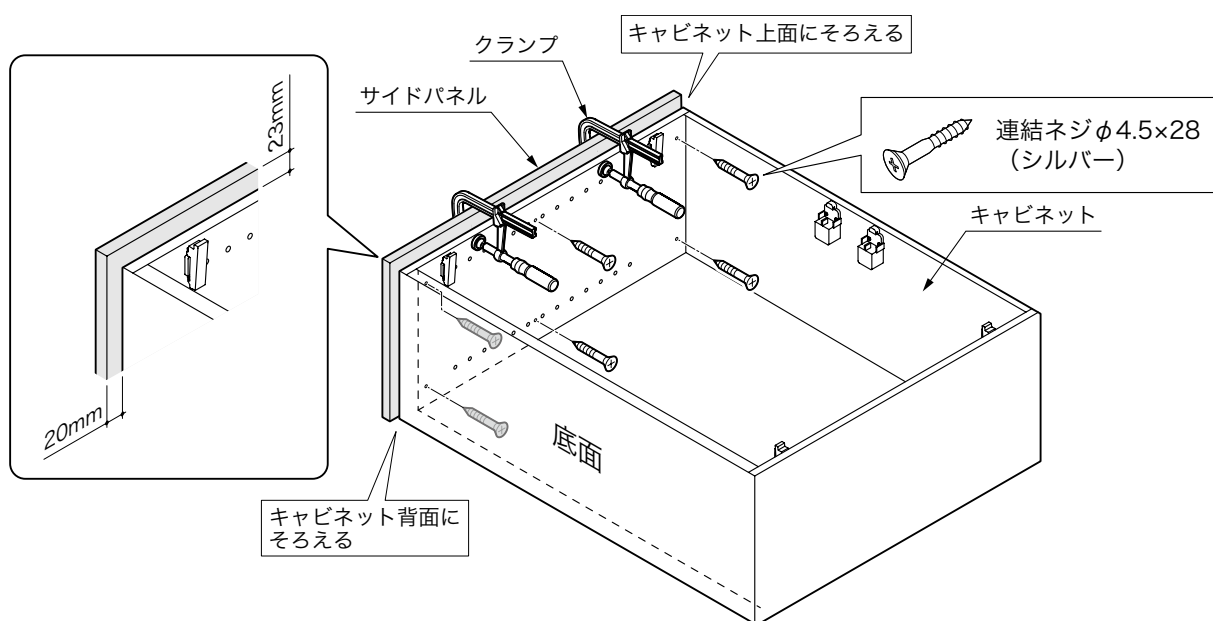


必ず、キャビネットの並び順を確認する。

同じサイズのキャビネットでも、配置位置によって取付け用ガイド穴の数・位置が異なるため、誤った並び順で取付けを行うと思わぬ事故の原因となります。

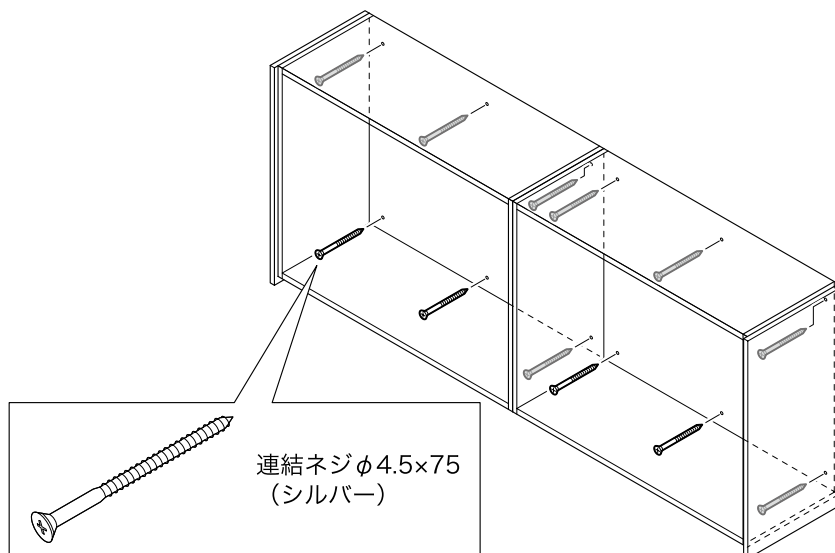
サイドパネルの取付け

- ① サイドパネルをキャビネットの上面・背面にそらえて、クランプで仮固定してください。
このとき、キャビネットから突き出る寸法が、前面から23mm・底面から20mmになっているか確認してください。
- ② キャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でサイドパネルを取り付けてください。



キャビネットの壁面固定

- ① 墨出ししたキャビネット下端墨と左右両端墨にウォールキャビネットを合わせてください。
- ② 背板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×75(シルバー)で壁に固定してください。

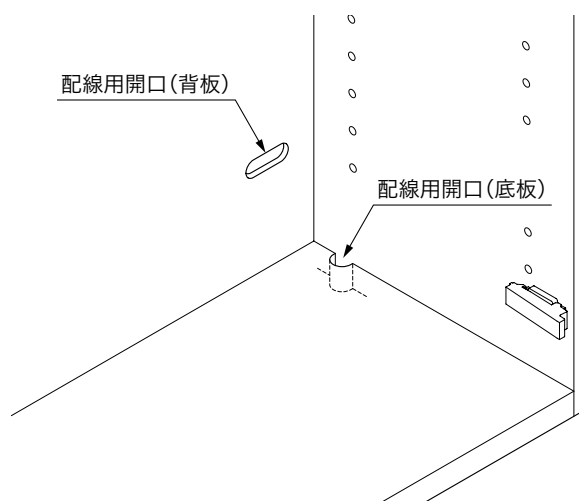


● 棚下LED照明<オプション>有りの場合

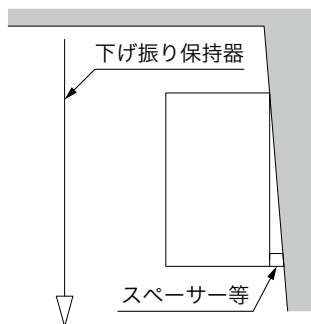
専用の配線用開口付きウォールキャビネットが含まれます。

キャビネットの配置を図面を確認し、配線用開口から電源ケーブルを通せるようにキャビネットを並べてください。

併せて、「LED埋込ライン照明 取付手順書」をご覧になって、正しく取り付けてください。



- ④ 壁面が垂直になっていない場合は、下げ振り保持器などで確認しながらスペーサー等(現場調達)で調整してください。



⚠ 注意

- ❗ ウォールキャビネットが水平・垂直になるように取り付ける。

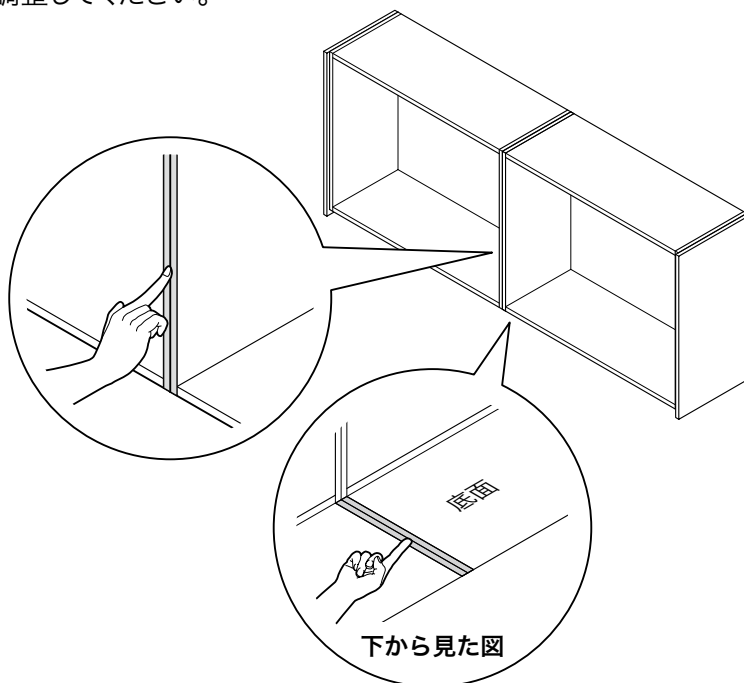
ウォールキャビネットが傾いていると、感震ロックが正常に作動せず、地震の揺れで、収納物が飛び出す原因となります。

キャビネットの連結

- ① キャビネットの位置調整

キャビネット同士の底面・全面がそろっているか確認してください。

もし、そろっていない場合は、ウォールキャビネットを壁に固定している連結ネジをゆるめて調整してください。



ここがポイント!

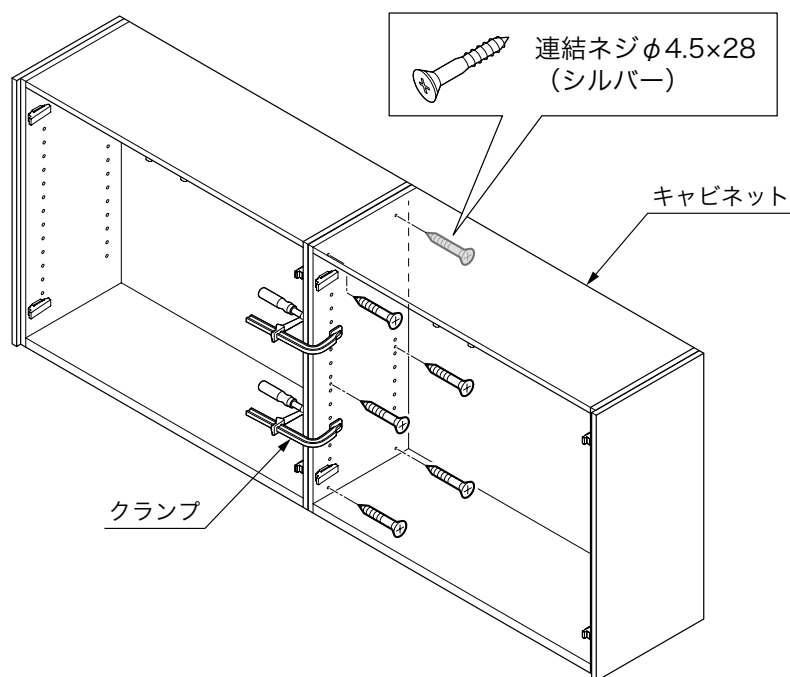
指でさわって段差を感じない程度まで調整してください。

フルセパレート の取付け

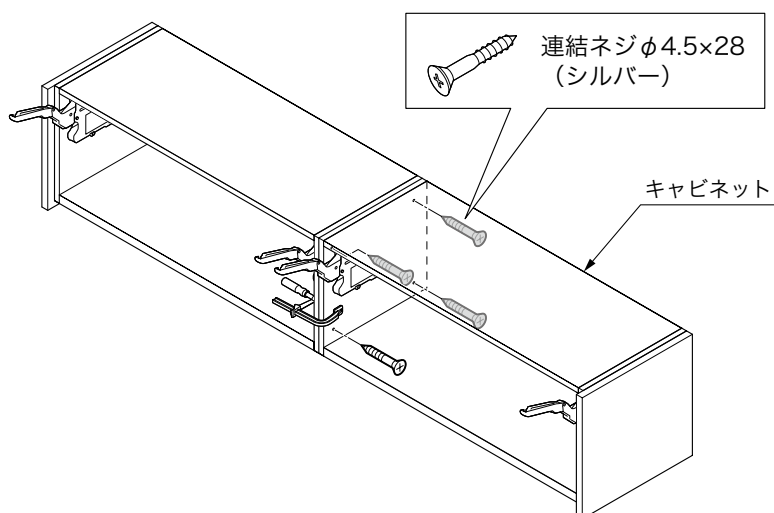
② キャビネットの横連結

- (1) キャビネットの前面・底面をそろえたら、クランプで仮固定してください。
- (2) 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- (3) 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを連結してください。

● 開き扉の場合



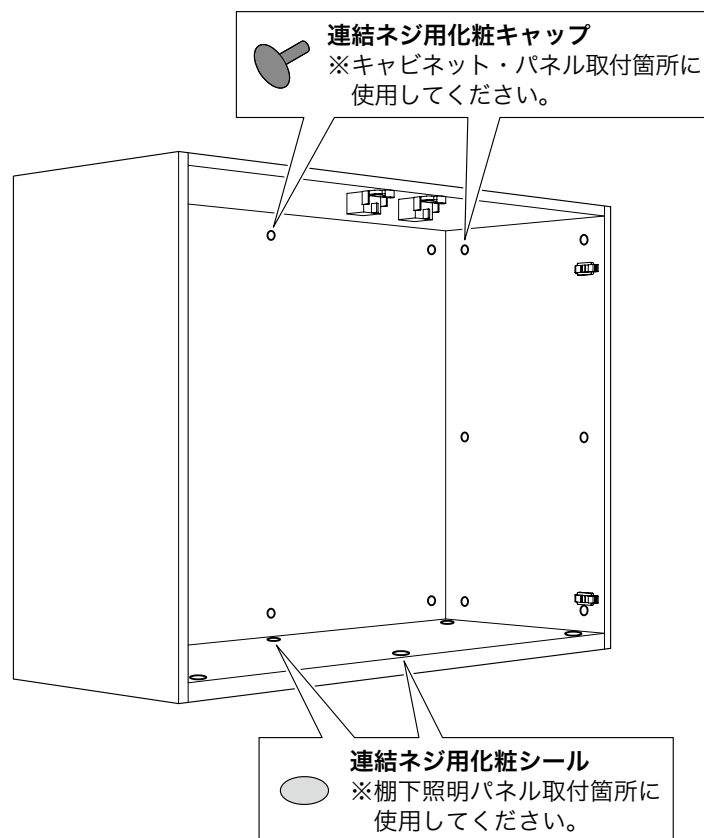
● フラップ扉の場合



注) ステー本体のアームは、扉を取り付けないと下がりません。

各種キャップ・カバーの取付け

- ① 連結ネジに化粧キャップを取り付けてください。
- ② 棚下照明パネルを取り付けたネジには化粧シールを貼ってください。



扉・棚板の取付け

- ① 設置前に取り外した扉・棚板を取り付けて調整してください。
もし、扉を開いたときに側面の壁等にぶつかる場合は、86°角度ストッパーを取り付けてください。
- ② 扉の調整が完了したら、ヒンジカップカバーおよびアームカバーを取り付けてください。
- ③ フラップ扉の調整が完了したら、ステーの本体カバーおよびDカバーを取り付けてください。

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法 P. 89 参照

開き扉

フラップ扉

棚板

※ 次の作業は清掃 / シーリング / 養生になりますので、下記のページへお進みください。

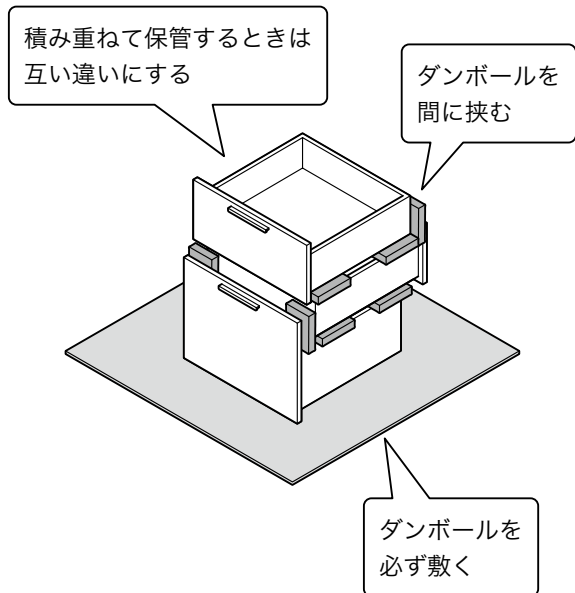
清掃 / シーリング / 養生

⇒ P. 78

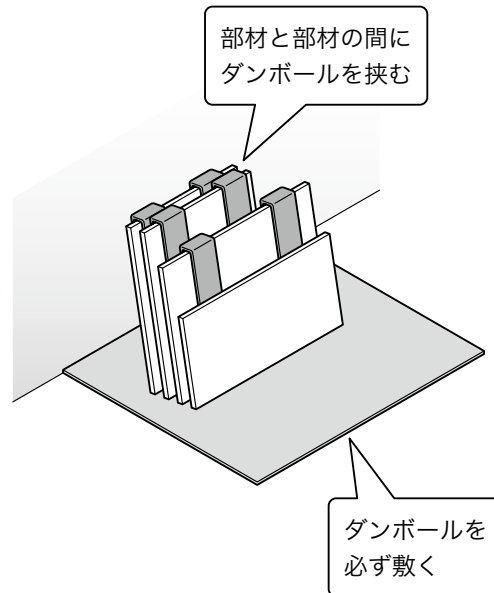
引出し・扉・棚板の取外し

引出し・扉・棚板を取り外して、図のようにダンボールで養生・保管してください。

●引出し



●扉・棚板



⚠ 注意

- ❗ 引出しや扉を取り外す前に、作業手順・方法を確認する。
引出しを外す際は、必ず引出し底面のロックを解除してください。
ロックを解除しないで無理に外そうとすると破損・故障の原因となります。

引出しの取外し・取付け・調整方法

👉 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

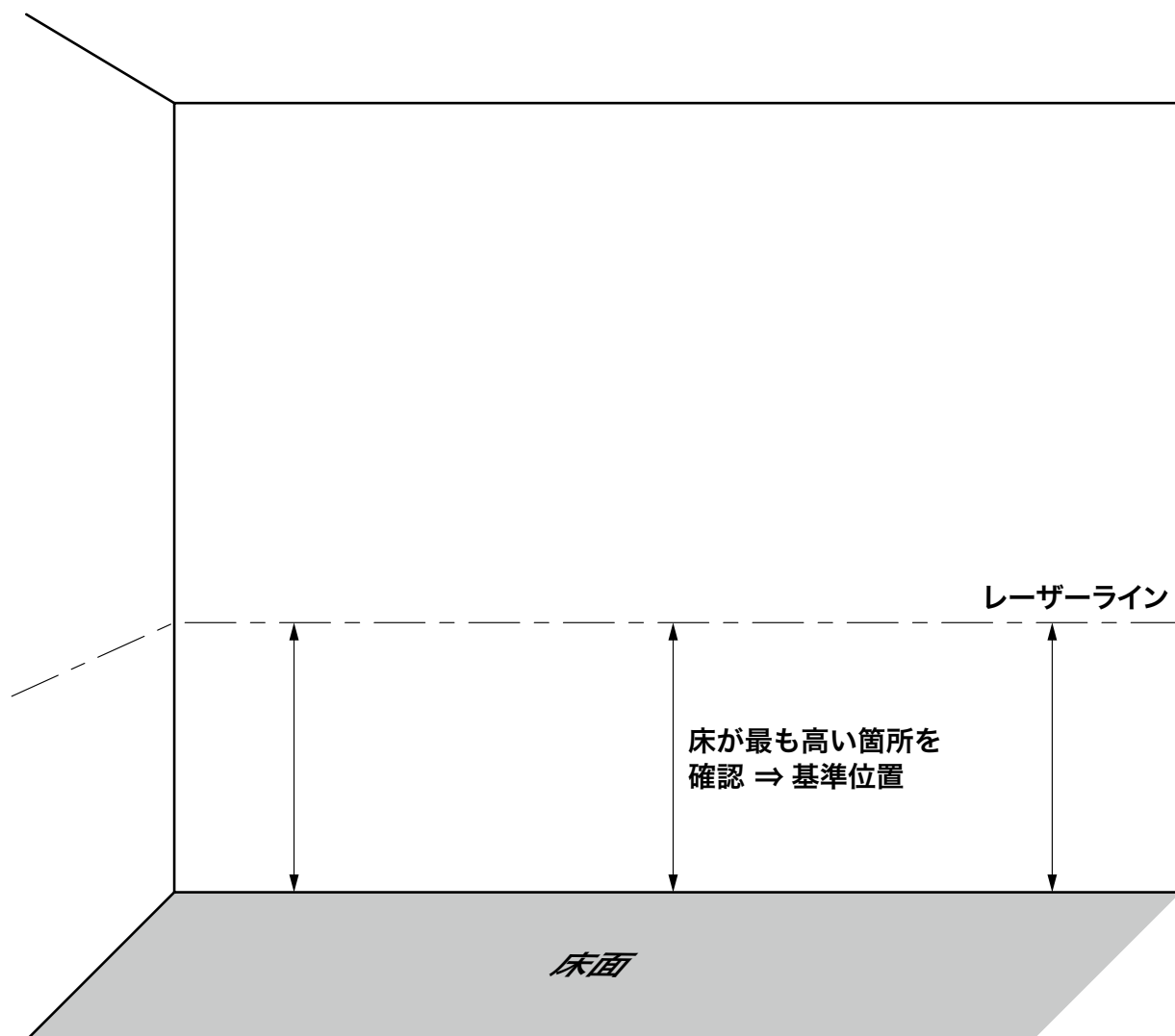
👉 P. 89 参照

開き扉 棚板

墨出し

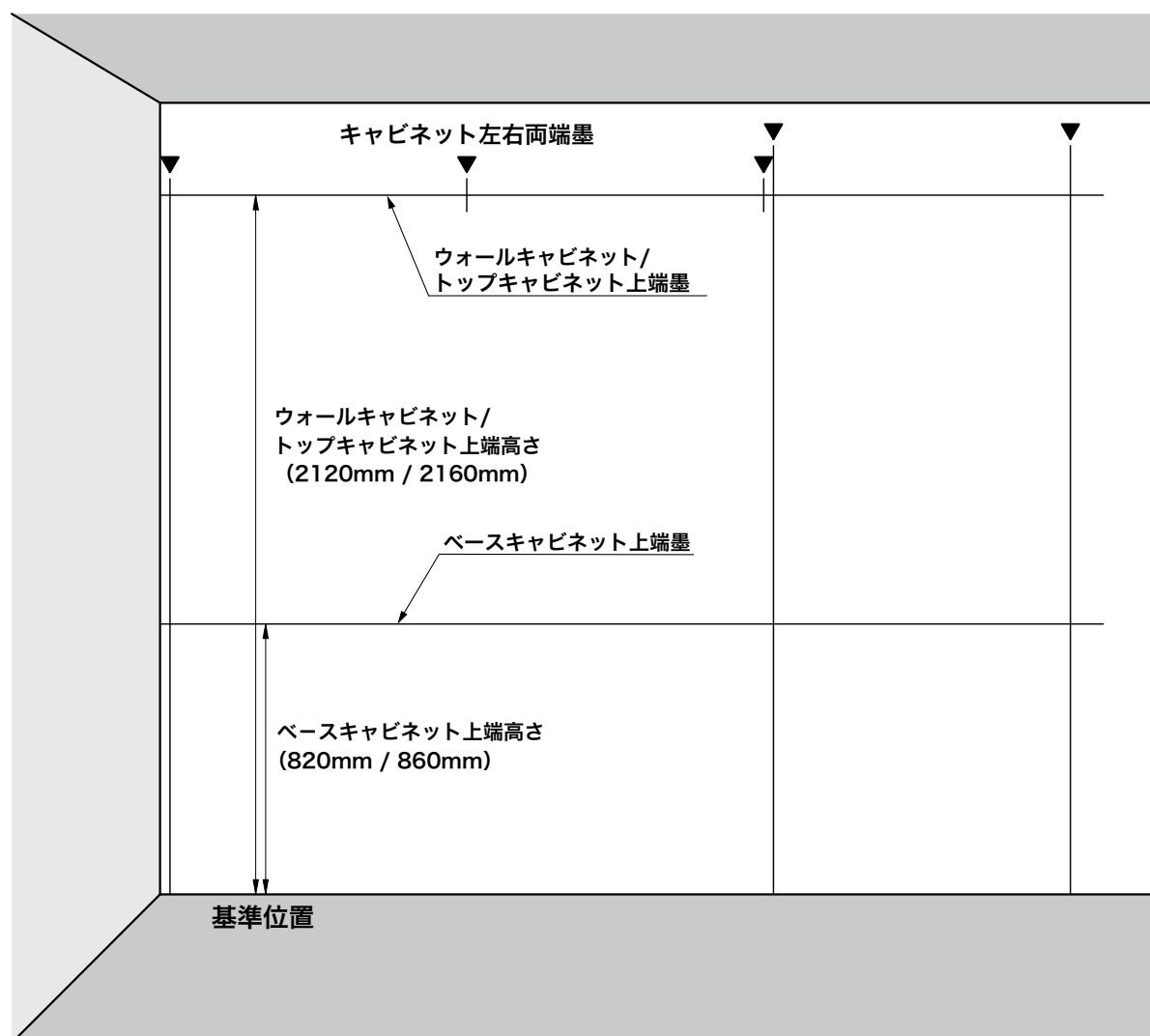
① 高さの基準となる基準位置の確認

- (1) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット設置箇所に水平ラインを照射してください。
- (2) 各キャビネットが位置する床面から、照射した水平ラインまでの距離を確認してください。
- (3) 計測結果から、床が最も高い(距離が短い)箇所を基準位置とします。



② 取付位置の墨出し

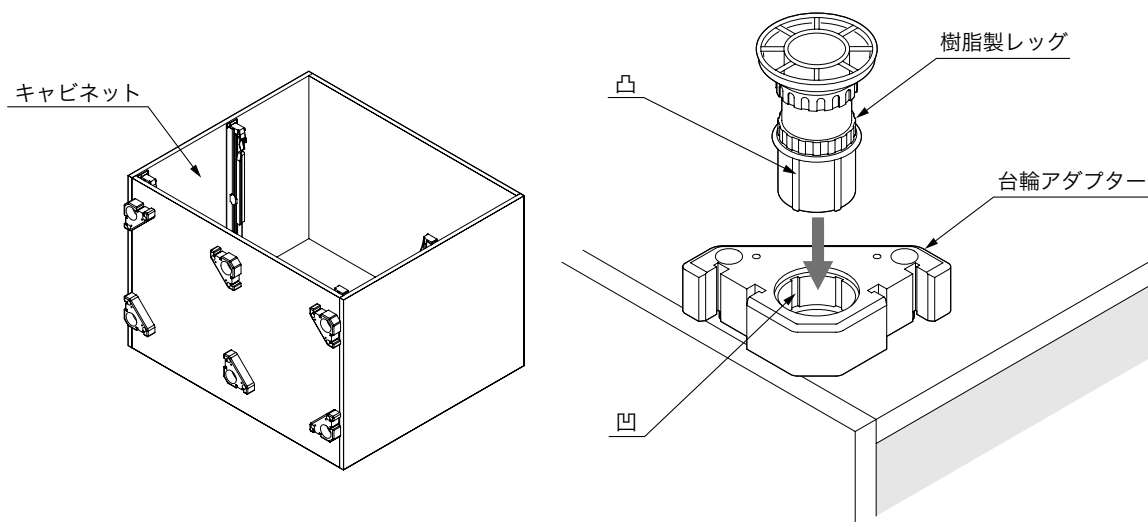
- (1) ベースキャビネットの上端の高さ(ワークトップは含まず)を図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (2) ウォールキャビネット / トップキャビネットの上端の高さを図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (3) キャビネットの箱割り位置を図面で確認し、キャビネットの左右両端位置に垂直墨を打ってください。



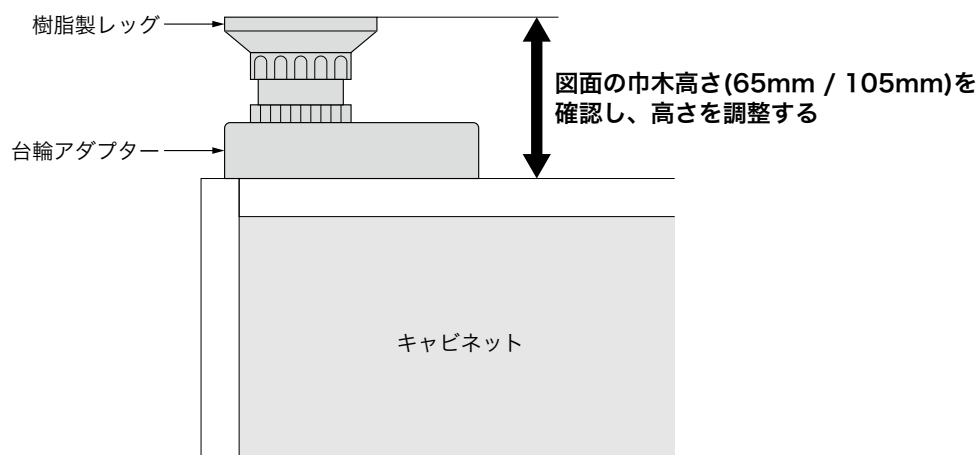
◆ ベースキャビネット・アップーキャビネット・トップキャビネットの取付け

樹脂製レッグの取付け

- ① キャビネット底面の台輪アダプターに樹脂製レッグを合わせて差し込んでください。
- ② プラスチックハンマーやゴムハンマーで叩き入れ、奥までしっかりと入っているか確認してください。



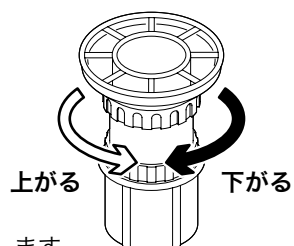
- ③ 樹脂製レッグの高さが図面の巾木高さになっているかを確認し、高さが異なっている場合は調整してください。



樹脂製レッグの高さ調整方法(底面から見た場合)

高さを上げたい場合
・・・反時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・時計回りに回す



※1回転につき約3mm上下します。

調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

キャビネットの並び順の確認

キャビネット背面の製品ラベルに記載されている部材番号と図面の番号を照らし合わせて、キャビネットの並び順を確認してください。

⚠ 注意

❗ 必ず、キャビネットの並び順を確認する。

同じサイズのキャビネットでも、配置位置によって取付け用ガイド穴の数・位置が異なるため、誤った並び順で取付けを行うと思わぬ事故の原因となります。

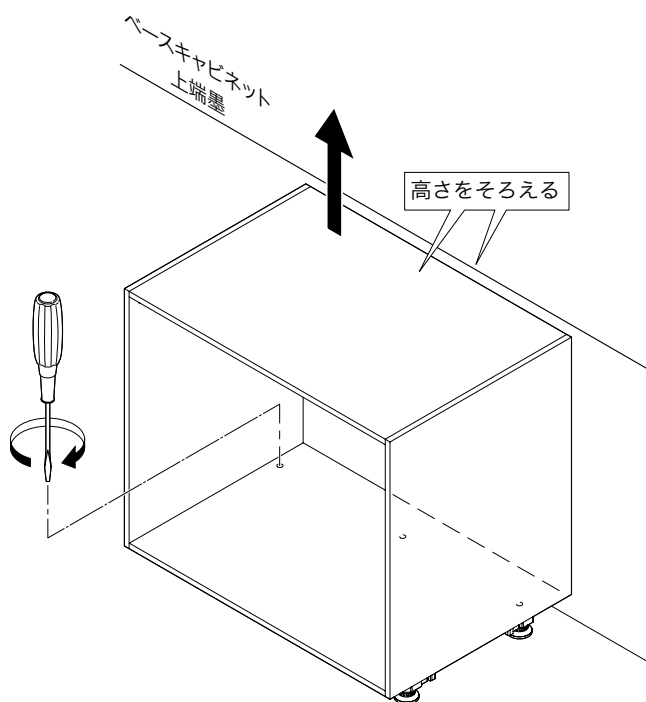
キャビネットの設置

① キャビネットの仮置き

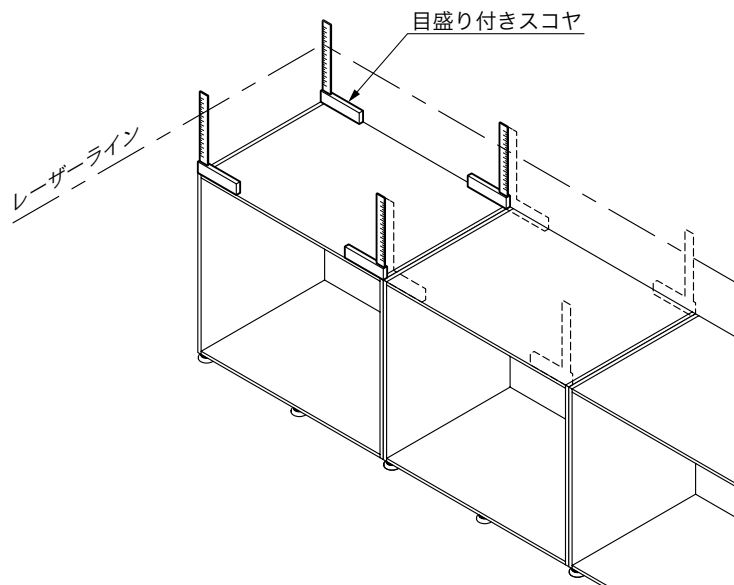
キャビネット全てを設置場所へ仮置きしてください。

② キャビネットの高さ・水平調整

(1) キャビネット奥側の樹脂製レッグの高さを上げ、キャビネット上面が墨出しした上端墨と同じ高さになるように調整してください。



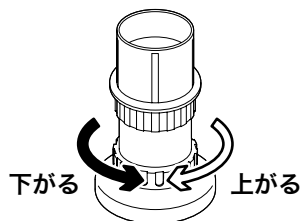
- (2) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット上面+50mm程度の高さに水平ラインを照射してください。
- (3) キャビネット四隅に目盛り付きスコヤを置いて、キャビネット上面からレーザーラインまでの高さを確認してください。
- (4) 手前側の樹脂製レッグの高さを上げ、前後左右水平になるように調整してください。
- (5) 四隅すべての位置でキャビネット上面からレーザーラインまでの高さが同じであることを確認してください。
- (6) 樹脂製レッグが5ヶ所以上あるキャビネットの場合は、四隅のレッグで水平調整を行った後、キャビネット中央のレッグを床面まで下げてください。



樹脂製レッグの高さ調整方法

高さを上げたい場合
・・・時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・反時計回りに回す

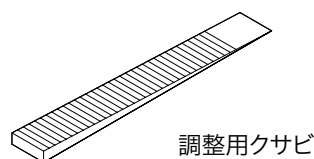


調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

※1回転につき約3mm上下します。

※キャビネット奥側の樹脂製レッグはキャビネットの内側からマイナスドライバー（軸長150mm以上、ヘッド最大幅10mm以下）で回すことができます。

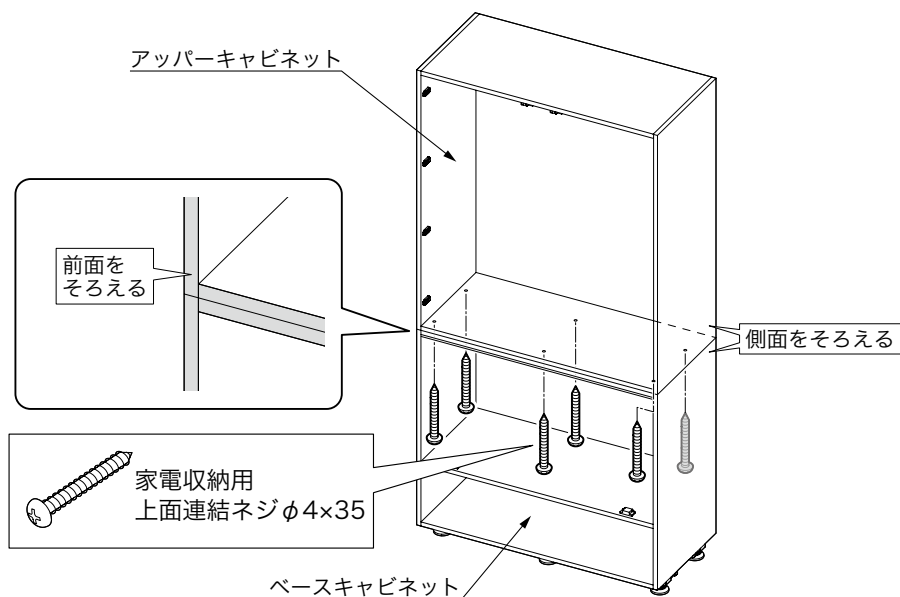
※ ダストボックス収納キャビネットの高さ調整には調整用クサビを使用してください。



キャビネットの上下連結

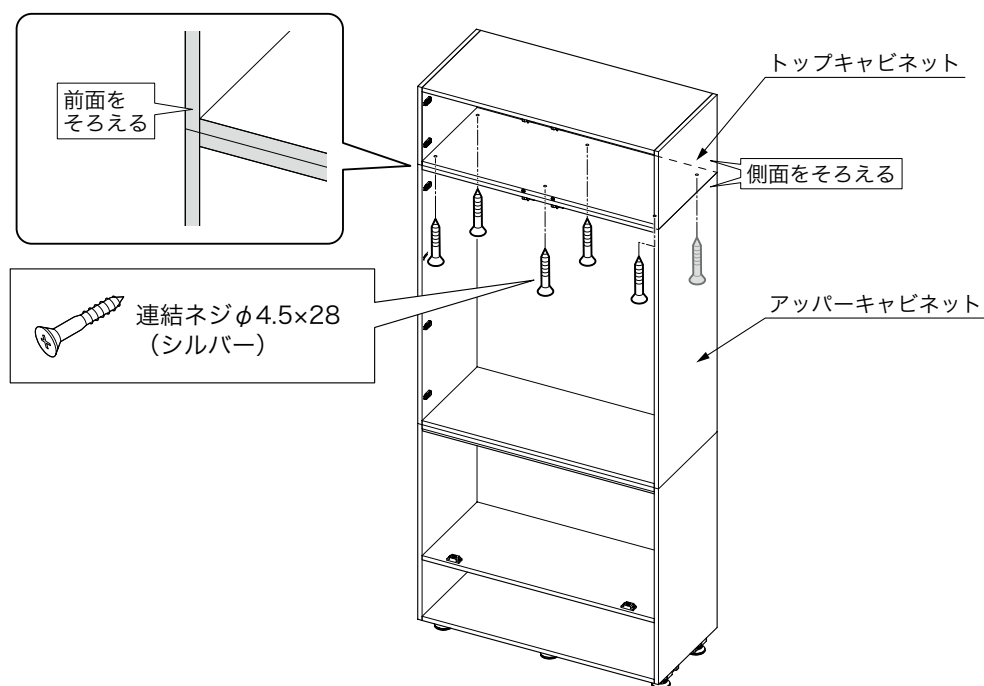
① アッパーキャビネットの上下連結

- (1) アッパーキャビネットをベースキャビネットの上に積み上げてください。
- (2) キャビネットの前面・側面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- (3) ベースキャビネット上板のガイド穴からアッパーキャビネットに向かって下穴(φ3)を開けてください。
- (4) 家電収納用上面連結ネジφ4×35でキャビネットを上下連結してください。



② トップキャビネットの上下連結

- (1) トップキャビネットをアッパーキャビネットの上に積み上げてください。
- (2) キャビネットの前面・側面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- (3) アッパーキャビネット上板のガイド穴からトップキャビネットに向かって下穴(φ3.5)を開けてください。
- (4) 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを上下連結してください。

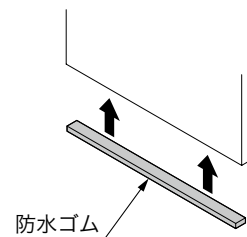


防水ゴムの取付け

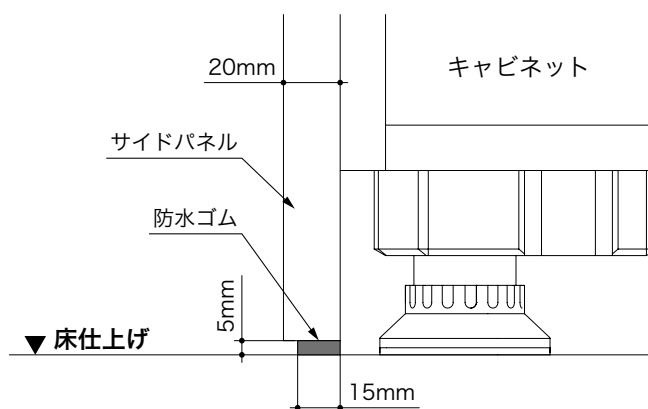
サイドパネルに防水ゴムを取り付けます。

※ 床面から浮かせるサイドパネルには取付け不要です。

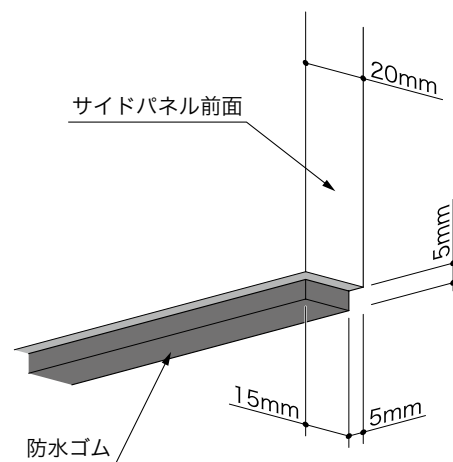
- ① パネルの寸法に合わせて防水ゴムをカットしてください。
- ② パネルの床側木口面に防水ゴムを取り付けてください。



サイドパネル・防水ゴム納まり



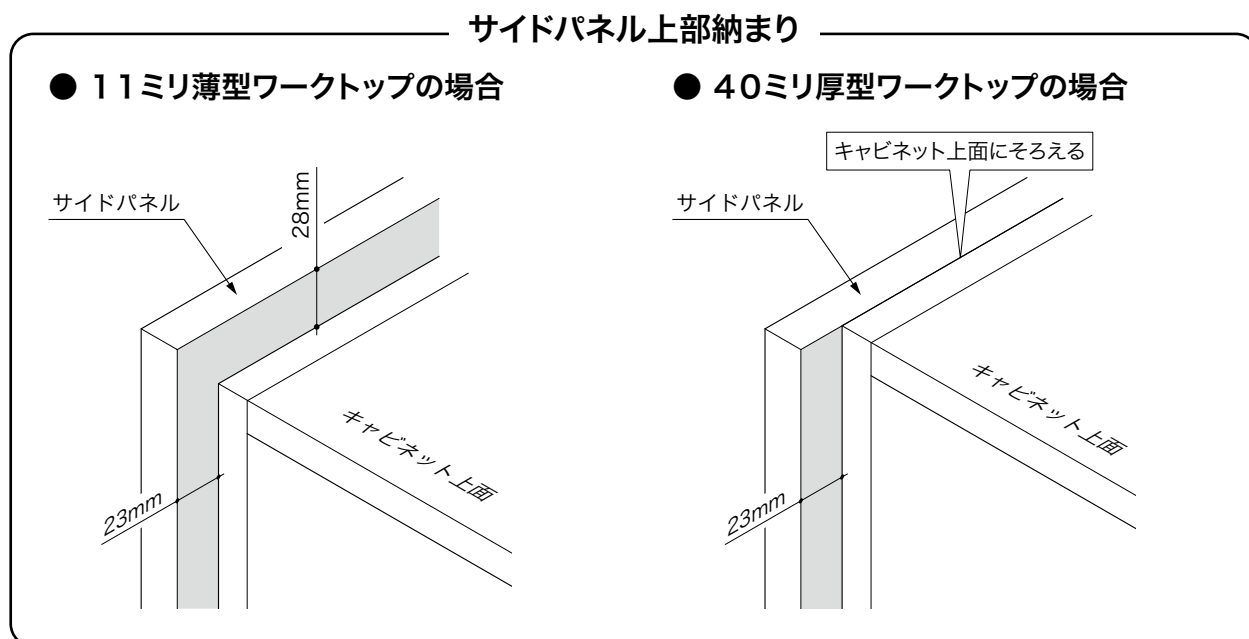
※防水ゴムはパネル木口面のキャビネット側に合わせて貼る



下から見た図

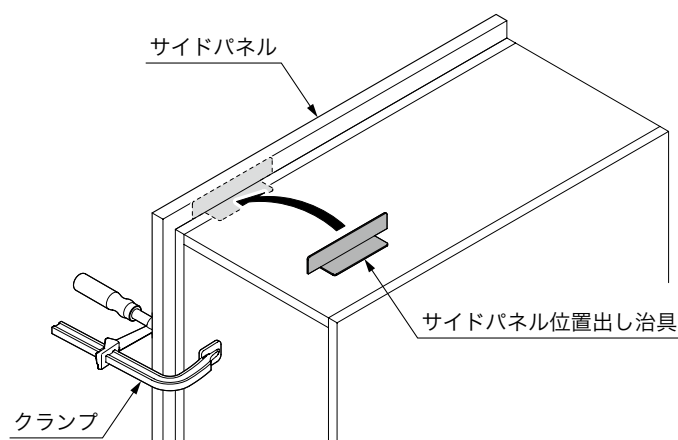
サイドパネルの取付け

- ① ワークトップの仕様によってサイドパネルの納まりが変わりますので、キャビネットからパネルを突き出す寸法を確認してください。(下図参照)



- ② サイドパネルをキャビネットの背面にそろえてください。
さらに、サイドパネル上部を取付位置に合わせて、クランプで仮固定してください。
このとき、キャビネット前面から突き出る寸法が23mmになっているか確認してください。

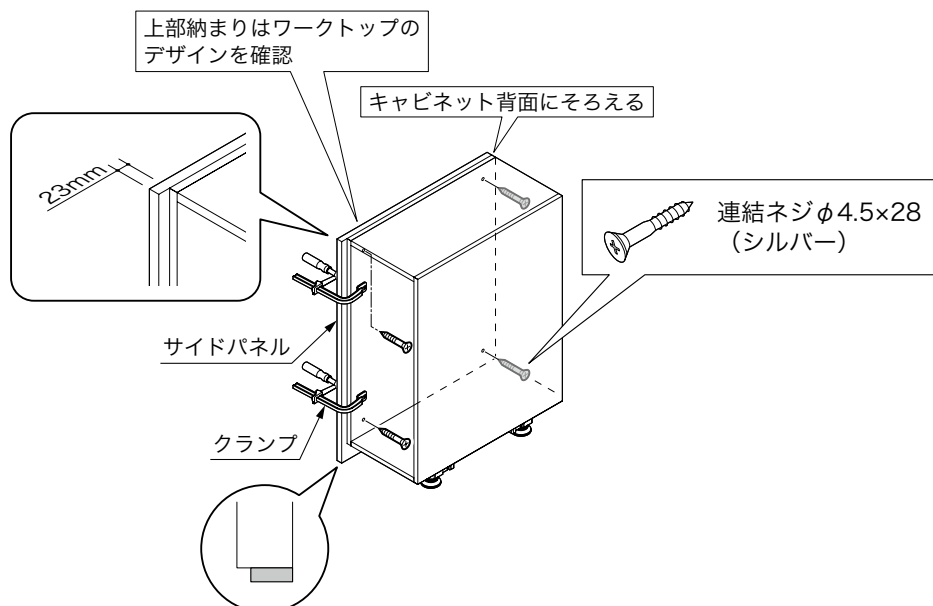
※ 11ミリ薄型ワークトップの場合、パネル上部の位置出しは『サイドパネル位置出し治具』を下図のように当てて行くとキャビネットの上面から28mmの位置が出せます。



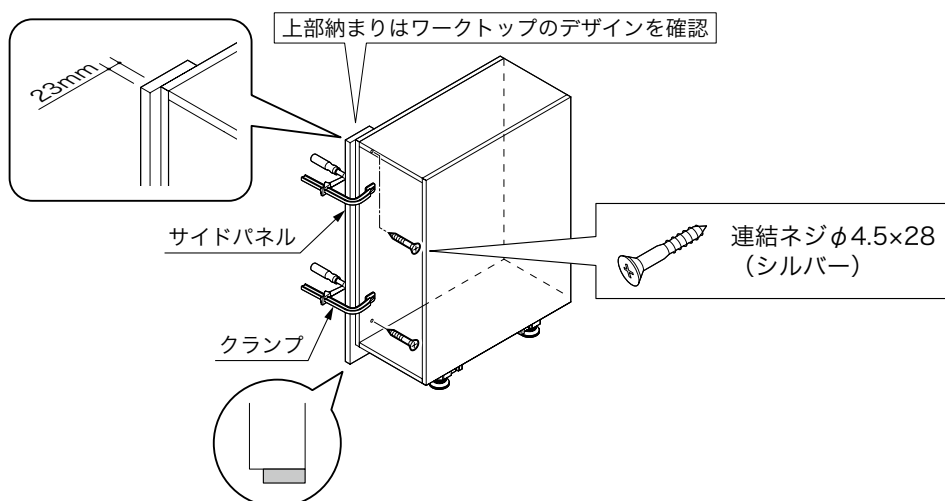
ハーフトール の取付け

- ③ キャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でサイドパネルを取り付けてください。

● カウンター側

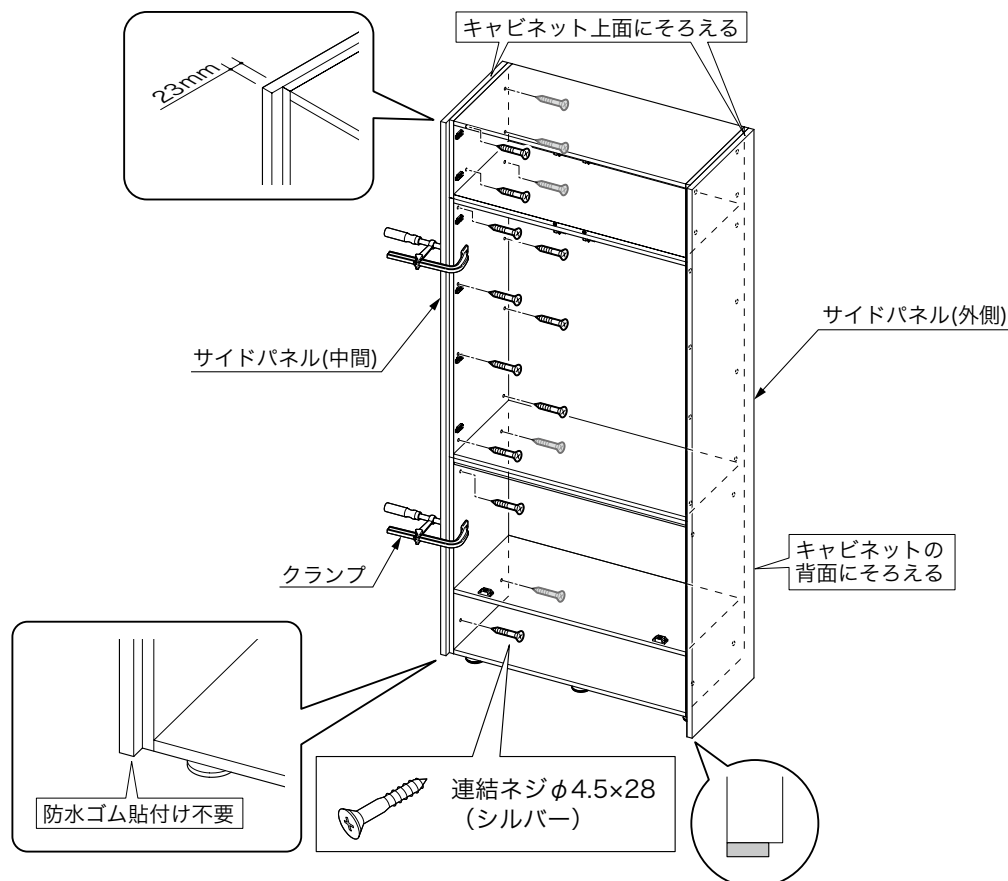


▼ サイドパネル側面が壁に接する場合



ハーフトール の取付け

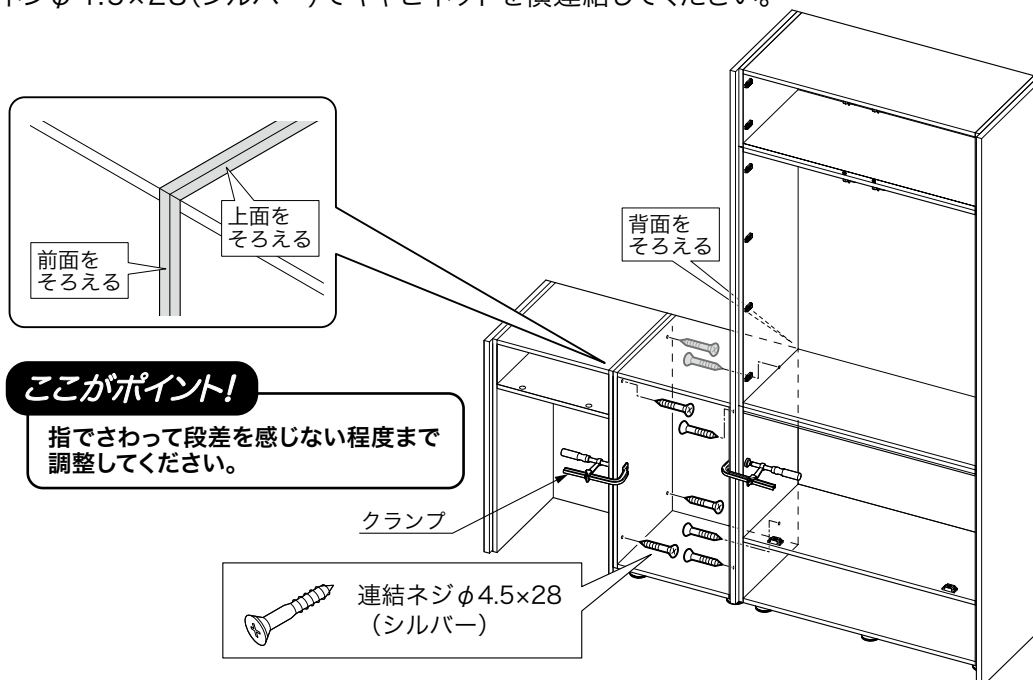
● トール側



※ サイドパネル(外側)も同様に、連結ネジφ4.5×28(シルバー)で取り付けてください。

キャビネットの横連結

- ① キャビネットの上面・前面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② カウンター側とトール側の背面をそろえて、クランプで仮固定してください。
このとき、キャビネット前面からサイドパネル前面までの寸法が23mmになっているか確認してください。
- ③ 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを横連結してください。



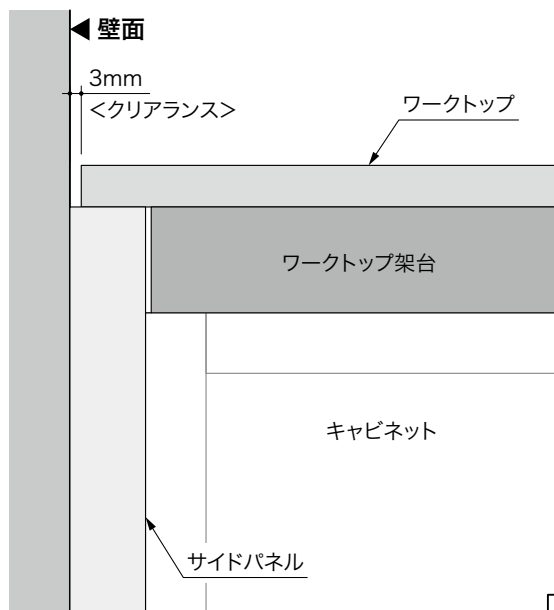
ワークトップの取付け

- ① キャビネットの上にワークトップを仮置きしてください。
- ② 左右および手前のチリ寸法を調整してください。(下図参照)

● 11ミリ薄型ワークトップの場合

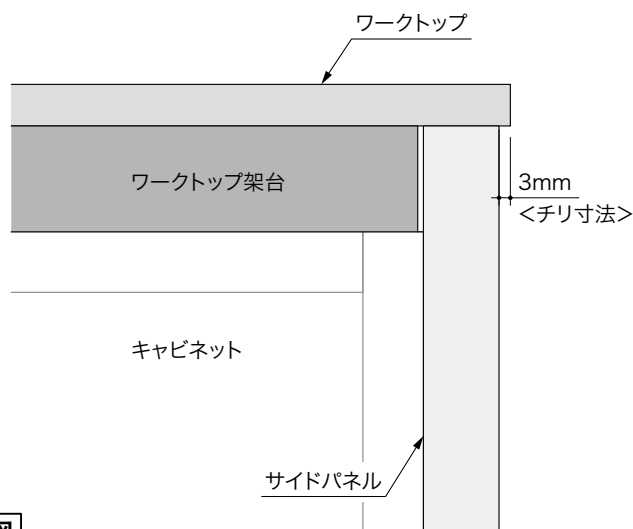
▼ 壁側の納まり

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



▼ オープン側の納まり

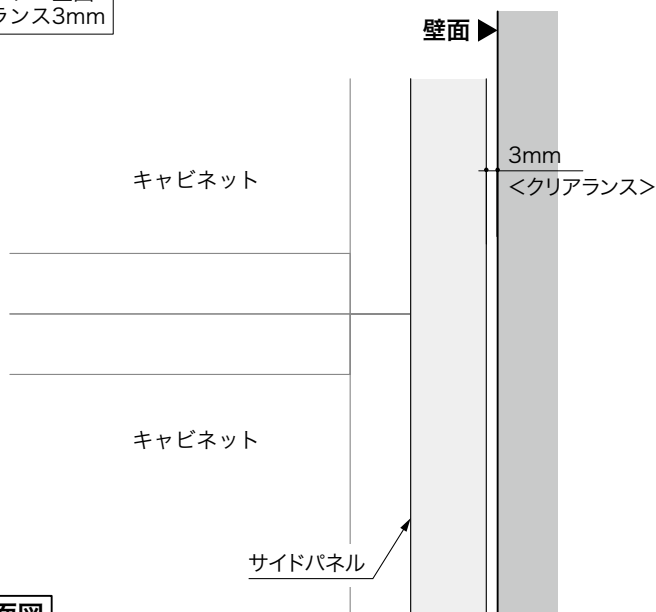
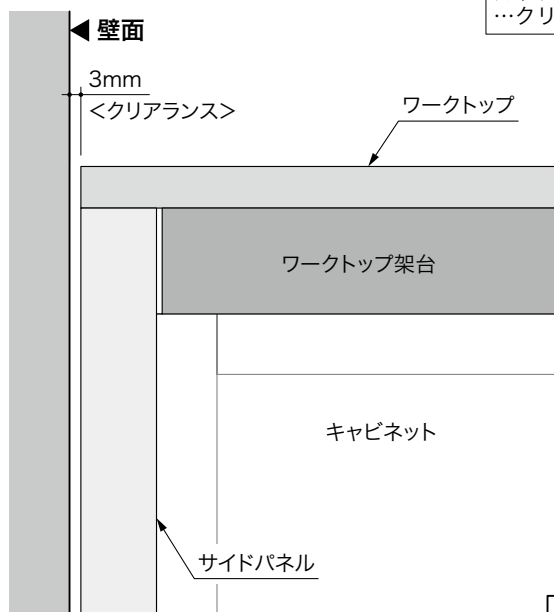
ワークトップ～サイドパネル
…チリ寸法3mm



正面図

▼ 両側壁の場合の納まり

カッボード～壁面
…クリアランス3mm

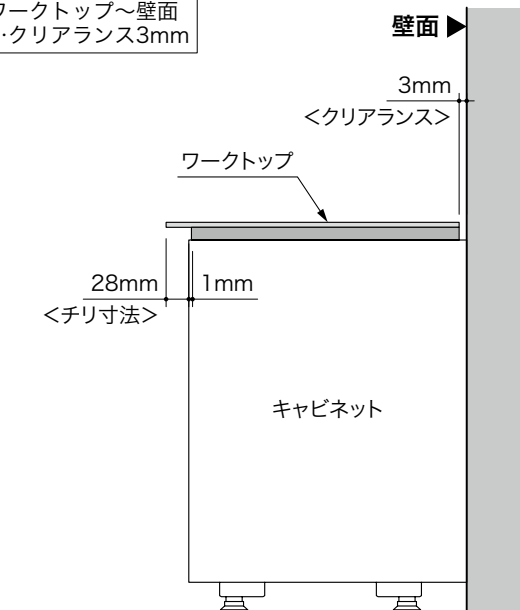


正面図

注) 建築仕上げによっては、クリアランスが3mmにならない場合があります。

ワークトップ～キャビネット前面
…チリ寸法28mm

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



側面図

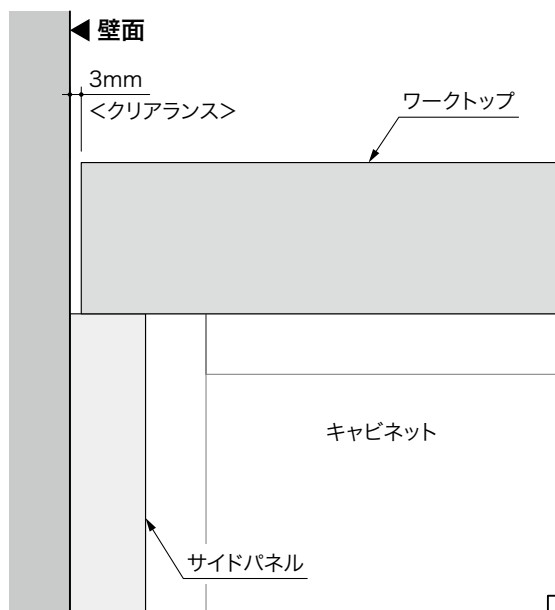
※ 見やすくするため、サイドパネルを透過したイラストで説明しています。

注)ワークトップの架台はキャビネット前面よりも1mm内側に入った位置

● 40ミリ厚型ワークトップの場合

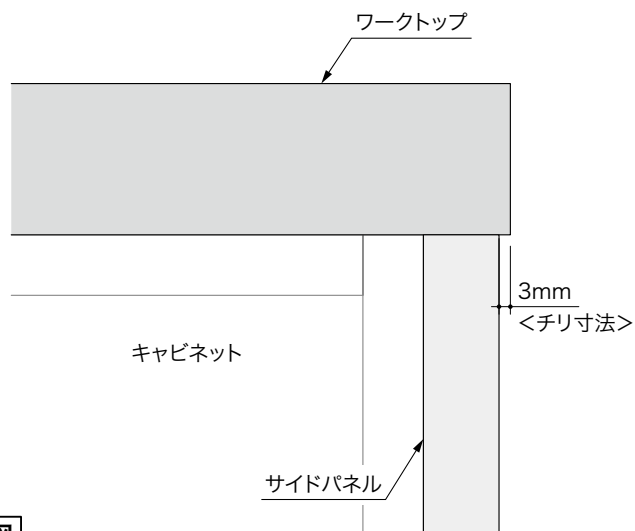
▼ 壁側の納まり

ワークトップ～壁面
…クリアランス3mm



▼ オープン側の納まり

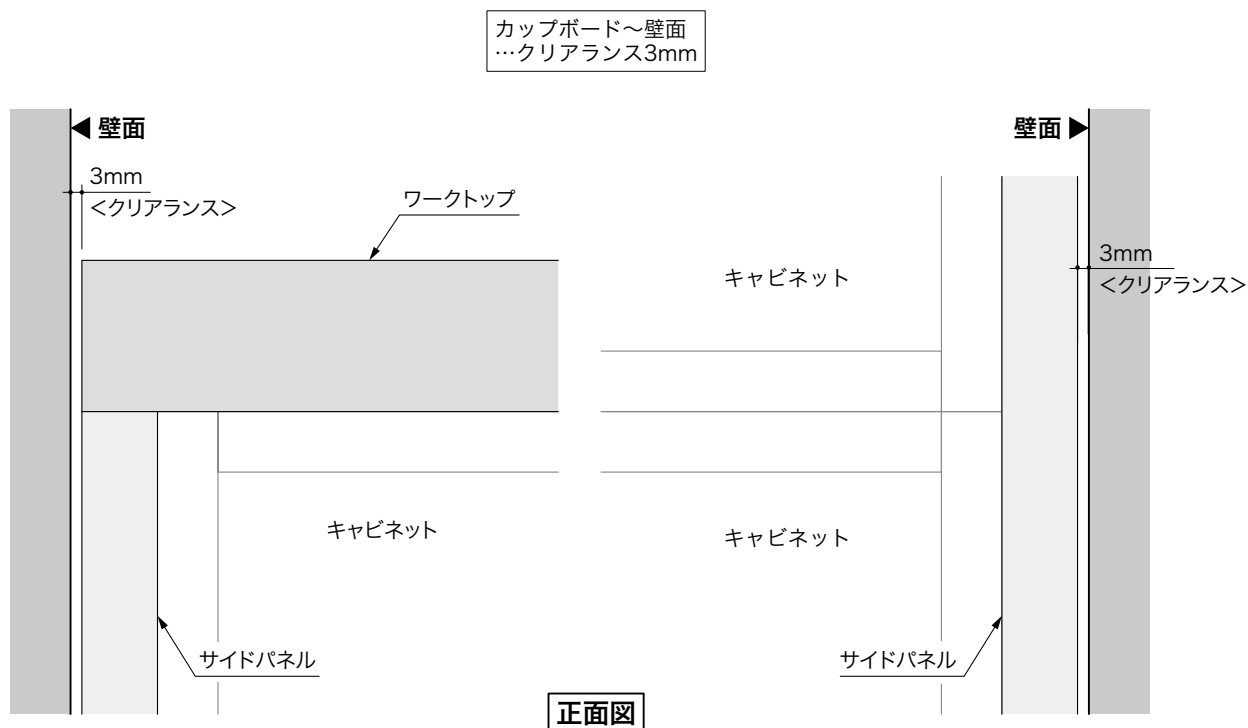
ワークトップ～サイドパネル
…チリ寸法3mm



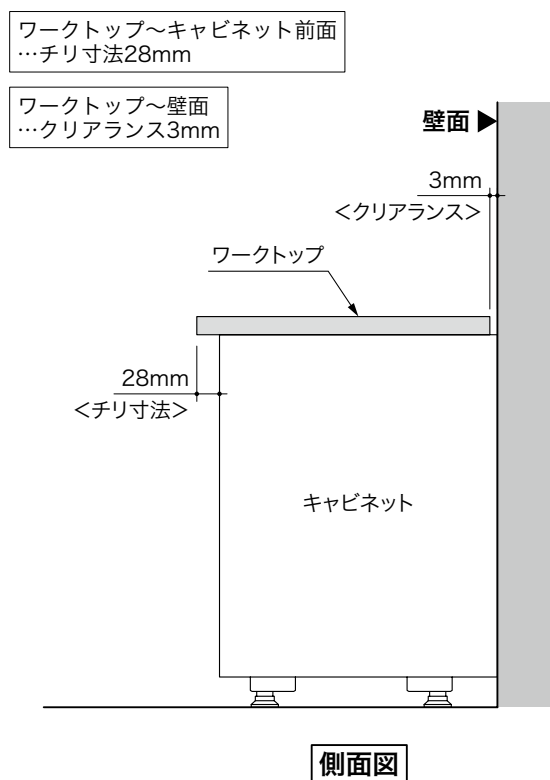
正面図

ハーフツールの取付け

▼ 両側壁の場合の納まり



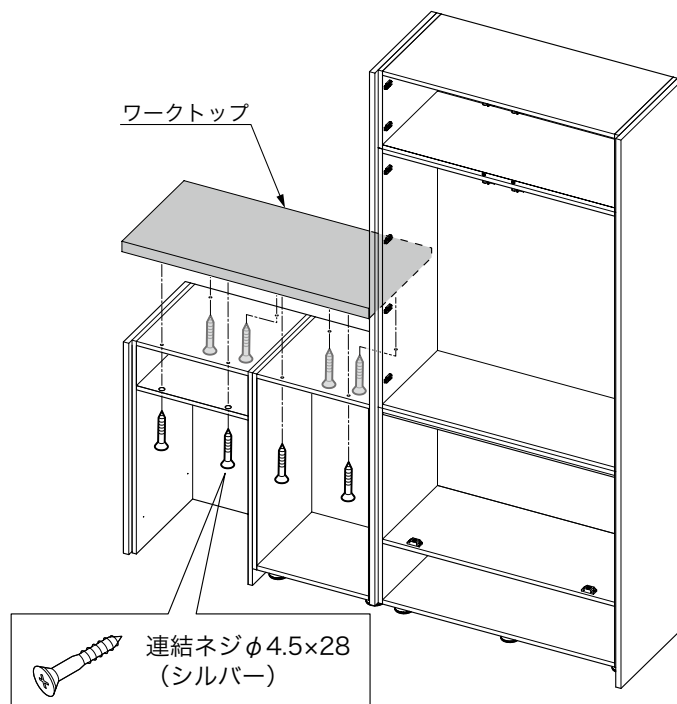
注) 建築仕上によっては、クリアランスが3mmにならない場合があります。



※ 見やすくするため、サイドパネルを透過したイラストで説明しています。

ハーフトール の取付け

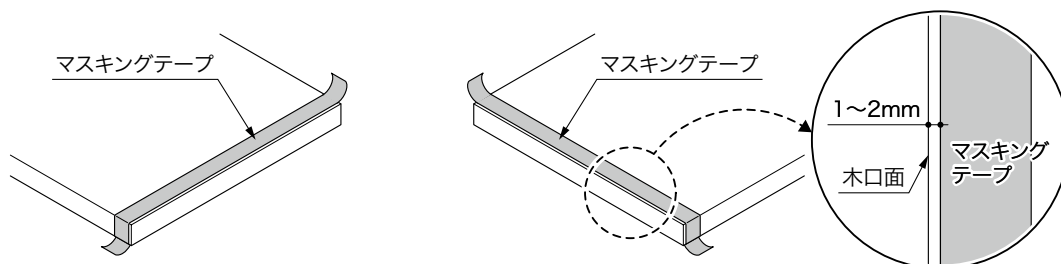
- ③ キャビネット上板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でワークトップを固定してください。



横並びワークトップの取付け

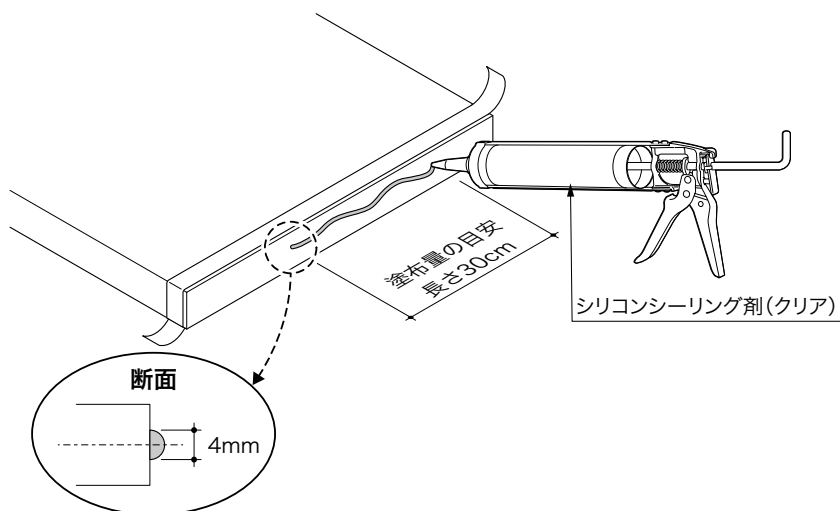
※キッチン(デュエ / デュエアイランド / ウェスタアイランド)と
カッパボードを横並びで取り付ける場合のみ

- ① P. 47 の「ワークトップの取付け」で1枚目のワークトップの取付けが完了したら、隣接する2枚目のワークトップをキャビネットの上に仮置きしてください。
- ② 接合部木口面にホコリが付いている場合は十分に取り除いてください。
- ③ 接合部付近のワークトップ表面にマスキングテープを貼ってください。
※ マスキングテープは木口面から1~2mm程度離れた位置に貼ってください。

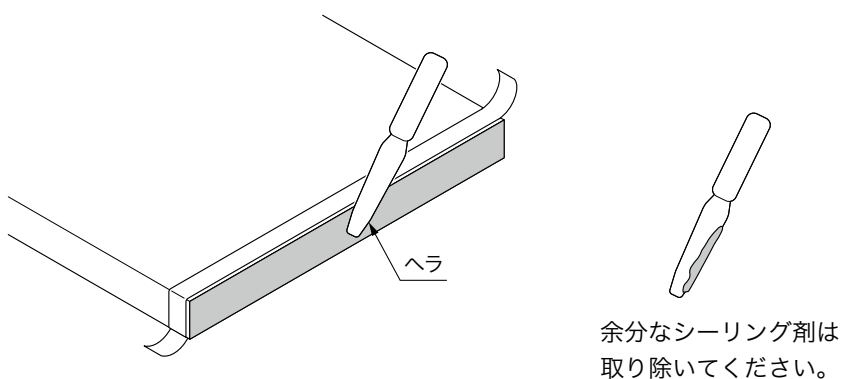


ハーフトール の取付け

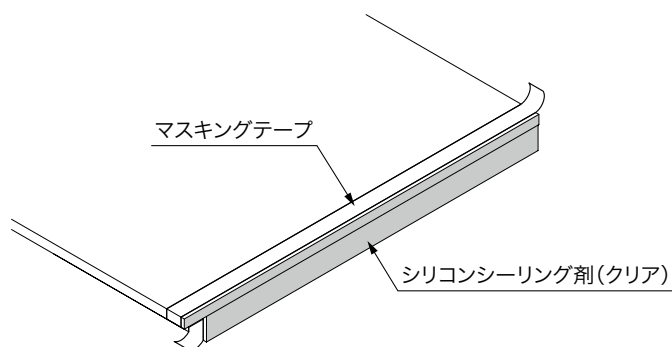
- ④ 先に固定したワークトップの接合部木口面に付属のシリコンシーリング剤(クリア)を塗布してください。



- ⑤ ヘラ等でなるべく薄く延ばしてください。
※ たまりができないように延ばしてください。

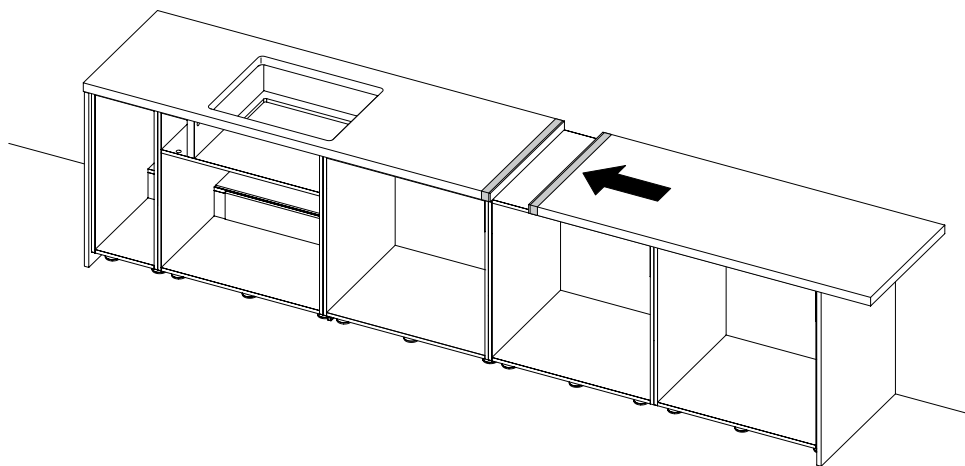


● 11ミリ薄型ワークトップの場合

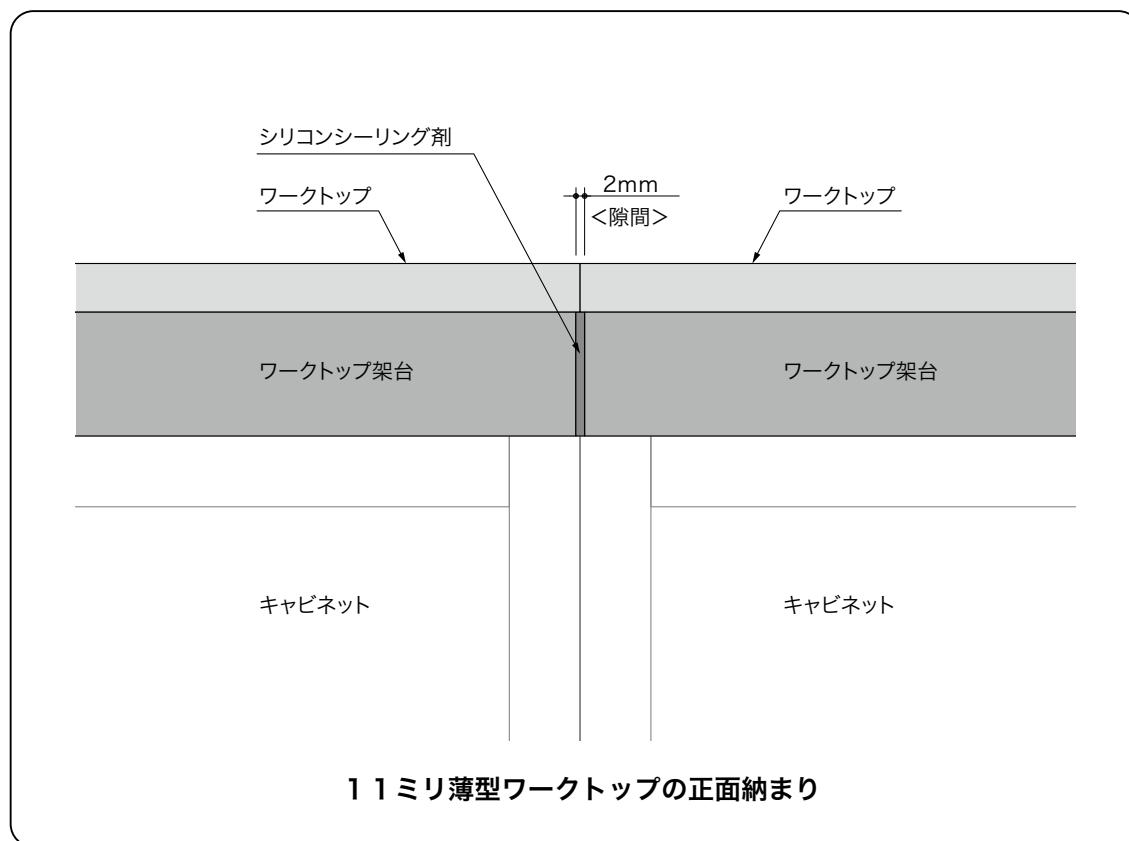


ハーフトールの取付け

- ⑥ 先に固定したワークトップに2枚目のワークトップを突き付けてください。

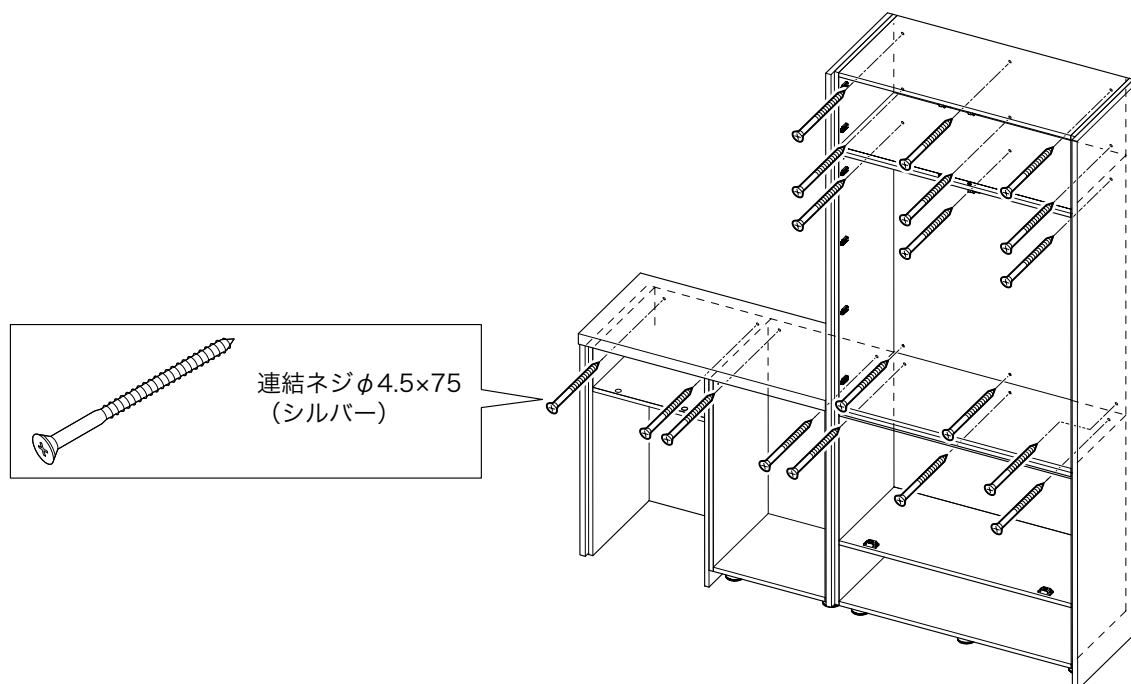


- ⑦ ワークトップ手前のチリ寸法を調整してください。
⑧ キャビネット上板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けて、ネジでワークトップを固定してください。
⑨ はみ出した余分なシリコンシーリング剤はヘラ等でならして取り除いてください。
⑩ マスキングテープをはがしてください。



キャビネットの壁面固定

- ① 背板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ② 連結ネジφ4.5×75(シルバー)で壁に固定してください。



◆ ウォールキャビネットの取付け

キャビネットの並び順の確認

キャビネット背面の製品ラベルに記載されている部材番号と図面の番号を照らし合わせて、キャビネットの並び順を確認してください。

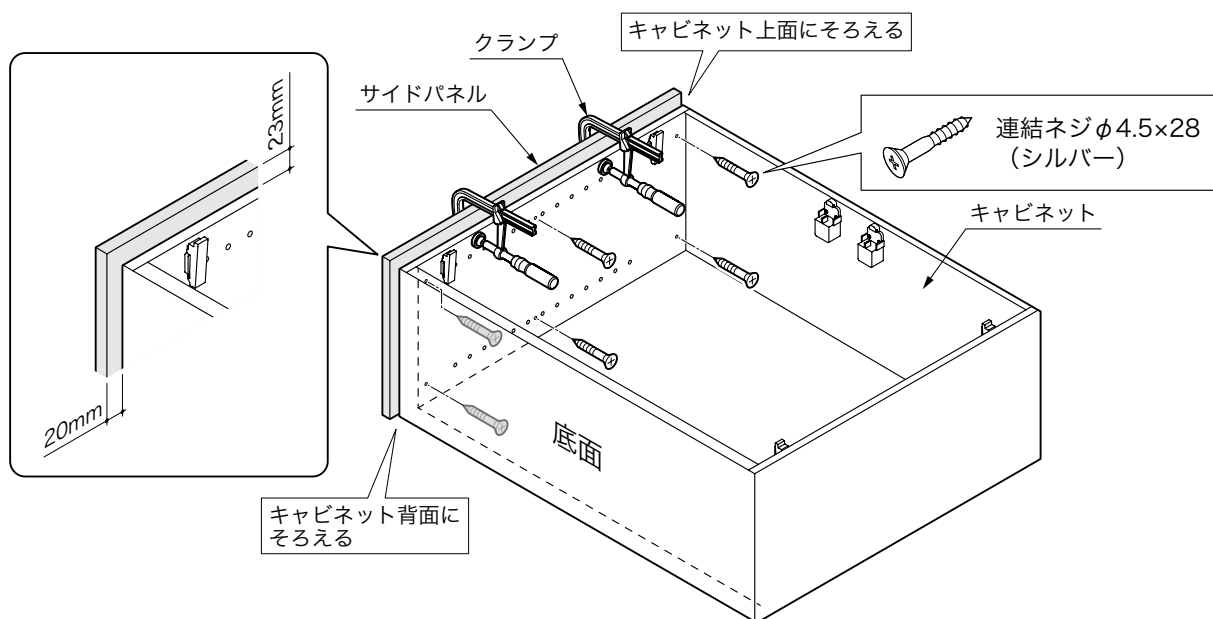
⚠ 注意

❗ 必ず、キャビネットの並び順を確認する。

同じサイズのキャビネットでも、配置位置によって取付け用ガイド穴の数・位置が異なるため、誤った並び順で取付けを行うと思わぬ事故の原因となります。

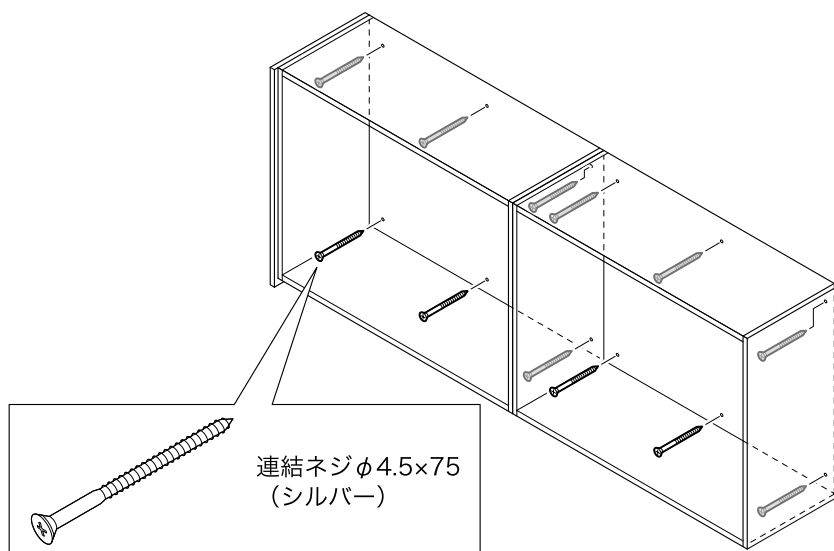
サイドパネルの取付け

- ① サイドパネルをキャビネットの上面・背面にそろえて、クランプで仮固定してください。
このとき、キャビネットから突き出る寸法が、前面から23mm・底面から20mmになっているか確認してください。
- ② キャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でサイドパネルを取り付けてください。



キャビネットの壁面固定

- ① 墨出したキャビネット上端墨と左右両端墨にウォールキャビネットを合わせてください。
- ② 背板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×75(シルバー)で壁に固定してください。

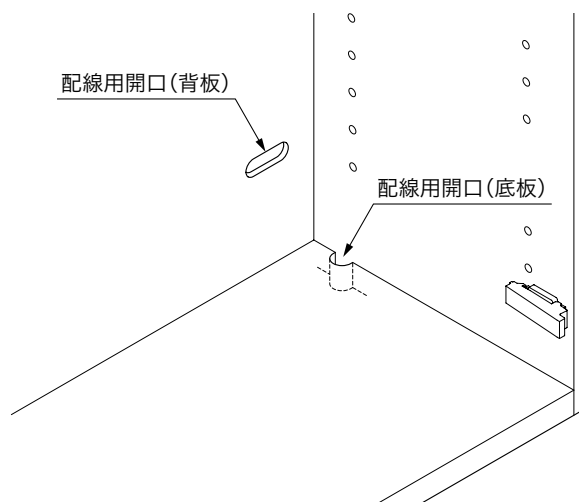


● 棚下LED照明<オプション>有りの場合

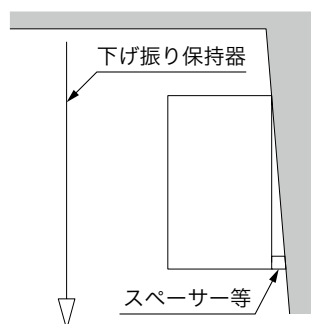
専用の配線用開口付きウォールキャビネットが含まれます。

キャビネットの配置を図面で確認し、配線用開口から電源ケーブルを通せるようにキャビネットを並べてください。

併せて、「LED埋込ライン照明 取付手順書」をご覧ください、正しく取り付けてください。



- ④ 壁面が垂直になっていない場合は、下げ振り保持器などで確認しながらスペーサー等(現場調達)で調整してください。



⚠ 注意

❗ ウォールキャビネットが水平・垂直になるように取り付ける。

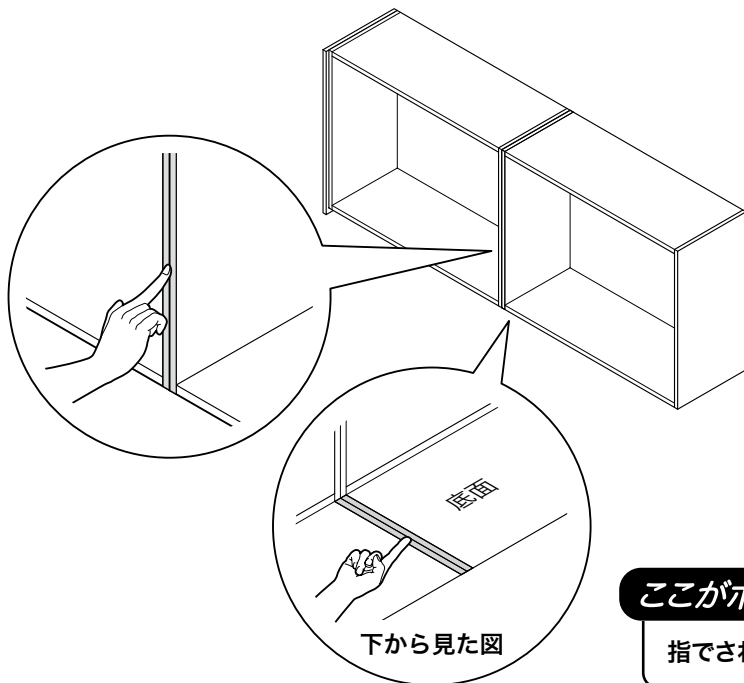
ウォールキャビネットが傾いていると、感震ロックが正常に作動せず、地震の揺れで、収納物が飛び出す原因となります。

キャビネットの連結

① キャビネットの位置調整

キャビネット同士の底面・全面がそろっているか確認してください。

もし、そろっていない場合は、ウォールキャビネットを壁に固定している連結ネジをゆるめて調整してください。



ここがポイント!

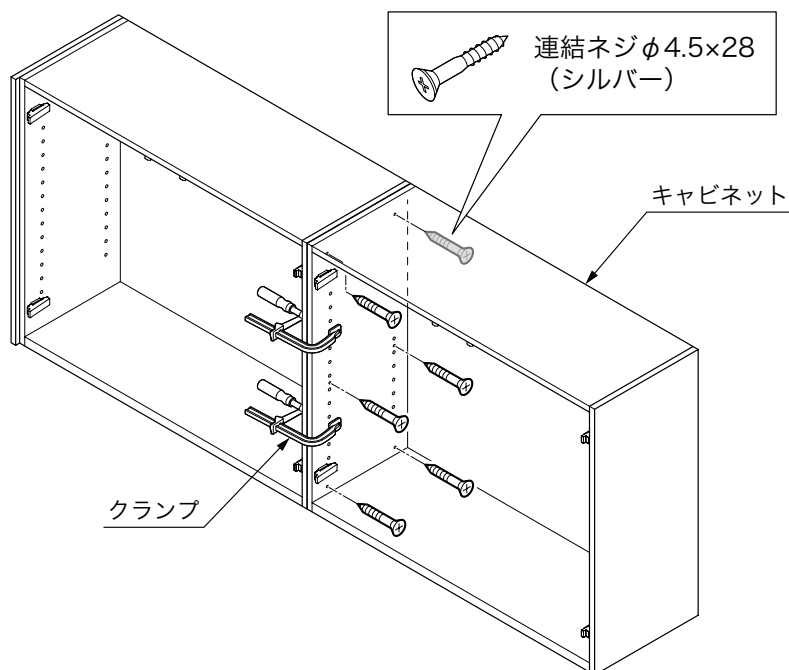
指でさわって段差を感じない程度まで調整してください。

② キャビネットの横連結

(1) キャビネットの前面・底面をそろえたら、クランプで仮固定してください。

(2) 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。

(3) 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを連結してください。

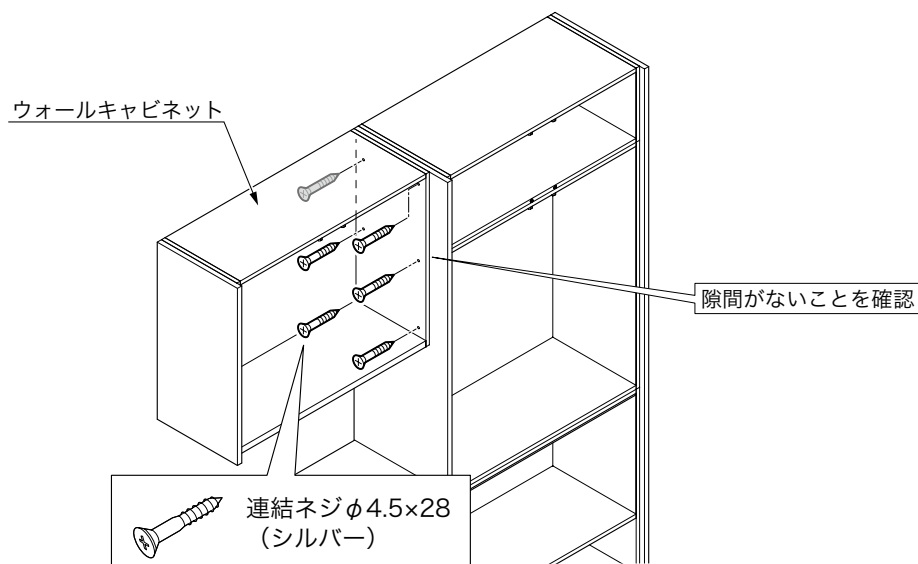


ハーフトール の取付け

③ トール側との連結

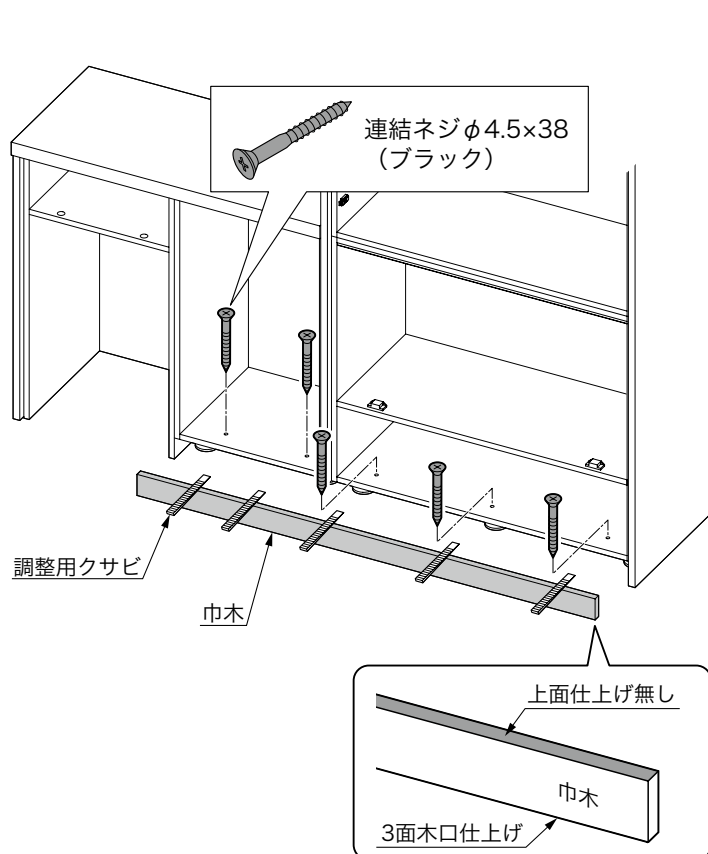
- (1) ウォールキャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- (2) 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを横連結してください。
- (3) 連結後にキャビネットとサイドパネルの間に隙間がないことを確認してください。

もし、隙間がある場合は、ウォールキャビネットを壁に固定している連結ネジをゆるめて調整してください。

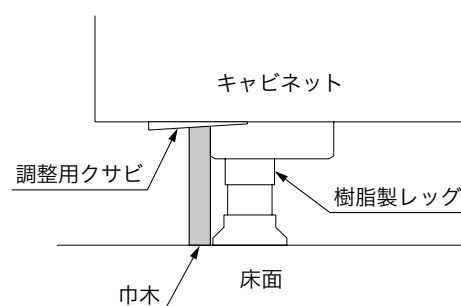


巾木の取付け

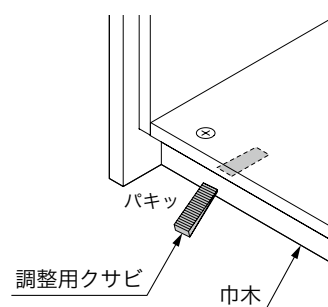
- ① 巾木の木口仕上げ面を床に向けて、キャビネットの下部へ差し込んでください。
- ② 調整用クサビを巾木とキャビネット底板の隙間に差し込み、巾木を仮固定してください。
- ③ 底板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×38(ブラック)で巾木を取り付けてください。



巾木は樹脂製レッグに押し当てて取り付けてください。

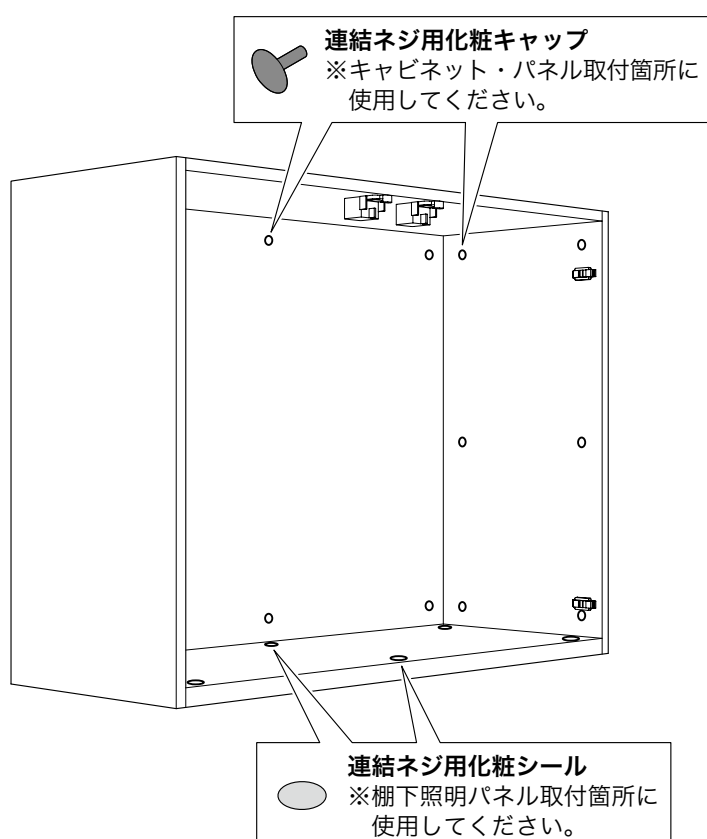
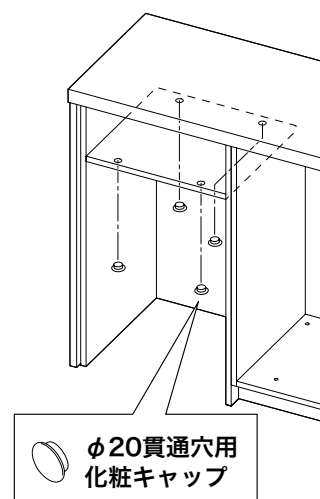
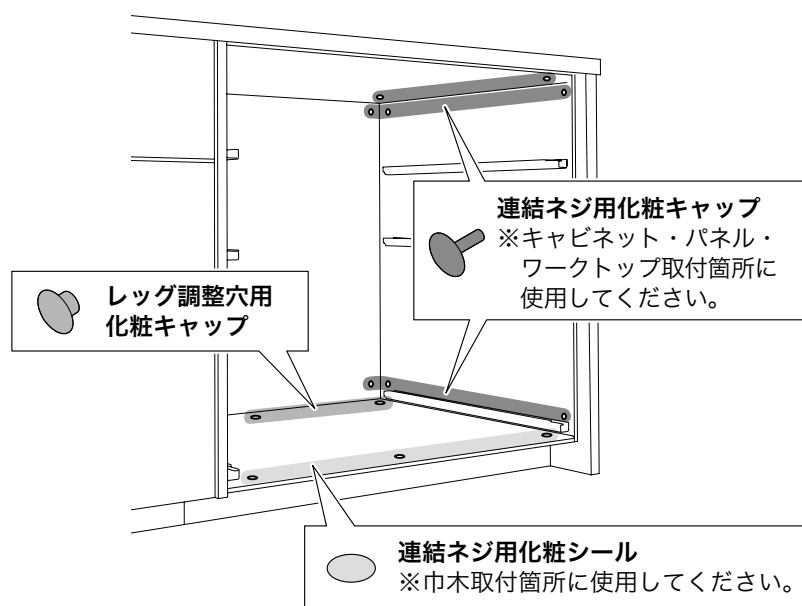


調整用クサビは、巾木取付後に根元から折ってください。



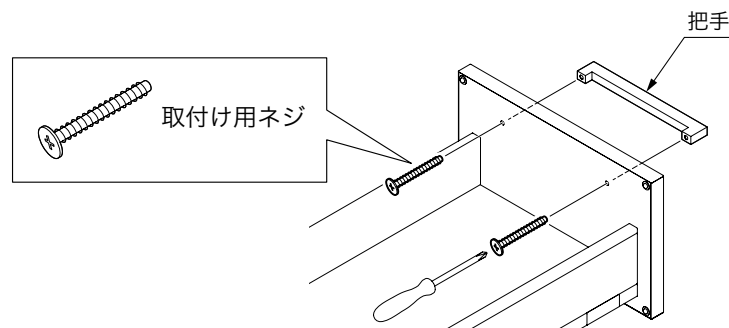
各種キャップ・カバーの取付け

- ① 連結ネジに化粧キャップを取り付けてください。
- ② 巾木を取り付けたネジには化粧シールを貼ってください。
- ③ レッグ調整穴に化粧キャップを取り付けてください。
- ④ ロングビットを通すためのφ20貫通穴に化粧キャップを取り付けてください。
- ⑤ 棚下照明パネルを取り付けたネジには化粧シールを貼ってください。



把手の取付け

把手に付属されている取付け用ネジで把手を取り付けてください。



⚠ 注意

- ❗ 把手を取り付ける際は、必ず手回しドライバーを使用する。
ネジ頭がスリムタイプのため、電動ドライバーを使用すると十字穴が潰れる原因となります。

引出し・扉・棚板の取付け

- ① 設置前に取り外した引出し・扉・棚板を取り付けて調整してください。
もし、扉を開いたときに側面の壁等にぶつかる場合は、86°角度ストッパーを取り付けてください。
- ② 引出しの調整が完了したら、引出し内側両サイドのカバーを取り付けてください。
- ③ 扉の調整が完了したら、ヒンジカップカバーおよびアームカバーを取り付けてください。

引出しの取外し・取付け・調整方法

👉 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

👉 P. 89 参照

開き扉 棚板

※ 次の作業は清掃 / シーリング / 養生になりますので、下記のページへお進みください。

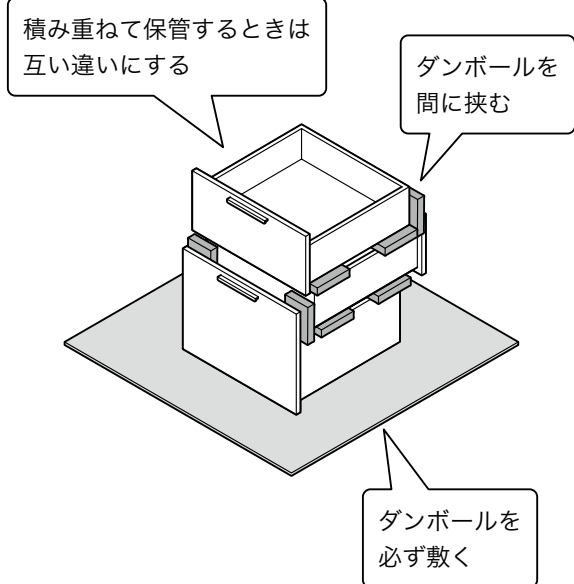
清掃 / シーリング / 養生

⇒ P. 78

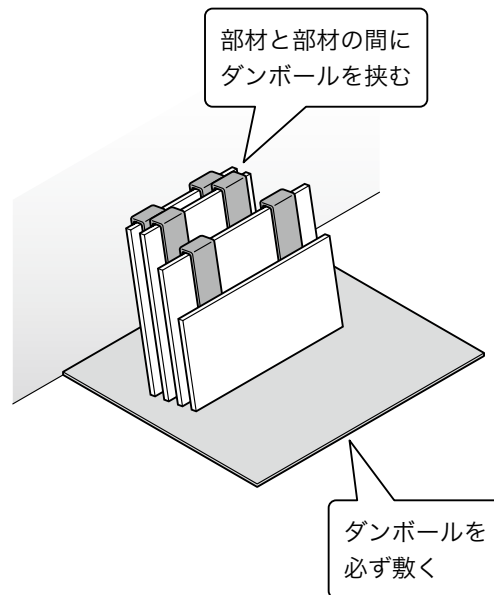
引出し・扉・棚板の取外し

引出し・扉・棚板を取り外して、図のようにダンボールで養生・保管してください。

●引出し



●扉・棚板



⚠ 注意

- ❗ 引出しや扉を取り外す前に、作業手順・方法を確認する。
引出しを外す際は、必ず引出し底面のロックを解除してください。
ロックを解除しないで無理に外そうとすると破損・故障の原因となります。

引出しの取外し・取付け・調整方法

👉 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

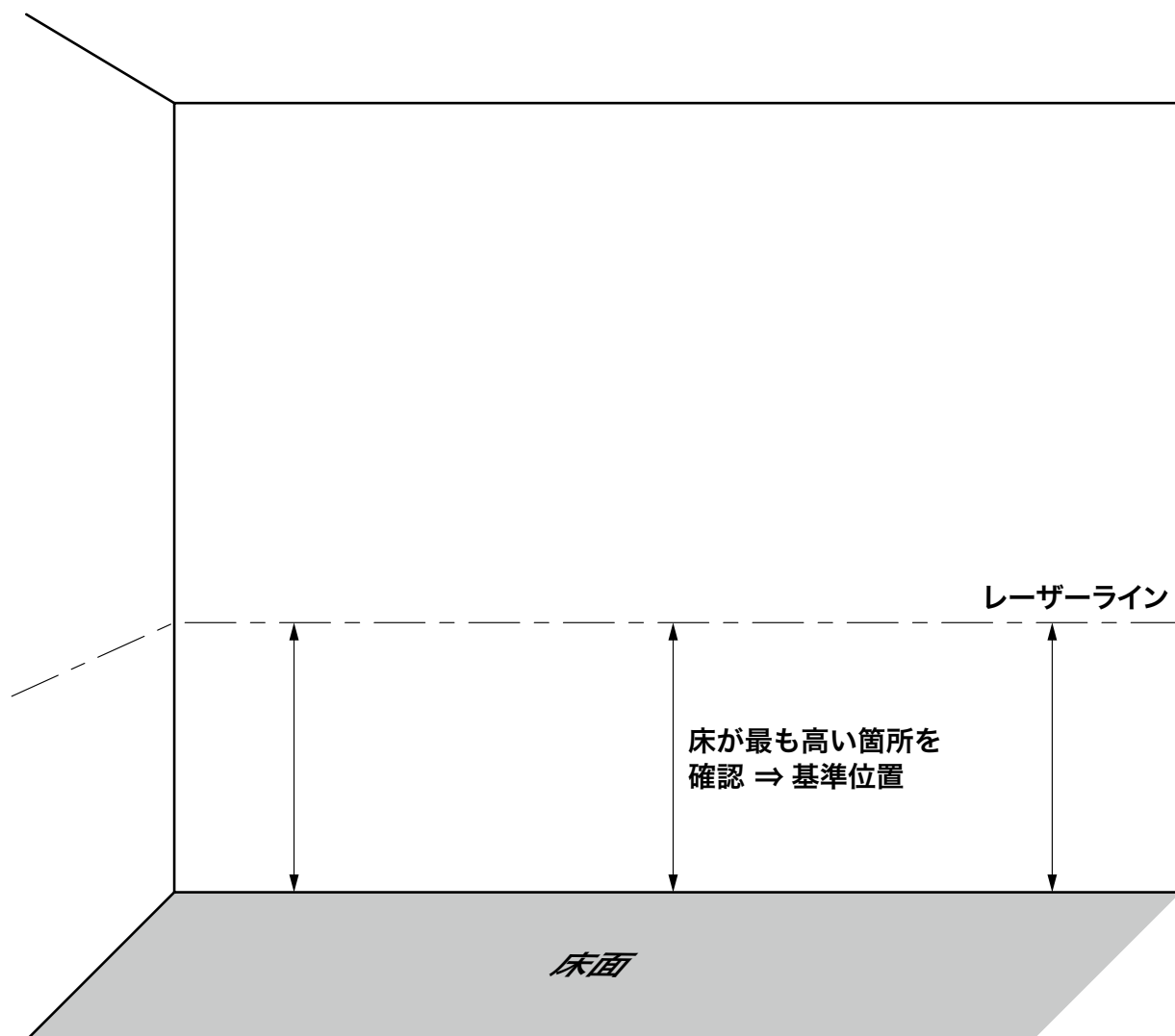
👉 P. 89 参照

開き扉 垂直フリップ扉 棚板

墨出し

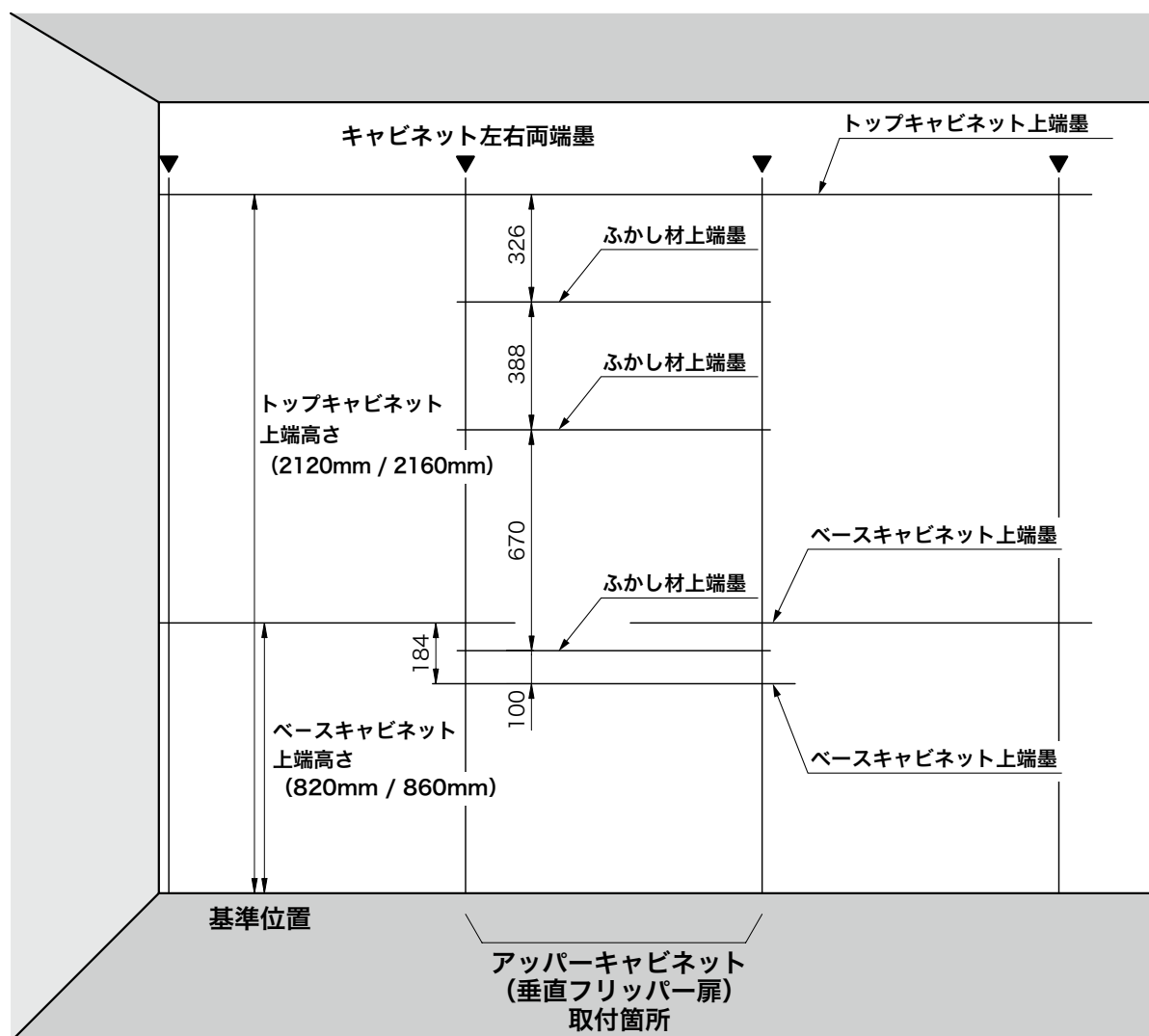
① 高さの基準となる基準位置の確認

- (1) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット設置箇所に水平ラインを照射してください。
- (2) 各キャビネットが位置する床面から、照射した水平ラインまでの距離を確認してください。
- (3) 計測結果から、床が最も高い(距離が短い)箇所を基準位置とします。



② 取付位置の墨出し

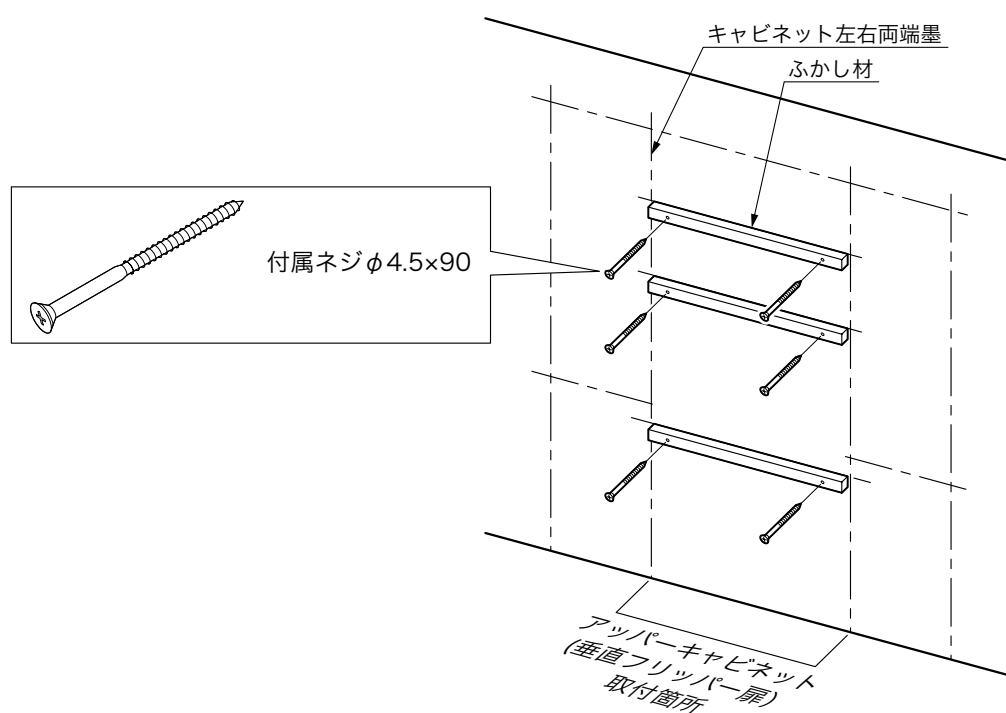
- (1) ベースキャビネットの上端の高さ(ワークトップは含まず)を図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (2) トップキャビネットの上端の高さを図面で確認し、基準位置からの高さに水平墨を打ってください。
- (3) キャビネットの箱割り位置を図面で確認し、キャビネットの左右両端位置に垂直墨を打ってください。
- (4) アッパーキャビネット(垂直フリッパー扉)の取付箇所、ふかし材取付けのための上端墨を3ヶ所打ってください。(高さは下図を参照)



◆ ベースキャビネット・アッパーキャビネット・トップキャビネットの取付け

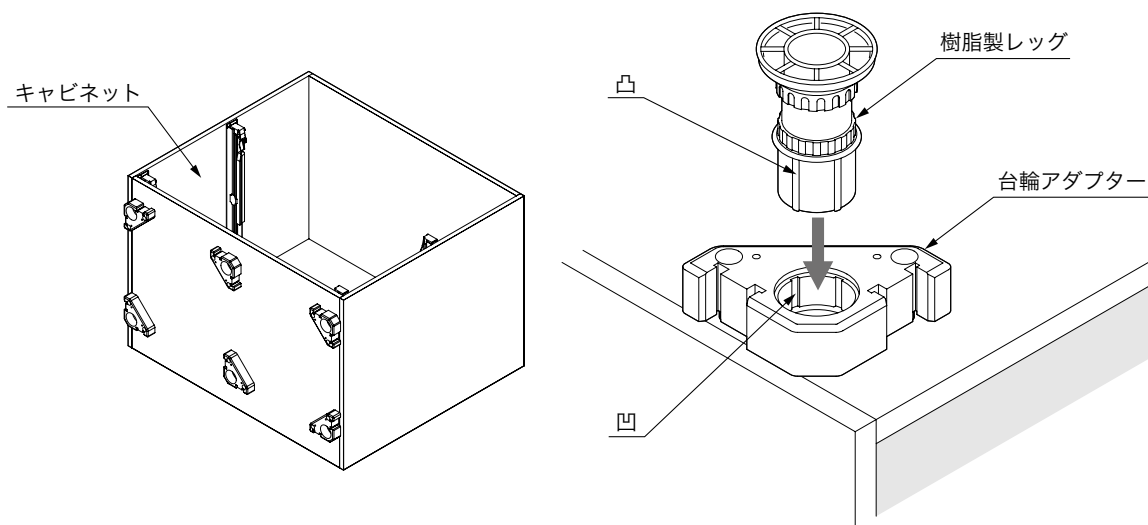
ふかし材の取付け

- ① 墨出しした上端墨にふかし材の上端を合わせてください。
- ② キャビネット左右両端墨とふかし材の両端が均等(5 mm程度)になるように調整してください。
※ふかし材はキャビネットの幅より10mm短くなっています。
- ③ ふかし材の貫通穴から壁に下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ ふかし材を付属のネジで壁に固定してください。

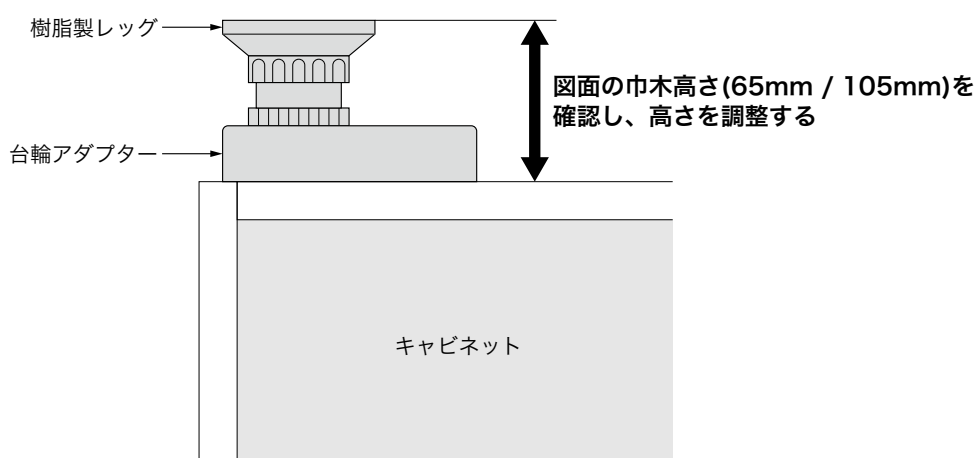


樹脂製レッグの取付け

- ① キャビネット底面の台輪アダプターに樹脂製レッグを合わせて差し込んでください。
- ② プラスチックハンマーやゴムハンマーで叩き入れ、奥までしっかりと入っているか確認してください。



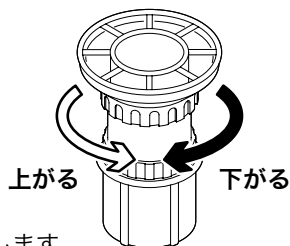
- ③ 樹脂製レッグの高さが図面の巾木高さになっているかを確認し、高さが異なっている場合は調整してください。



樹脂製レッグの高さ調整方法(底面から見た場合)

高さを上げたい場合
・・・反時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・時計回りに回す



※1回転につき約3mm上下します。

調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

キャビネットの並び順の確認

キャビネット背面の製品ラベルに記載されている部材番号と図面の番号を照らし合わせて、キャビネットの並び順を確認してください。

⚠ 注意

❗ 必ず、キャビネットの並び順を確認する。

同じサイズのキャビネットでも、配置位置によって取付け用ガイド穴の数・位置が異なるため、誤った並び順で取付けを行うと思わぬ事故の原因となります。

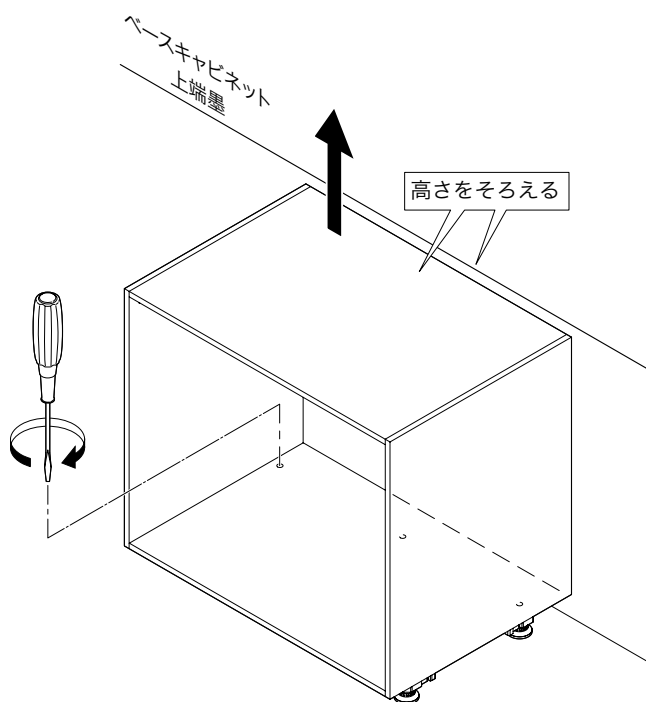
キャビネットの設置

① キャビネットの仮置き

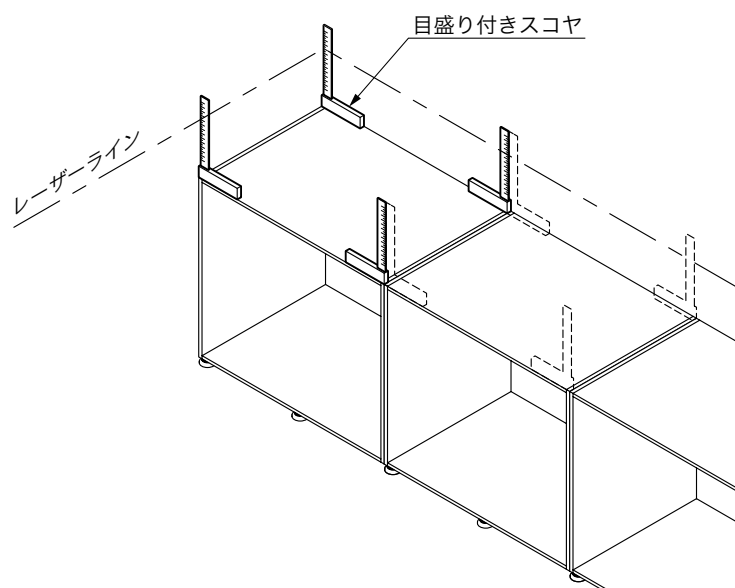
キャビネット全てを設置場所へ仮置きしてください。

② キャビネットの高さ・水平調整

(1) キャビネット奥側の樹脂製レッグの高さを上げ、キャビネット上面が墨出しした上端墨と同じ高さになるように調整してください。



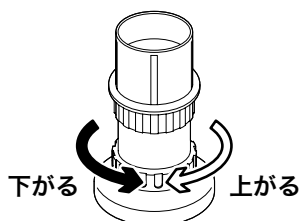
- (2) レーザー墨出し器をセットし、キャビネット上面+50mm程度の高さに水平ラインを照射してください。
- (3) キャビネット四隅に目盛り付きスコヤを置いて、キャビネット上面からレーザーラインまでの高さを確認してください。
- (4) 手前側の樹脂製レッグの高さを上げ、前後左右水平になるように調整してください。
- (5) 四隅すべての位置でキャビネット上面からレーザーラインまでの高さが同じであることを確認してください。
- (6) 樹脂製レッグが5ヶ所以上あるキャビネットの場合は、四隅のレッグで水平調整を行った後、キャビネット中央のレッグを床面まで下げてください。



樹脂製レッグの高さ調整方法

高さを上げたい場合
・・・時計回りに回す

高さを下げたい場合
・・・反時計回りに回す

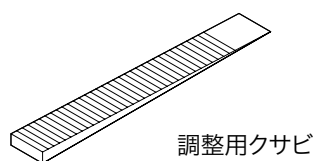


調整高さ	レッグ回転数
1mm	1/3 回転
2mm	2/3 回転
3mm	1 回転
5mm	1 2/3 回転

※1回転につき約3mm上下します。

※キャビネット奥側の樹脂製レッグはキャビネットの内側からマイナスドライバー（軸長150mm以上、ヘッド最大幅10mm以下）で回すことができます。

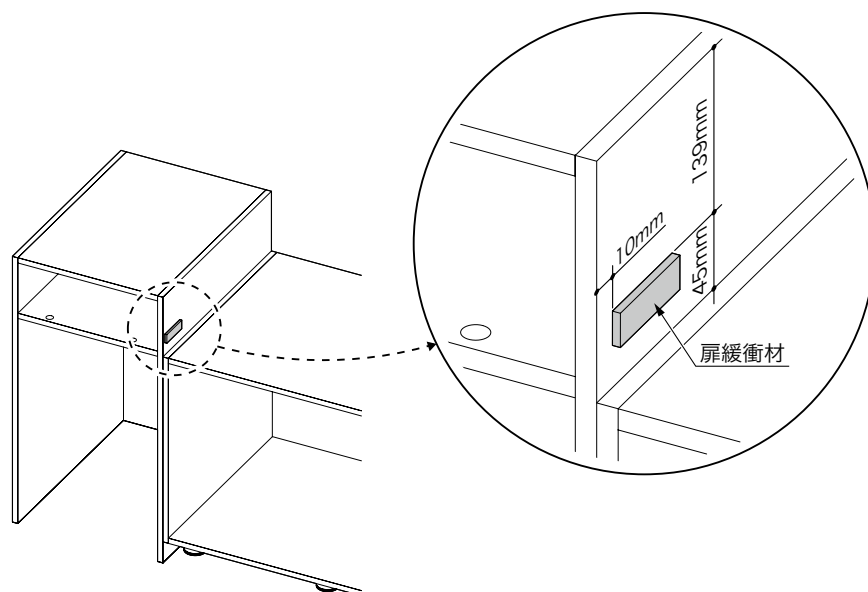
※ ダストボックス収納キャビネットの高さ調整には調整用クサビを使用してください。



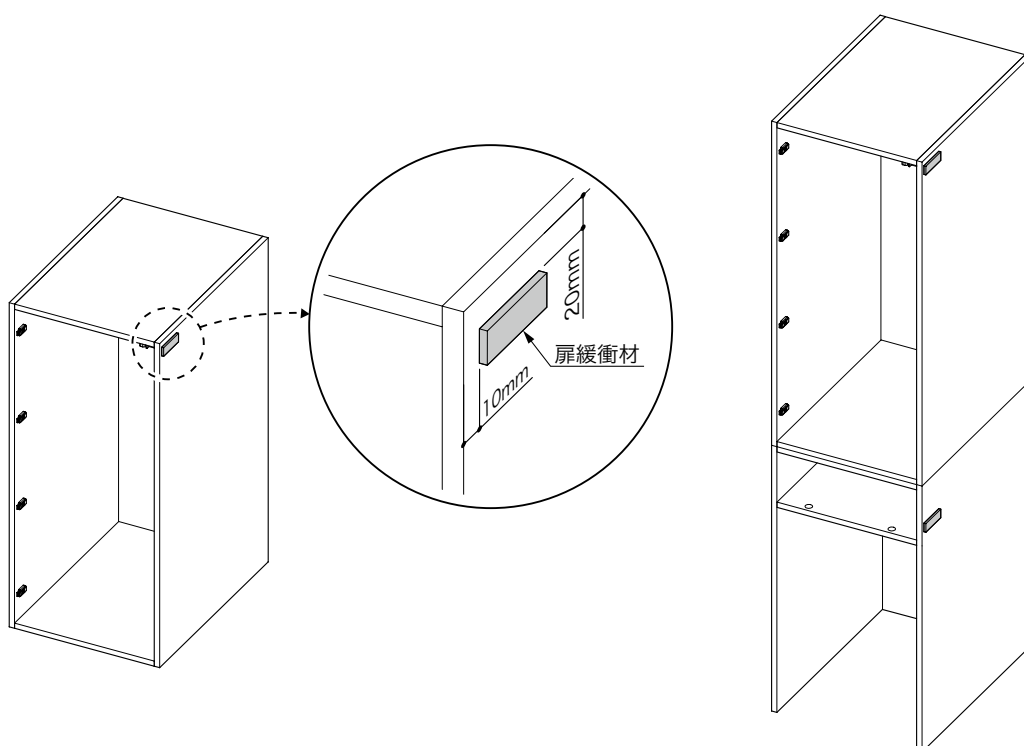
扉緩衝材の取付け

※アップーキャビネット(垂直フリッパー扉)のみ

- ① 垂直フリッパー扉の両隣のベースキャビネットに扉緩衝材を取り付けてください。



- ② 垂直フリッパー扉の両隣のアップーキャビネットに扉緩衝材を取り付けてください。

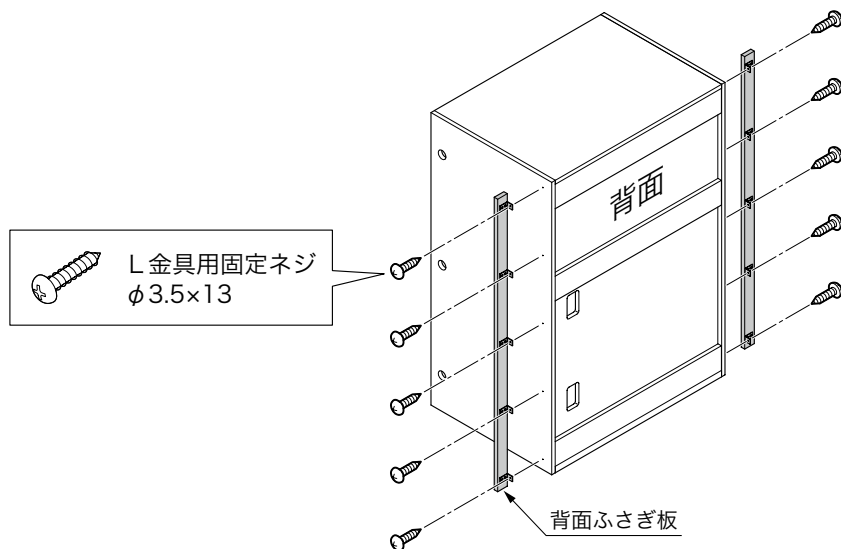


※アップーキャビネットを
積み上げたときの位置

背面ふさぎ板の取付け

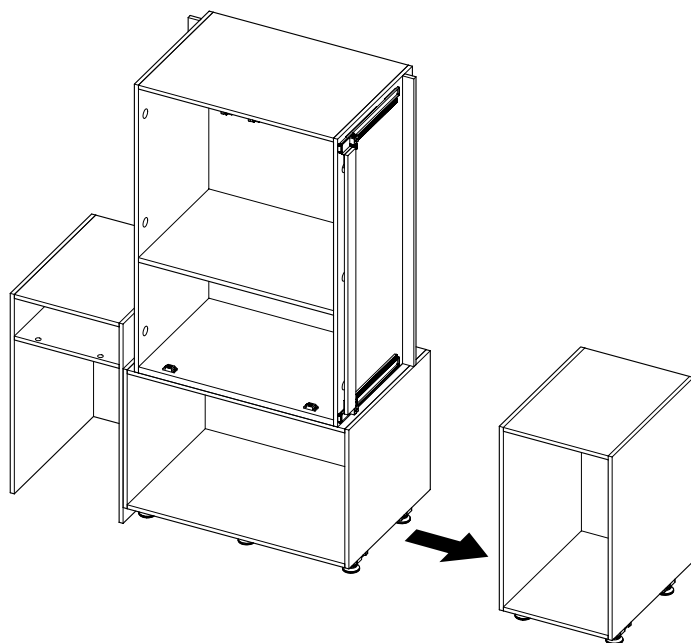
※アップーキャビネット(垂直フリッパー扉)のみ

- ① 背面ふさぎ板のL金具をキャビネット側板のガイド穴に合わせてください。
- ② L金具用固定ネジφ3.5×13で背面ふさぎ板を取り付けてください。



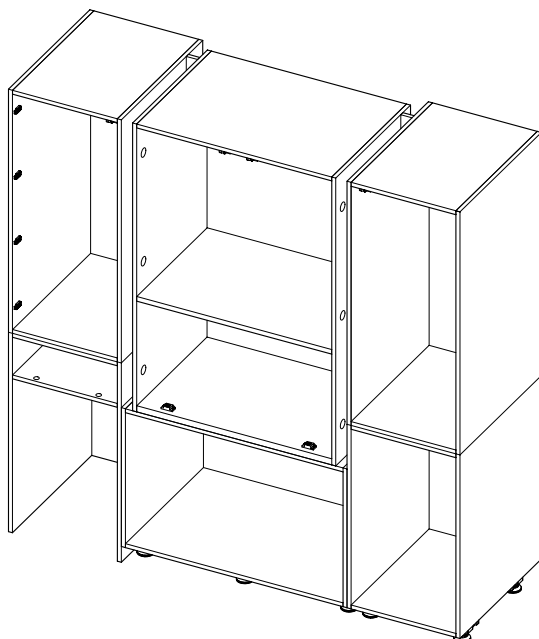
アップーキャビネットの積み上げ

- ① アップーキャビネット(垂直フリッパー扉)の積み上げ
片側のベースキャビネットをずらして作業スペースを確保し、アップーキャビネット(垂直フリッパー扉)を積み上げてください。
積み上げ後に左右のヒンジを手前に引き出しておいってください。



② アッパーキャビネット(開き扉)の積上げ

一旦ずらしたベースキャビネットを元の位置に戻し、左右のアッパーキャビネット(開き扉)を積み上げてください。

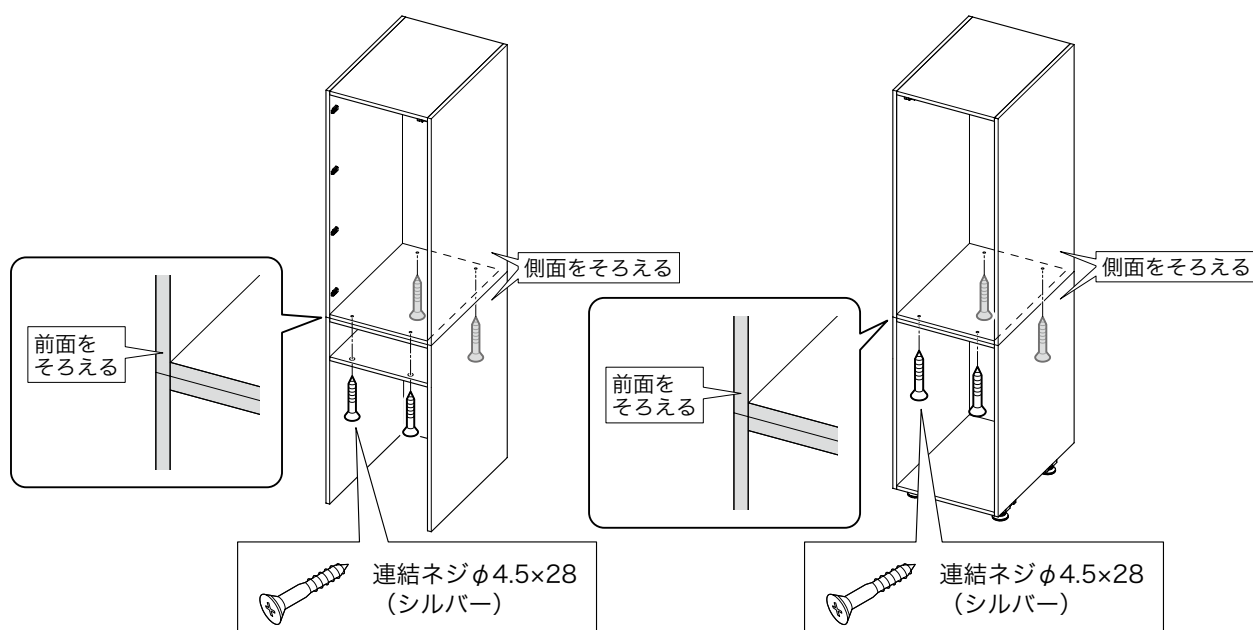


アッパーキャビネット(開き扉)の上下連結

- ① キャビネットの前面・側面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② ベースキャビネット上板のガイド穴からアッパーキャビネットに向かって下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを上下連結してください。

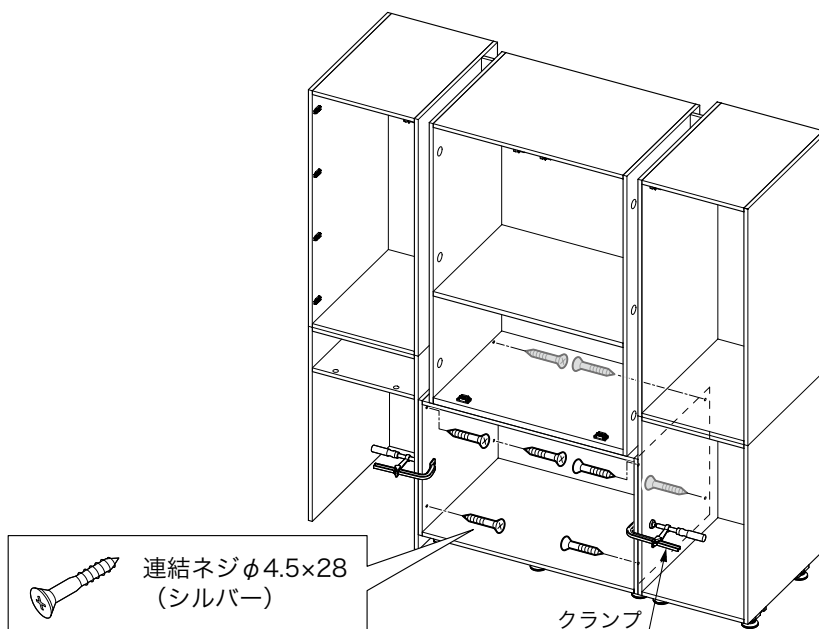
● ダストボックス収納キャビネットの場合

● 3段引出しキャビネットの場合



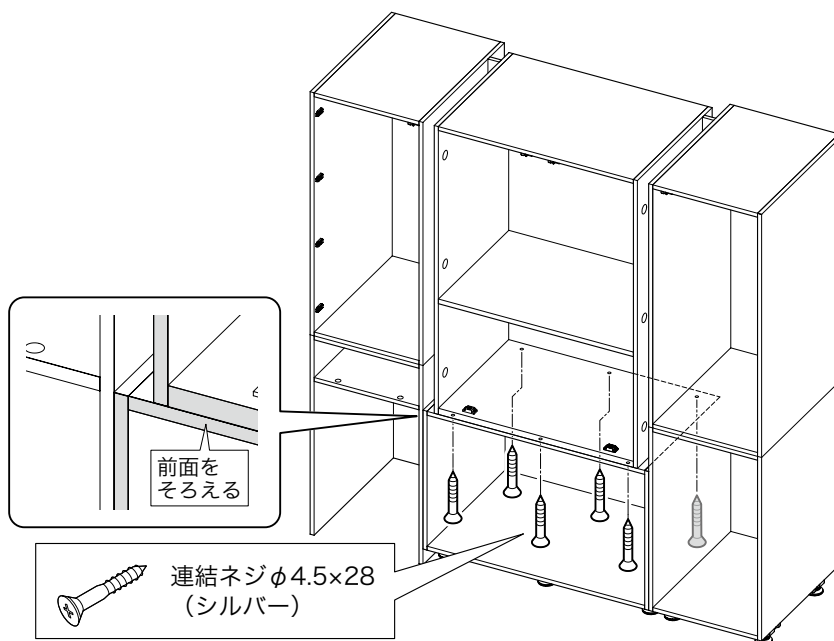
ベースキャビネットの横連結

- ① キャビネットの前面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを横連結してください。



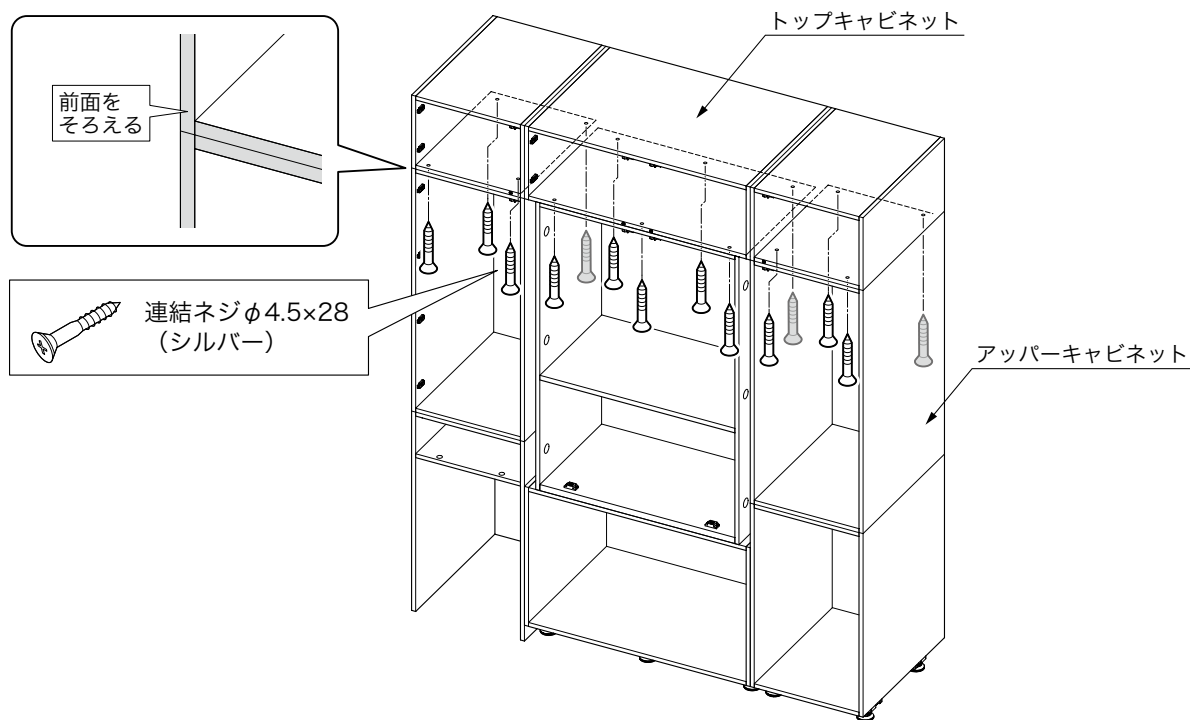
アッパーキャビネット(垂直フリッパー扉)の上下連結

- ① キャビネットの前面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② ベースキャビネット上板のガイド穴からアッパーキャビネットに向かって下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを上下連結してください。



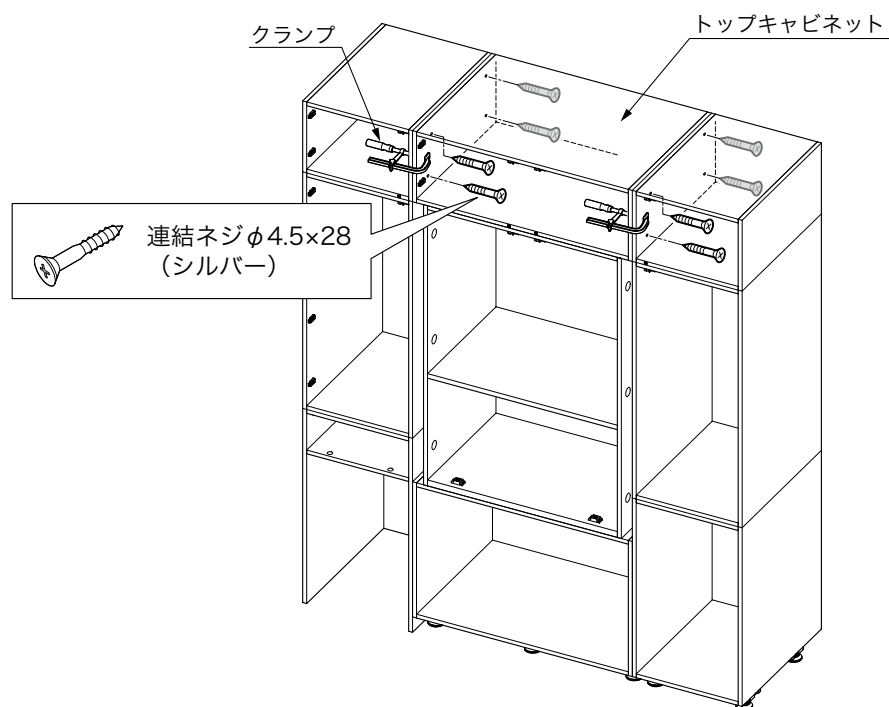
トップキャビネットの上下連結

- ① トップキャビネットをアッパーキャビネットの上に積み上げてください。
- ② キャビネットの前面・側面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ③ アッパーキャビネット上板のガイド穴からトップキャビネットに向かって下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを上下連結してください。



トップキャビネットの横連結

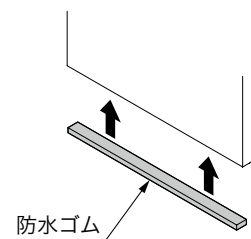
- ① キャビネットの前面をそろえて、クランプで仮固定してください。
- ② 側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でキャビネットを横連結してください。



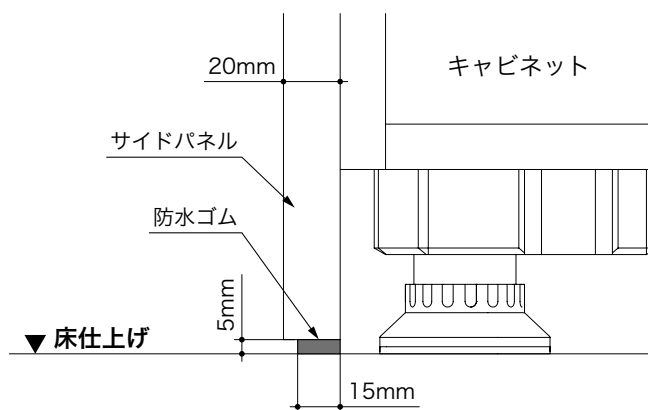
防水ゴムの取付け

サイドパネルに防水ゴムを取り付けます。

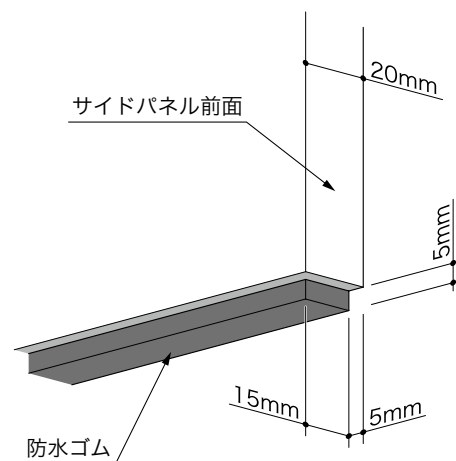
- ① パネルの寸法に合わせて防水ゴムをカットしてください。
- ② パネルの床側木口面に防水ゴムを取り付けてください。



サイドパネル・防水ゴム納まり



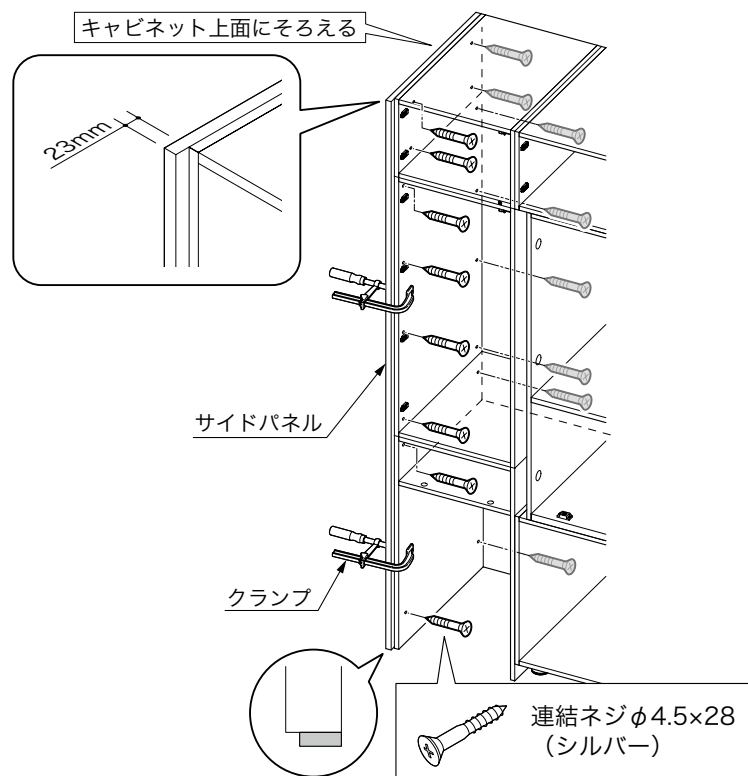
※防水ゴムはパネル木口面のキャビネット側に合わせて貼る



下から見た図

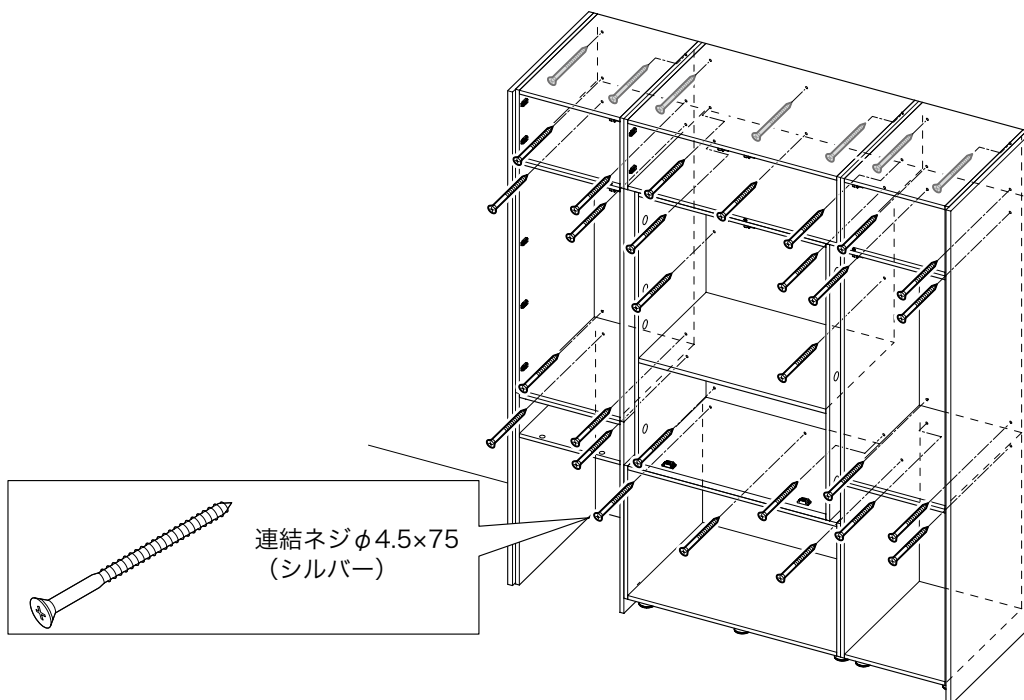
サイドパネルの取付け

- ① サイドパネルをキャビネットの上面・背面にそろえて、クランプで仮固定してください。
このとき、キャビネット前面から突き出る寸法が23mmになっているか確認してください。
- ② キャビネット側板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ③ 連結ネジφ4.5×28(シルバー)でサイドパネルを取り付けてください。



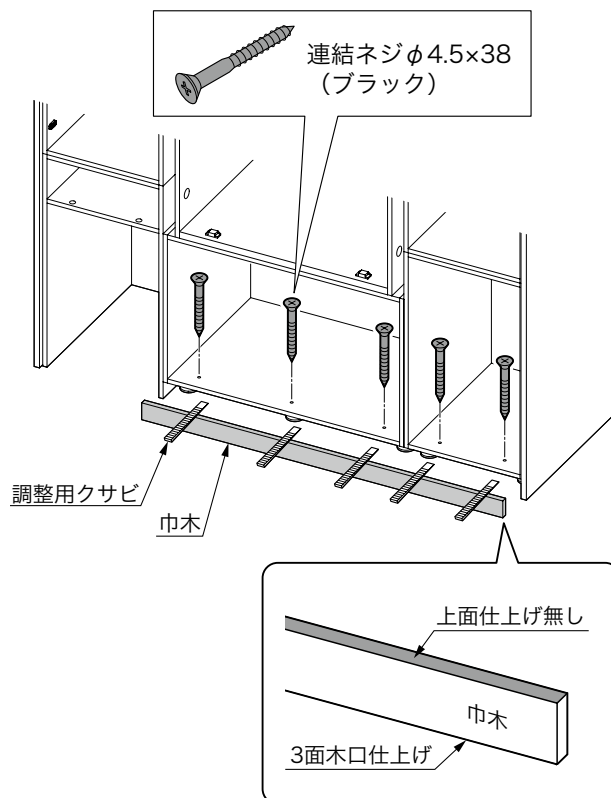
キャビネットの壁面固定

- ① 背板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ② 連結ネジφ4.5×75(シルバー)で壁に固定してください。

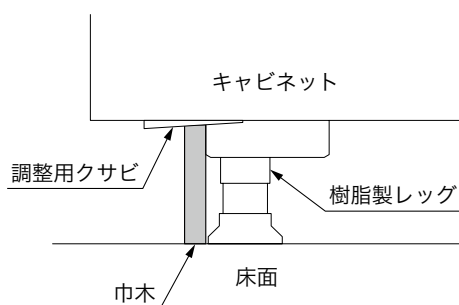


巾木の取付け

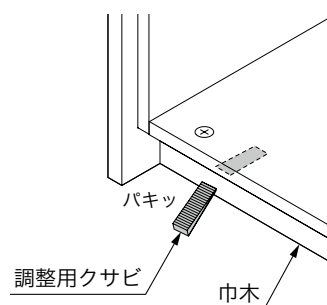
- ① 巾木の木口仕上げ面を床に向けて、キャビネットの下部へ差し込んでください。
- ② 調整用クサビを巾木とキャビネット底板の隙間に差し込み、巾木を仮固定してください。
- ③ 底板のガイド穴から下穴(φ3.5)を開けてください。
- ④ 連結ネジφ4.5×38(ブラック)で巾木を取り付けてください。



巾木は樹脂製レッグに押し当てて取り付けてください。

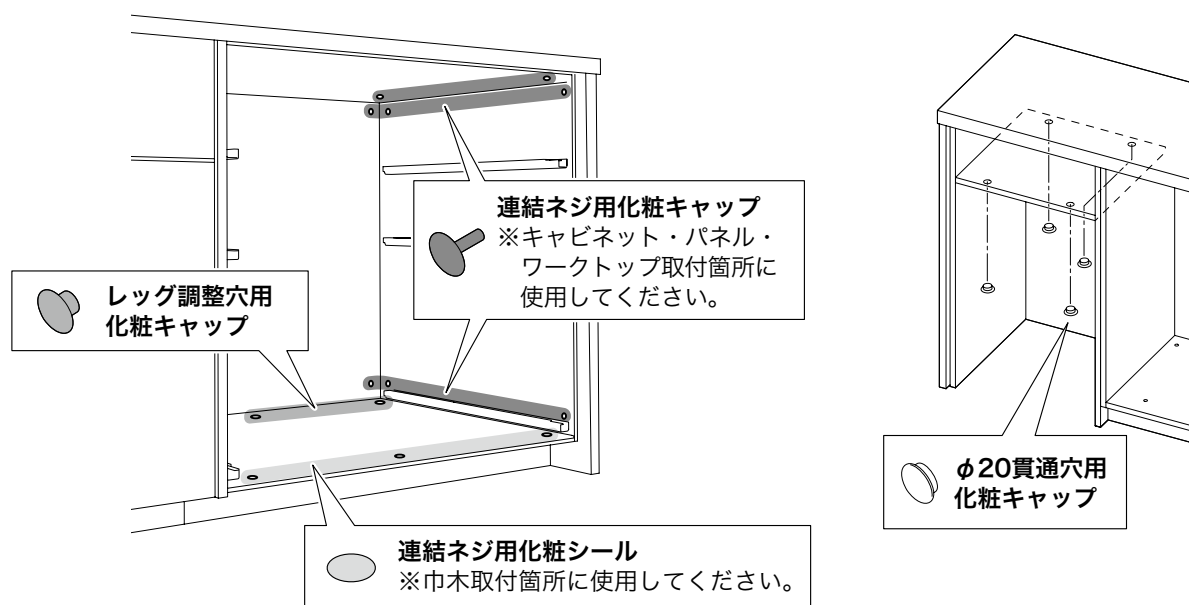


調整用クサビは、巾木取付後に根元から折ってください。



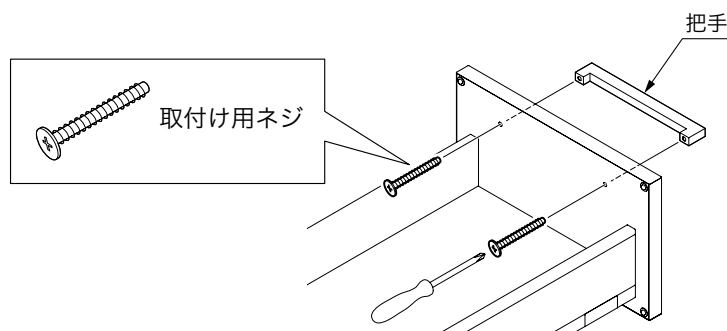
各種キャップ・カバーの取付け

- ① 連結ネジに化粧キャップを取り付けてください。
- ② 巾木を取り付けたネジには化粧シールを貼ってください。
- ③ レッグ調整穴に化粧キャップを取り付けてください。
- ④ ロングビットを通すためのφ20貫通穴に化粧キャップを取り付けてください。



把手の取付け

把手に付属されている取付け用ネジで把手を取り付けてください。



⚠ 注意

- ❗ 把手を取り付ける際は、必ず手回しドライバーを使用する。
ネジ頭がスリムタイプのため、電動ドライバーを使用すると十字穴が潰れる原因となります。

引出し・扉・棚板の取付け

- ① 設置前に取り外した引出し・扉・棚板を取り付けて調整してください。
もし、扉を開いたときに側面の壁等にぶつかる場合は、86°角度ストッパーを取り付けてください。
- ② 引出しの調整が完了したら、引出し内側両サイドのカバーを取り付けてください。
- ③ 扉の調整が完了したら、ヒンジカップカバーおよびアームカバーを取り付けてください。

引出しの取外し・取付け・調整方法

👉 P. 80 参照

引出し スライド棚

扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

👉 P. 89 参照

開き扉 垂直フリップパー扉 棚板

清掃

取付けが完了しましたら、清掃を行ってください。

⚠ 注意

- ❌ シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤）・漂白剤は使用しない。

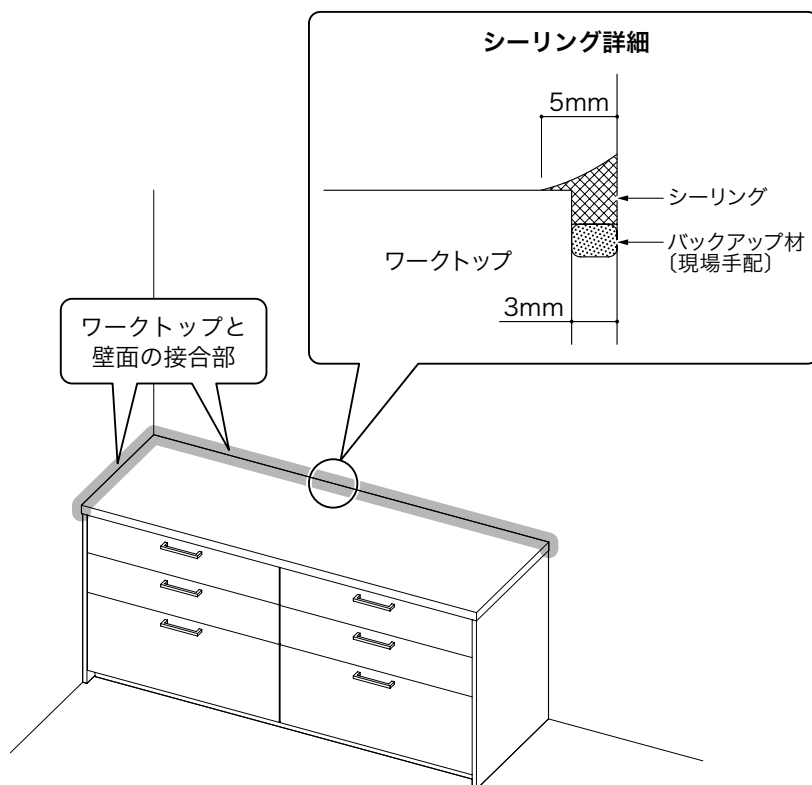
変色の原因となります。

- ❗ ワークトップやシンク内に鉄粉・鉄くず・砂などが落ちている場合は、必ずきれいに取り除く。

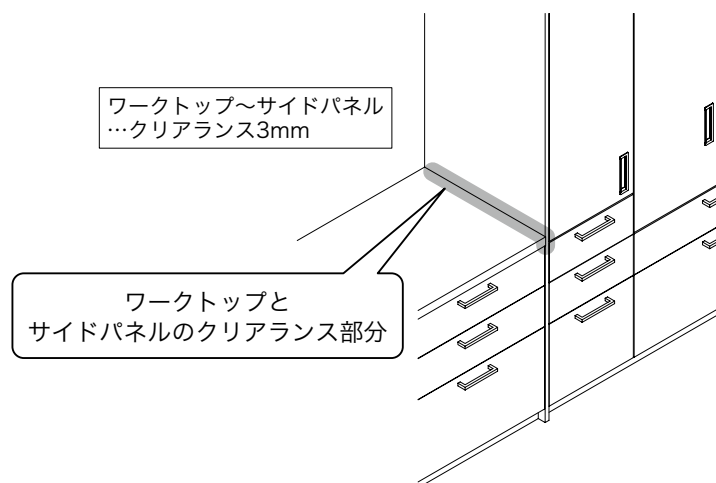
付着した箇所がもらい錆の原因となります。

シーリング

ワークトップと壁面の接合部(図の箇所)に必ずシーリングを行ってください。



- キッチン(デュエ / デュエアイランド / ウェスタアイランド)とカップボードのトール側を横並びで取り付けの場合



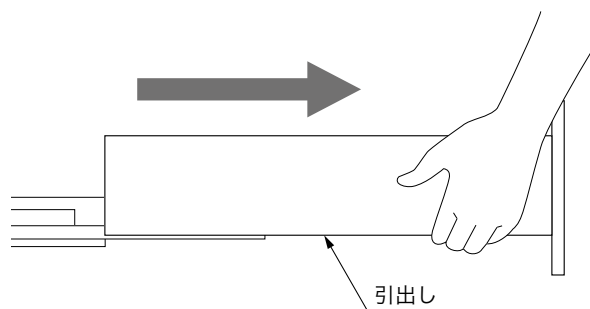
養生

エアパッキンや製品の梱包材等を利用して、引き渡しまで傷つかないように養生してください。

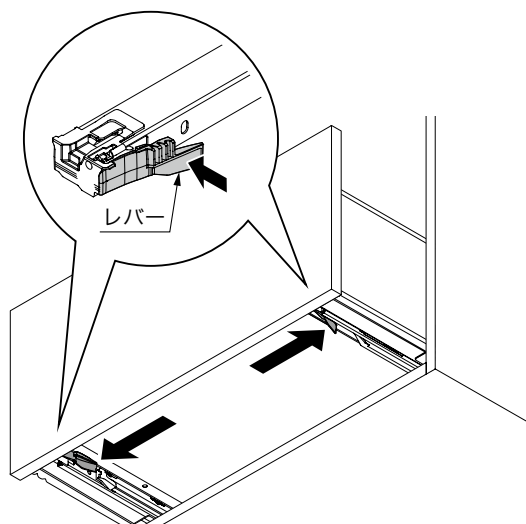
引出し

■ 引出しの取外し

① 引出しをいっぱいまで引き出します。

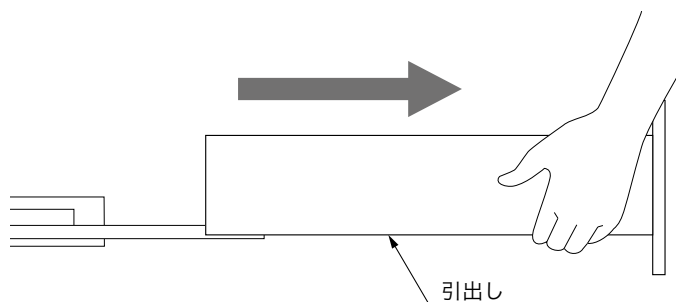


② 引出しの両側底面手前についているレバーを握るとロックが解除されます。



③ レバーを握ったまま、手前にスライドして引出しを外します。

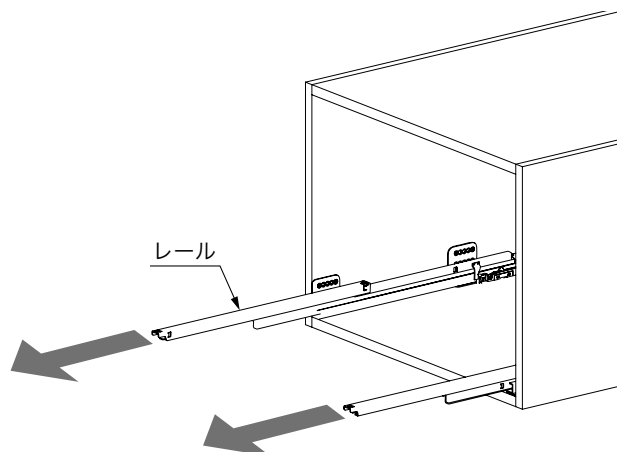
※ このときレールは持たずに引出しのみ持ってください。



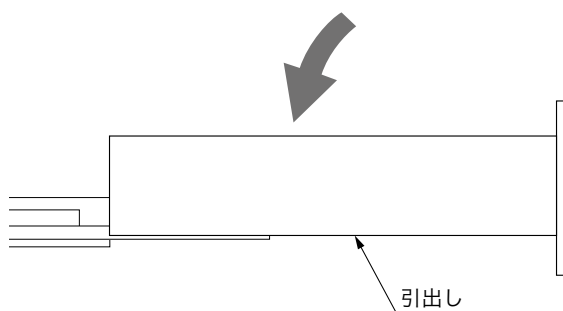
引出しの取外し・取付け・調整方法

■ 引出しの取付け

① 事前にキャビネット側面のレールを手前に引き出します。

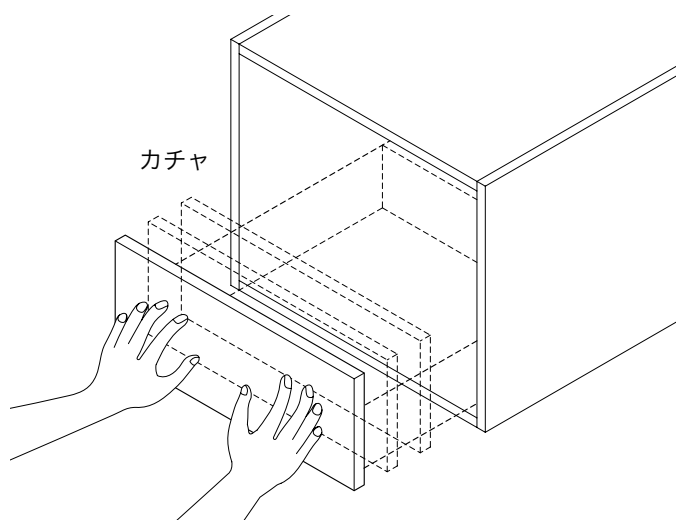


② レールに沿って水平に引出しを置きます。



③ そのままゆっくりと奥まで差し込むと「カチャ」と音がします。

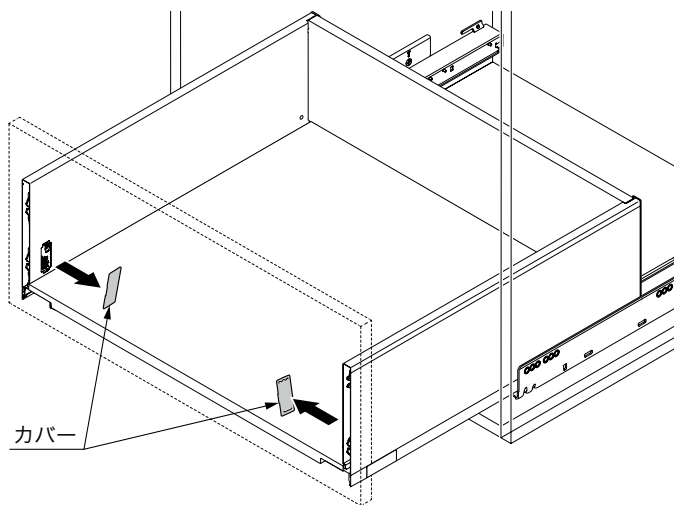
④ 開閉し、引出しが確実に取り付けられていることを確認してください。



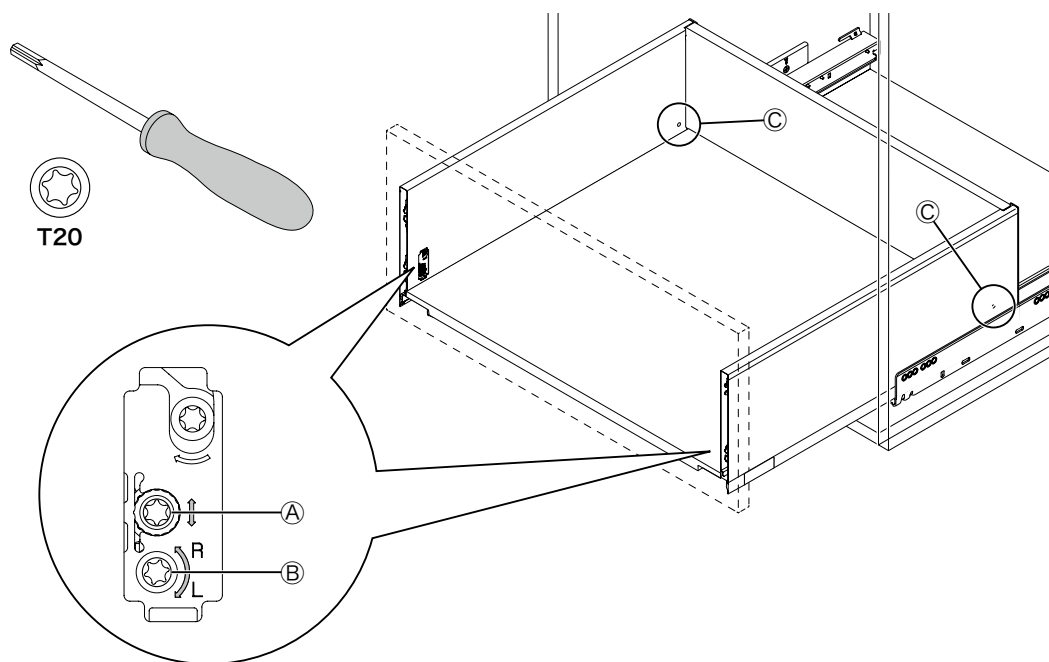
引出しの取外し・取付け・調整方法

■ 引出し前板の調整方法

① 引出し内側両サイドのカバーを外してください。



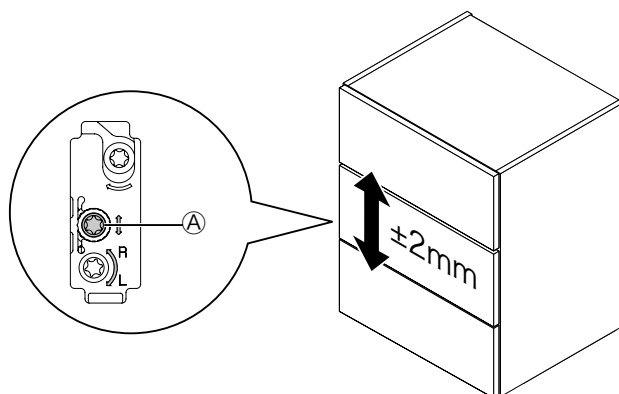
② トルクスドライバー (T20) をご使用ください。



引出しの取外し・取付け・調整方法

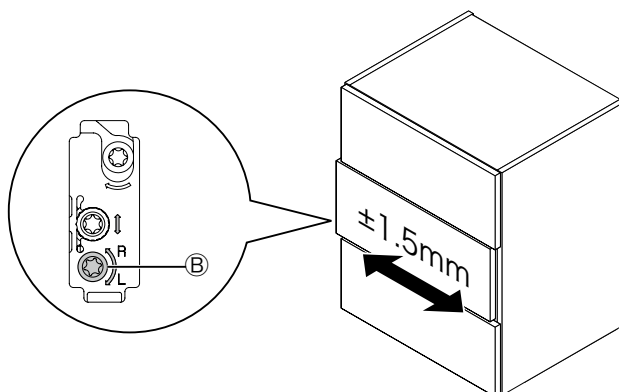
● 上下調整

トルクスドライバー（T20）で①のネジを左右に回すことで上下2.0mmずつ調整することができます。



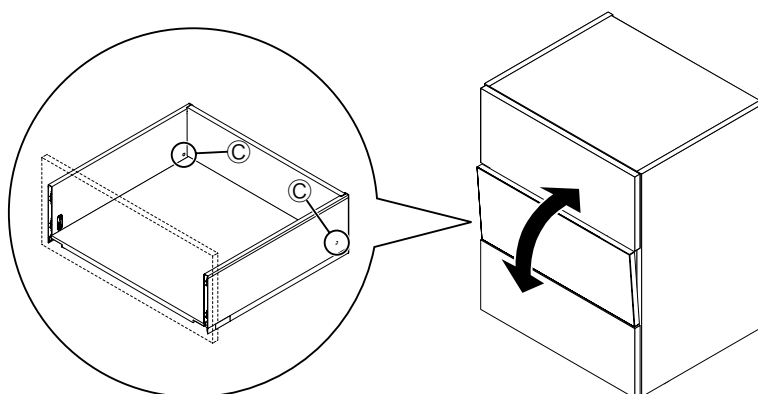
● 左右調整

トルクスドライバー（T20）で②のネジを左右に回すことで左右1.5mmずつ調整することができます。



● 傾き調整

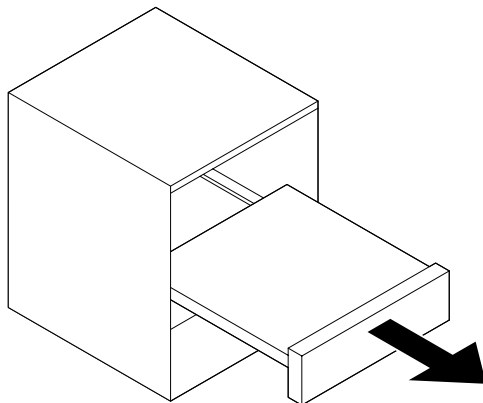
トルクスドライバー（T20）で③のネジを左右に回すことで傾きを調整することができます。



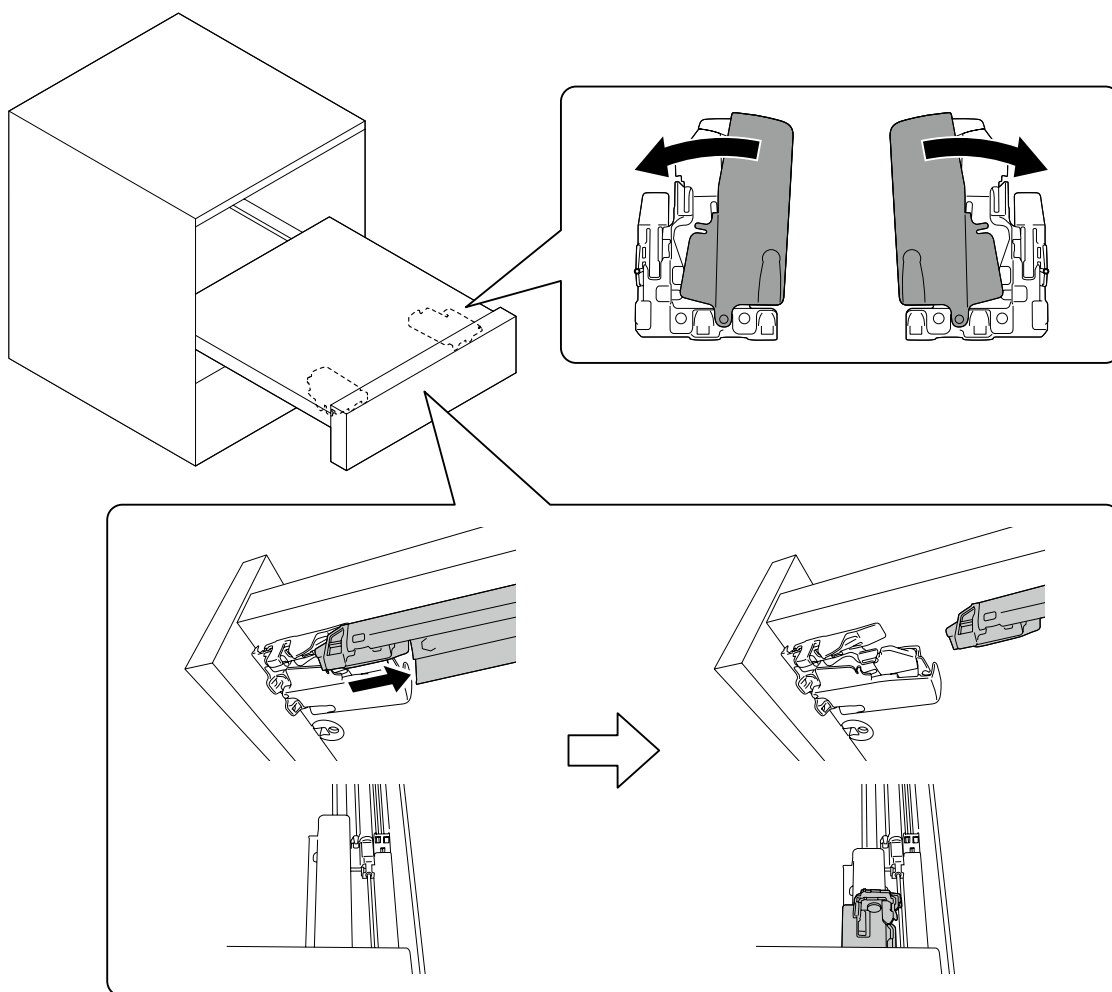
スライド棚

■ スライド棚の取外し

- ① スライド棚をいっぱいまで引き出した状態にします。

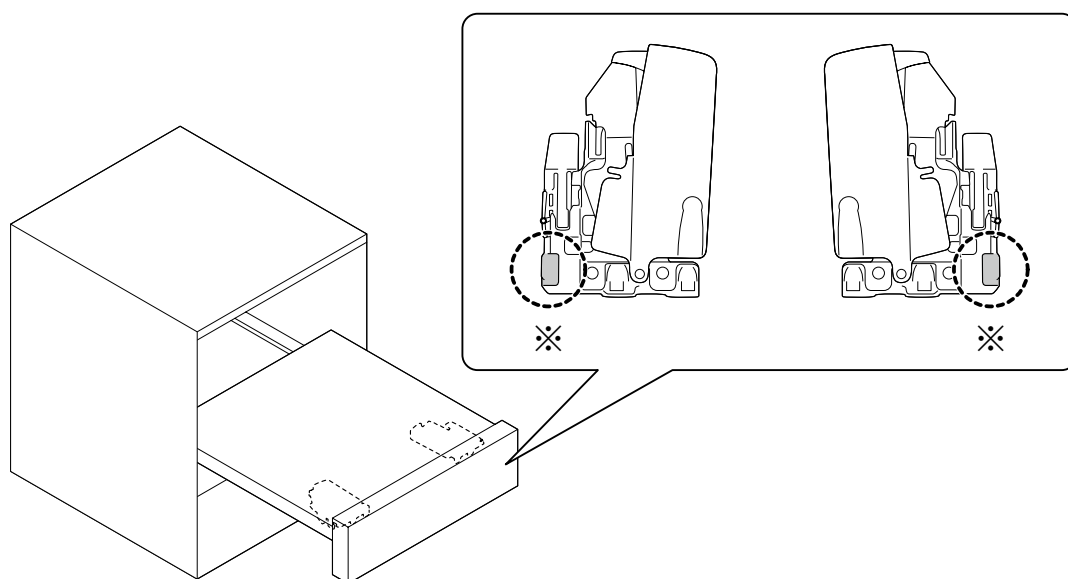


- ② スライド棚の裏側にあるオレンジ色のレバーを外側に押しながら、両サイドのレールのみを後方へスライドさせてください。

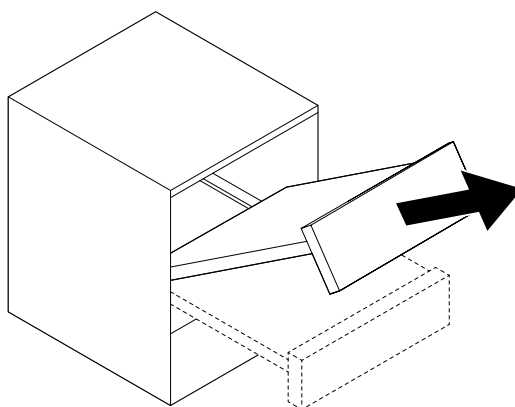


引出しの取外し・取付け・調整方法

※ このとき、図のグレーのつまみを動かすとスライド棚の傾きが変わりますので注意してください。

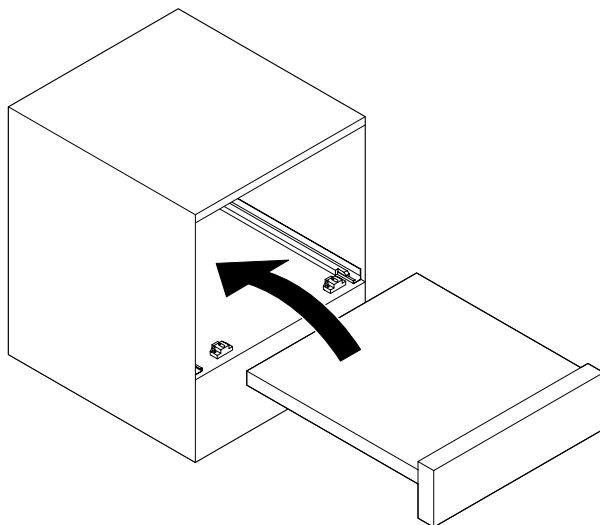


③ 斜め上に引き上げるとマグネットのロックが外れ、スライド棚が外れます。

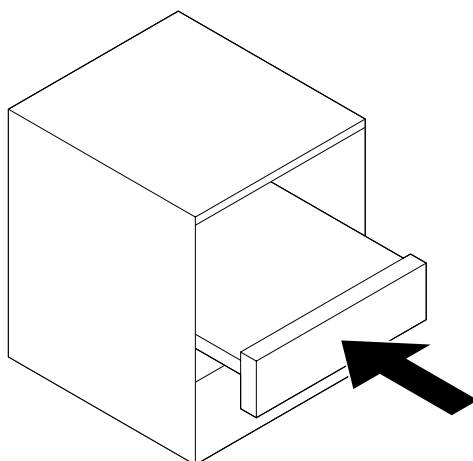


■ スライド棚の取付け

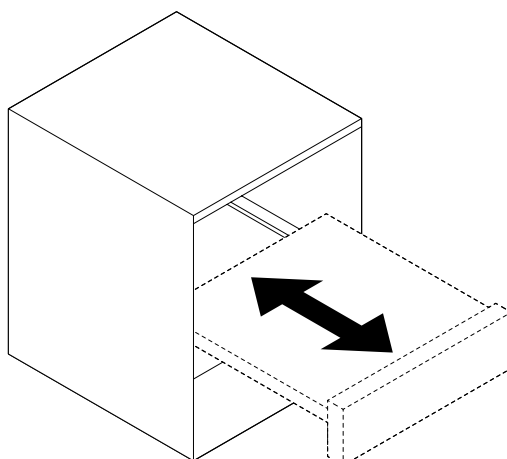
- ① レールが奥に入っている状態で、レールの上にスライド棚を載せます。



- ② スライド棚を「カチャ」と音がするまで押し込みます。



- ② スライド棚を「カチャ」と音がするまで押し込みます。



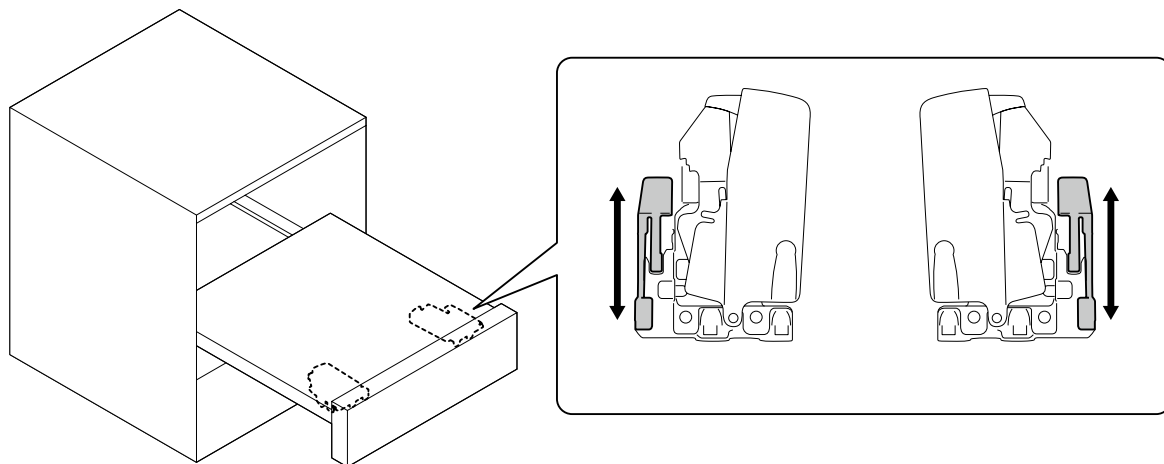
引出しの取外し・取付け・調整方法

■ スライド棚の調整方法

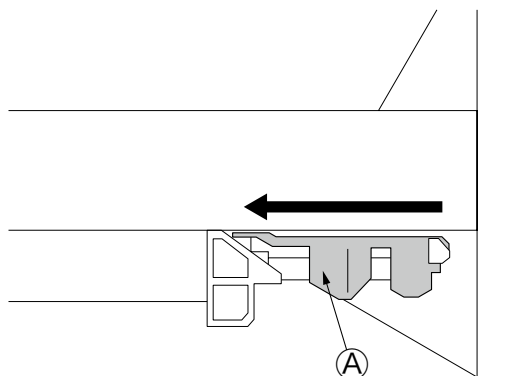
● 傾き調整

▼ 手前側を上げる場合

① スライド棚を引き出して裏側にあるグレーのつまみを前後に動かして調整してください。

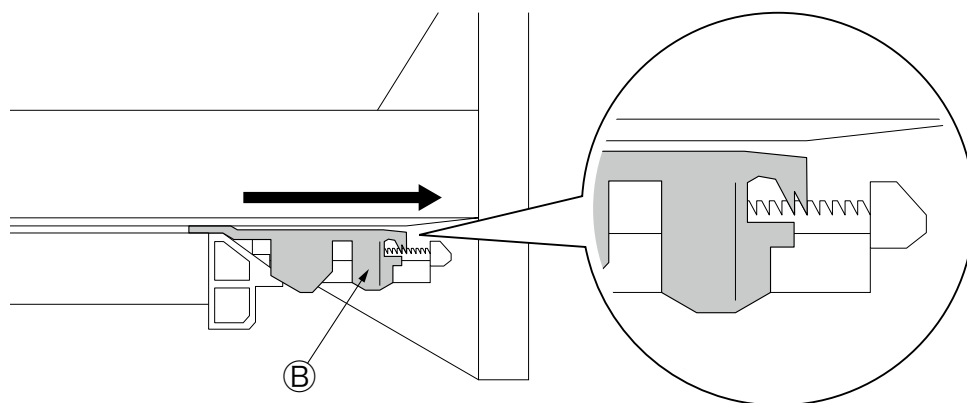


② スライド棚を軽く持ち上げながら①部をつまんで奥側にスライドさせると上がります。



③ ①部の後ろに指を引っ掛けて手前側にスライドさせると下がります。

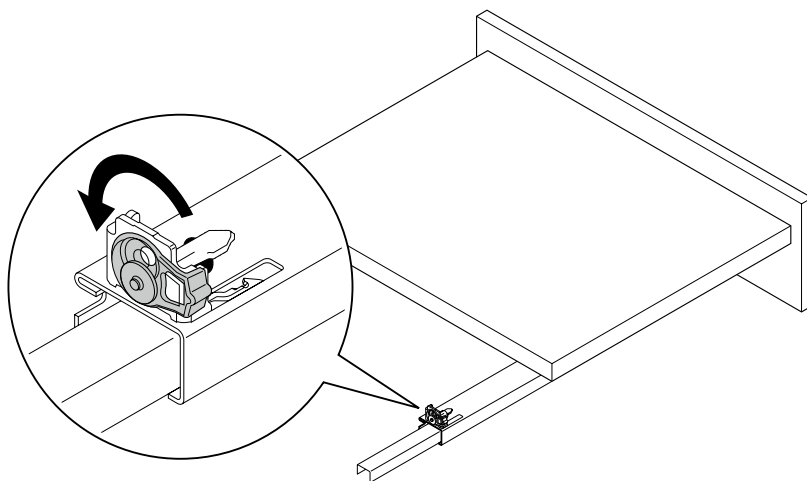
④ 調整が完了したら、つまみのツメが溝にかみ合っていることを確認してください。



引出しの取外し・取付け・調整方法

▼ 奥側を上げる場合

- ① スライド棚を一旦レールから取り外してください。
- ② レール奥側先端のレバーを回して調整してください。



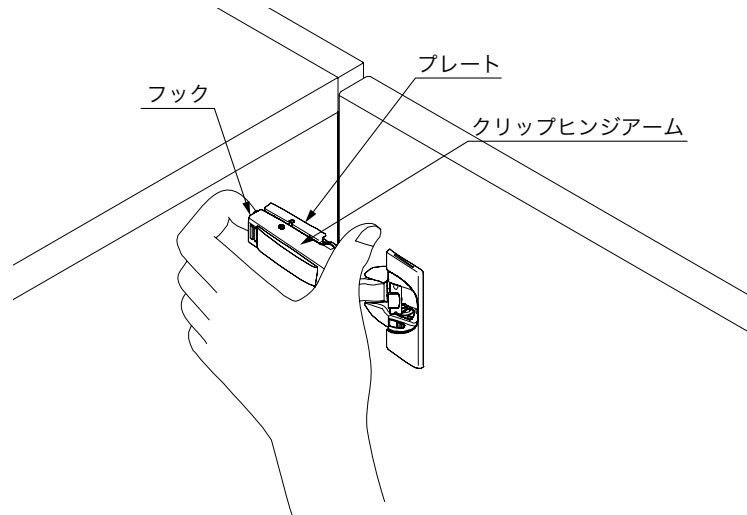
※ 左右調整はできません。

開き扉

■ 開き扉の取外し

扉を片手で支えながら作業を行ってください。

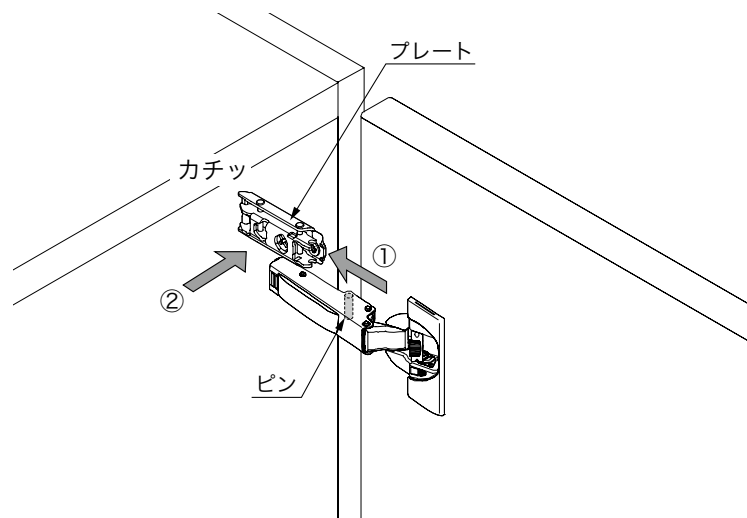
- ① クリップヒンジアーム先端のフックを持ち上げてください。
- ② プレートからヒンジが外れますのでゆっくり降ろしてください。



■ 開き扉の取付け

扉を片手で支えながら作業を行ってください。

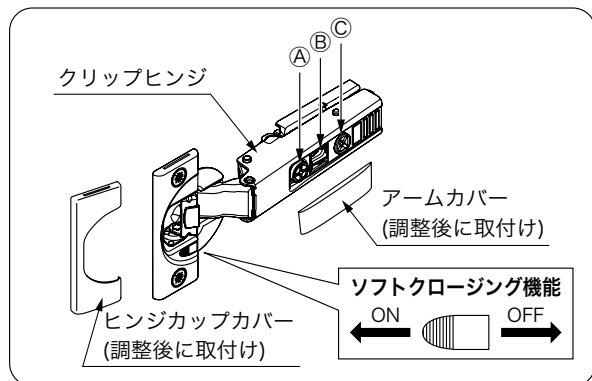
- ① クリップヒンジアームの手前側のピンをプレートに引っ掛けてください。
- ② クリップヒンジアームの奥側を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



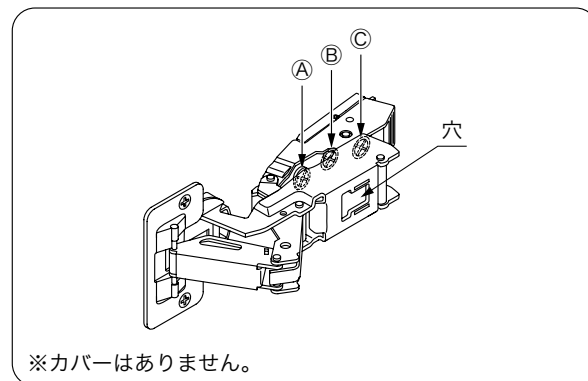
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

■ 開き扉の調整方法

一般ヒンジ



特殊ヒンジ (コーナー用キャビネットに使用)



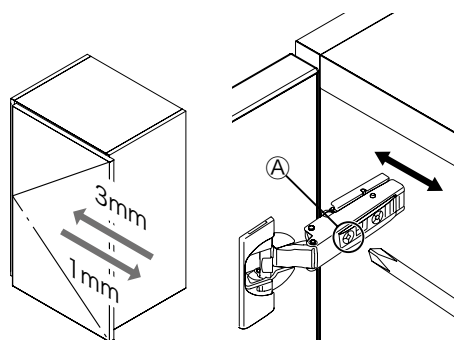
● 左右調整

ネジ①を左右に回すことで左右調整することができます。

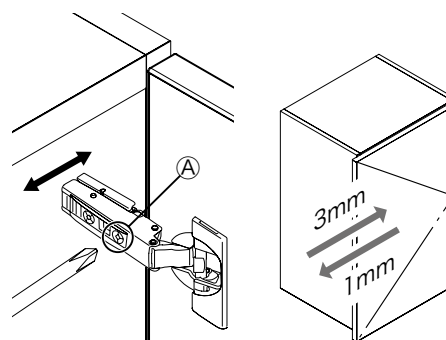
※ 左吊元の場合、ネジ①を時計回りに回すと扉は向かって左方向に移動します。

※ 右吊元の場合、ネジ①を時計回りに回すと扉は向かって右方向に移動します。

左吊元の場合



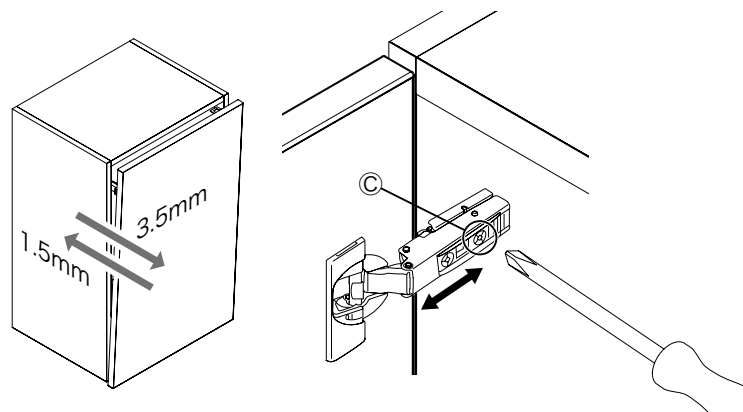
右吊元の場合



● 奥行き方向調整

ネジ③を左右に回すことで奥へ1.5mm、手前に3.5mm調整することができます。

※ ネジ③を時計回りに回すと扉は奥へ移動します。



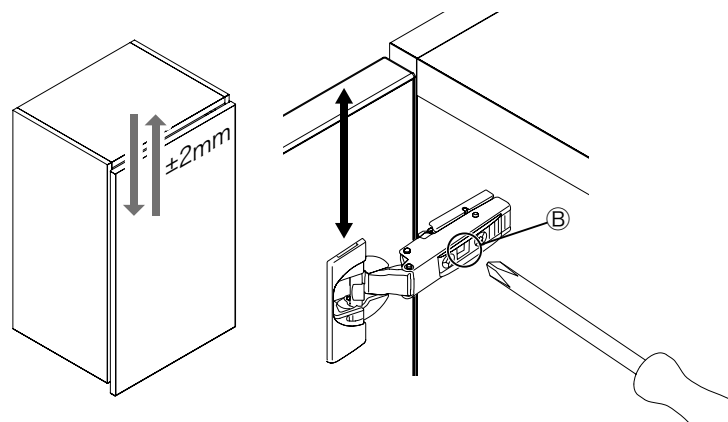
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

● 上下調整

ネジ⑧を左右に回すことで上下調整することができます。

※ 左吊元の場合、ネジ⑧を時計回りに回すと扉は下方向に移動します。

※ 右吊元の場合、ネジ⑧を時計回りに回すと扉は上方向に移動します。



● 閉まり具合調整

ヒンジにはソフトクロー징機能が搭載されています。

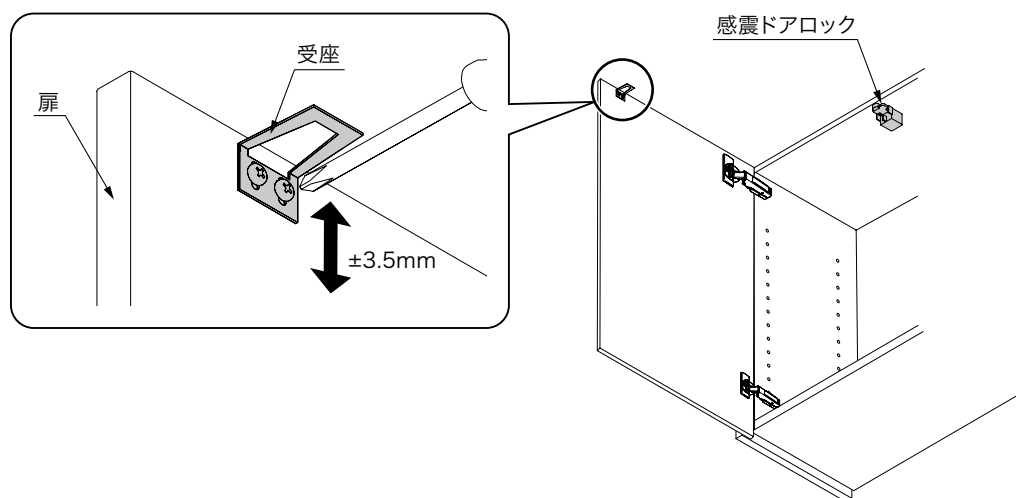
扉が閉まるときの速度が遅すぎる場合は、1ヶ所ずつソフトクロー징機能をOFFに切り替えて調整してください。

ソフトクロー징機能



● 感震ドアロックの調整

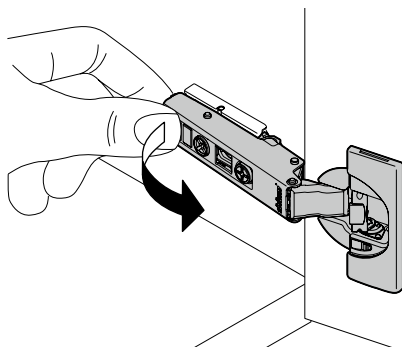
受座が感震ドアロック本体にあたって扉が閉まらないときは、受座を固定しているネジをゆるめて高さを調整してください。



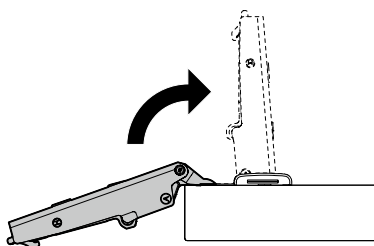
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

■ 86°角度ストッパーの取付け ※扉を開いたときに側面の壁等にぶつかる場合

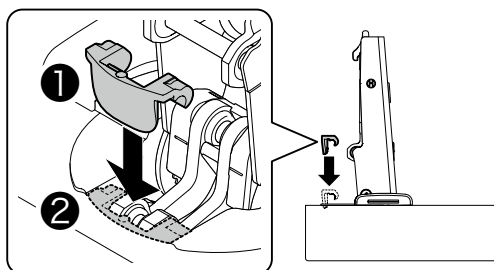
① 扉をキャビネットから取り外してください。



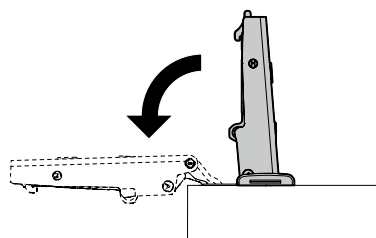
② ヒンジアームを起こしてください。



③ 向きに注意して角度ストッパーを挿入してください。

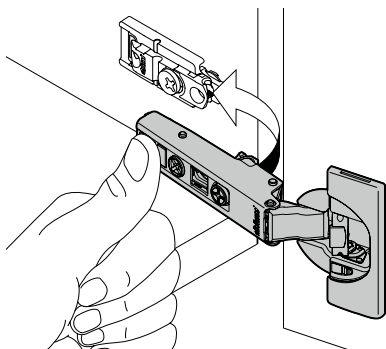


④ ヒンジアームを戻してください。



扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

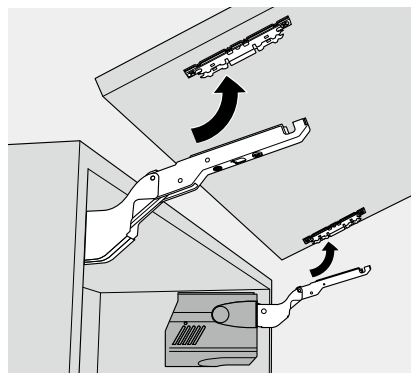
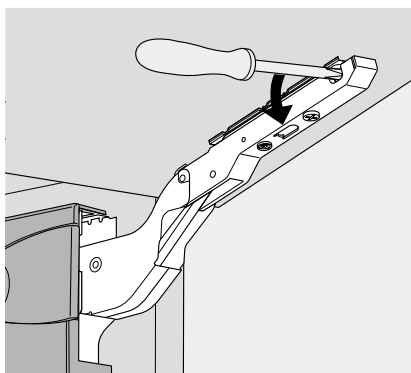
⑤ 扉をキャビネットに取り付けてください。



フラップ扉

■ フラップ扉の取外し

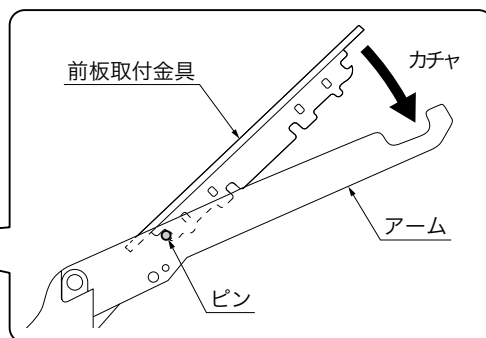
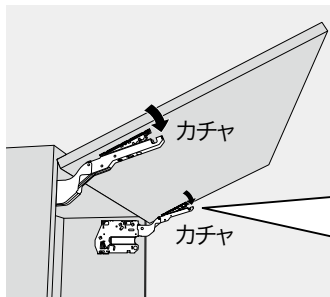
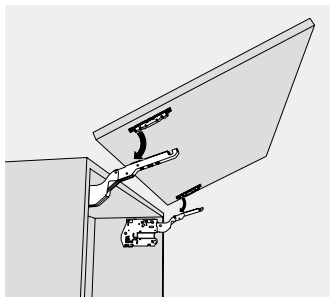
扉を開き、下図の箇所をマイナスドライバーで押し下げると扉が取り外せます。



■ フラップ扉の取付け

ステー本体のアームが上がった状態で、下図のように取り付けてください。

※ 取り付ける際には「カチャ」というクリック音を確認してください。

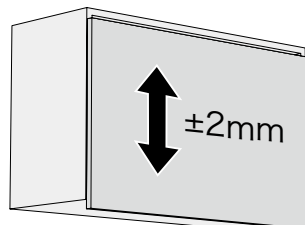
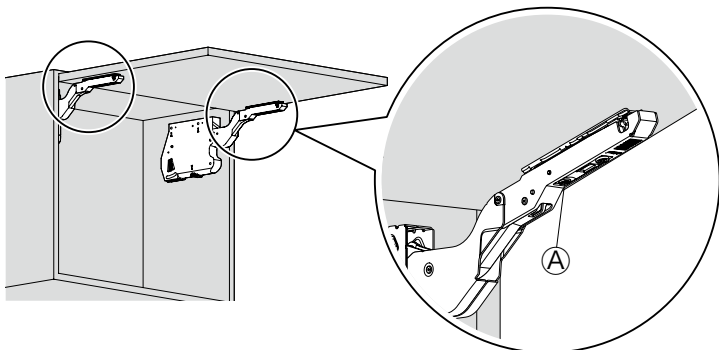


扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

■ フラップ扉の調整方法

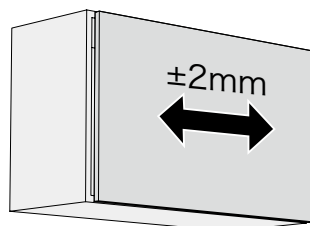
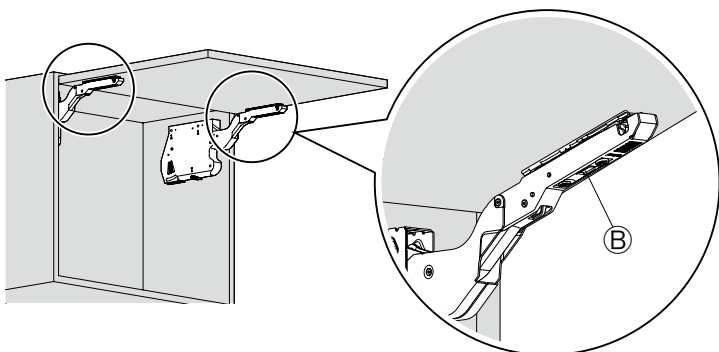
● 上下調整

ステー本体のアーム部分の①のネジをプラスドライバーで回し、扉を調整してください。
時計回りに回すと扉は下に、反時計回りに回すと扉は上に移動します。



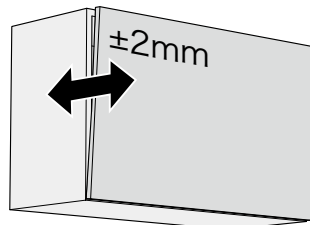
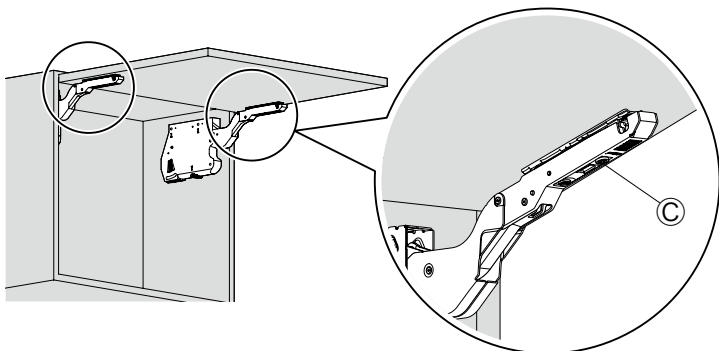
● 左右調整

ステー本体のアーム部分の②のネジをプラスドライバーで回し、扉を調整してください。
時計回りに回すと扉は向かって右に、反時計回りに回すと扉は向かって左に移動します。



● 前後の傾き調整

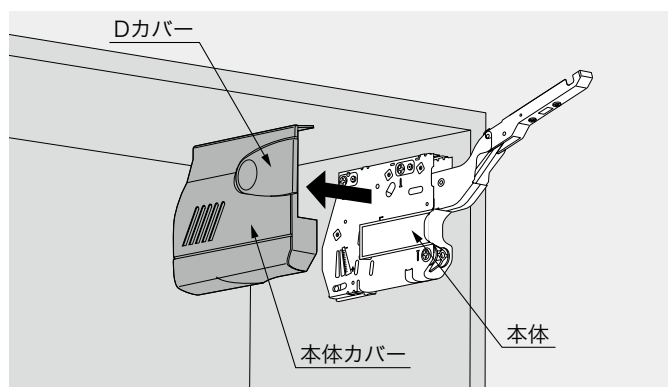
ステー本体のアーム部分の③のネジをプラスドライバーで回し、扉を調整してください。
時計回りに回すと扉の上部が手前に、反時計回りに回すと奥に移動します。



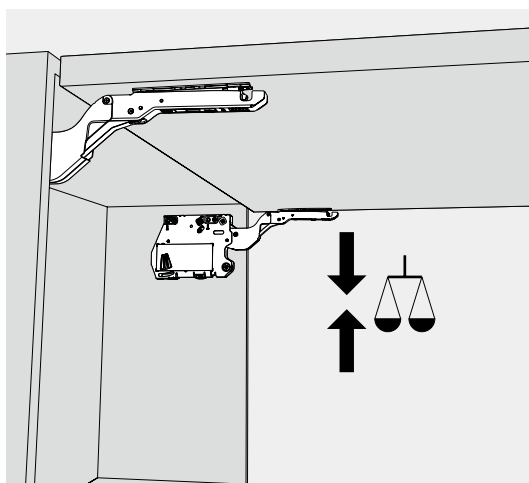
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

● 開閉バランスの調整

(1) ステアの本体カバーを取り外してから調整します。



(2) 図のように扉のバランスが取れる状態に調整してください。(調整方法は次のページに記載)

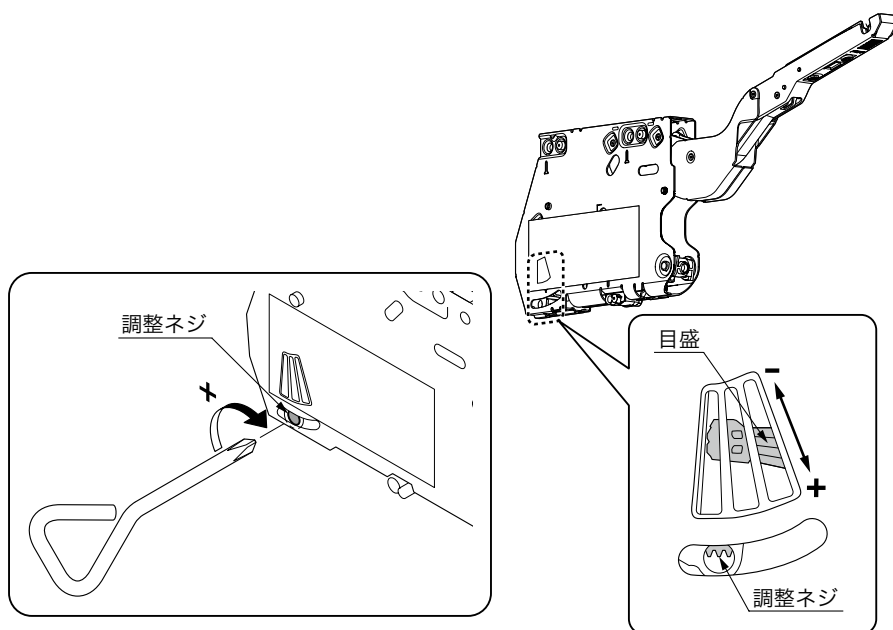


扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

▼ 扉が下がる場合

取付キットに同梱のプラスドライバー 2 番で、図のように時計回りに調整ネジを回転させてください。

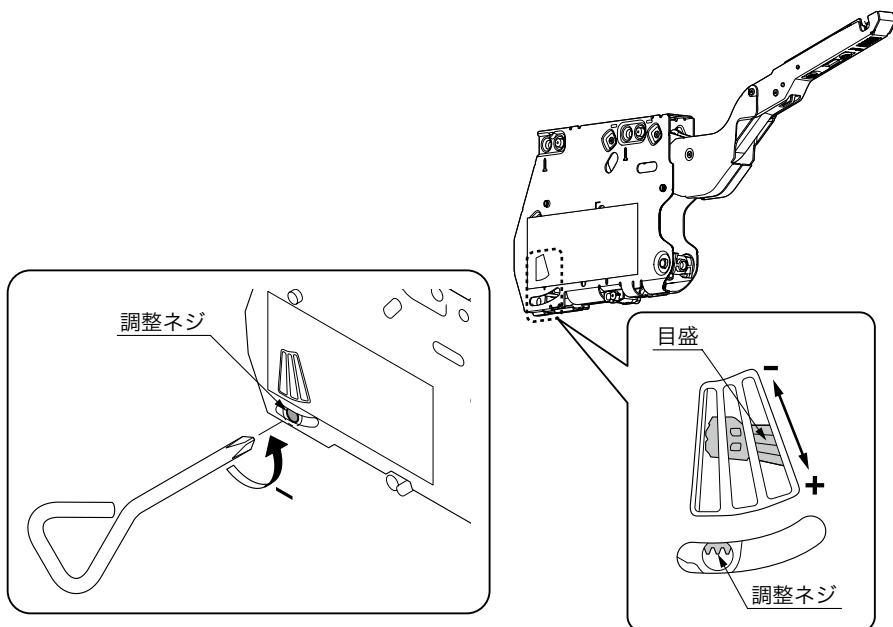
※ 調整は左右同様に行ってください。



▼ 扉が上がる場合

取付キットに同梱のプラスドライバー 2 番で、図のように反時計回りに調整ネジを回転させてください。

※ 調整は左右同様に行ってください。

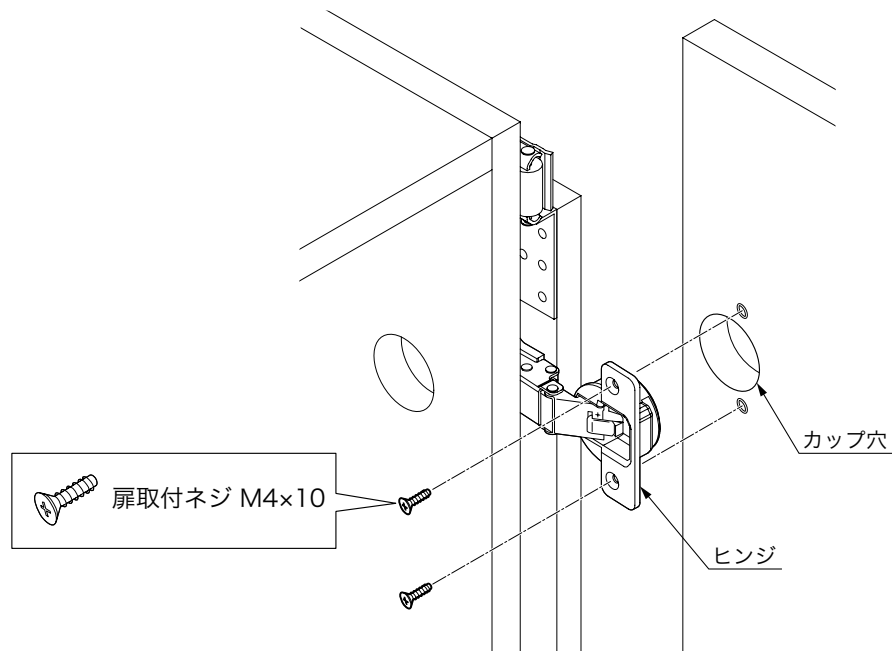


垂直フリッパー扉

■ 垂直フリッパー扉の取付け

扉を片手で支えながら作業を行ってください。

- ① 扉のカップ穴にヒンジを合わせてください。
- ② 扉取付ネジM4×10で扉にヒンジを取り付けてください。



■ 垂直フリッパー扉の取外し

扉を片手で支えながら作業を行ってください。

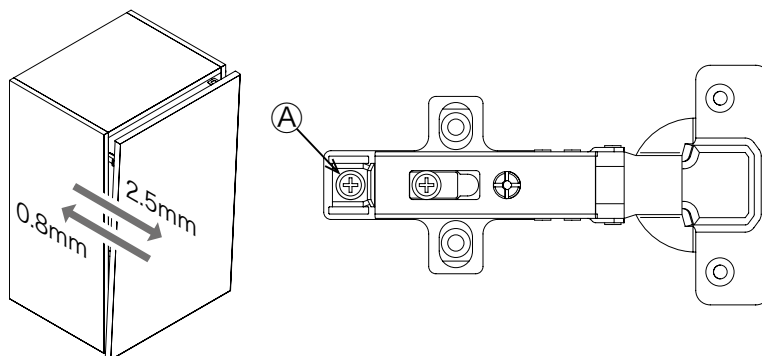
- ① 扉にヒンジを固定しているネジを取り外してください。
- ② 扉がヒンジから外れますのでゆっくり降ろしてください。

■ 垂直フリッパー扉の調整方法

● 奥行き方向調整

ネジ①を左右に回すことで奥へ0.8mm、手前に2.5mm調整することができます。

※ ネジ①を時計回りに回すと扉は奥へ移動します。



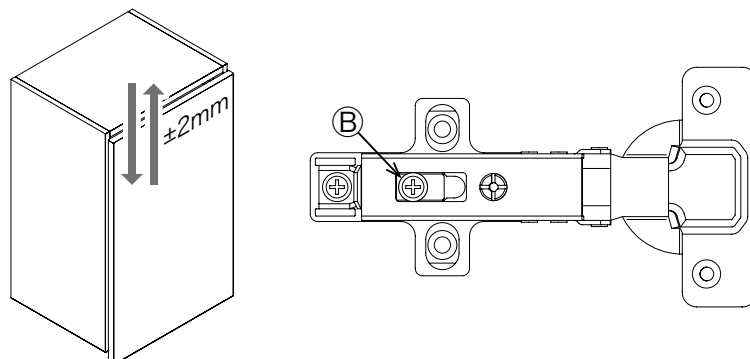
扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

● 上下調整

ネジ⑥を左右に回すことで上下調整することができます。

※ 左吊元の場合、ネジ⑥を時計回りに回すと扉は下方向に移動します。

※ 右吊元の場合、ネジ⑥を時計回りに回すと扉は上方向に移動します。



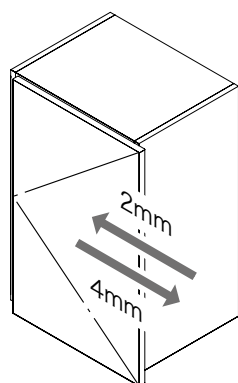
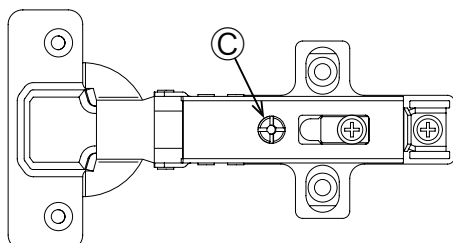
● 左右調整

ネジ⑦を左右に回すことで左右調整することができます。

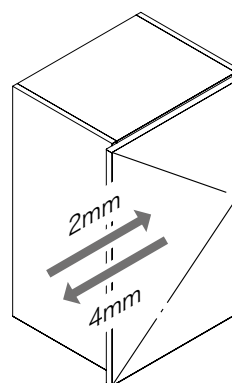
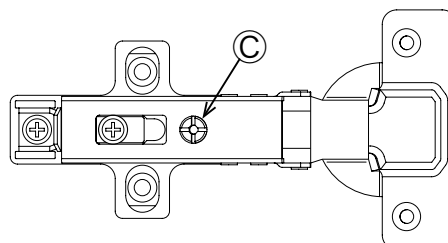
※ 左吊元の場合、ネジ⑦を時計回りに回すと扉は向かって右方向に移動します。

※ 右吊元の場合、ネジ⑦を時計回りに回すと扉は向かって左方向に移動します。

左吊元の場合



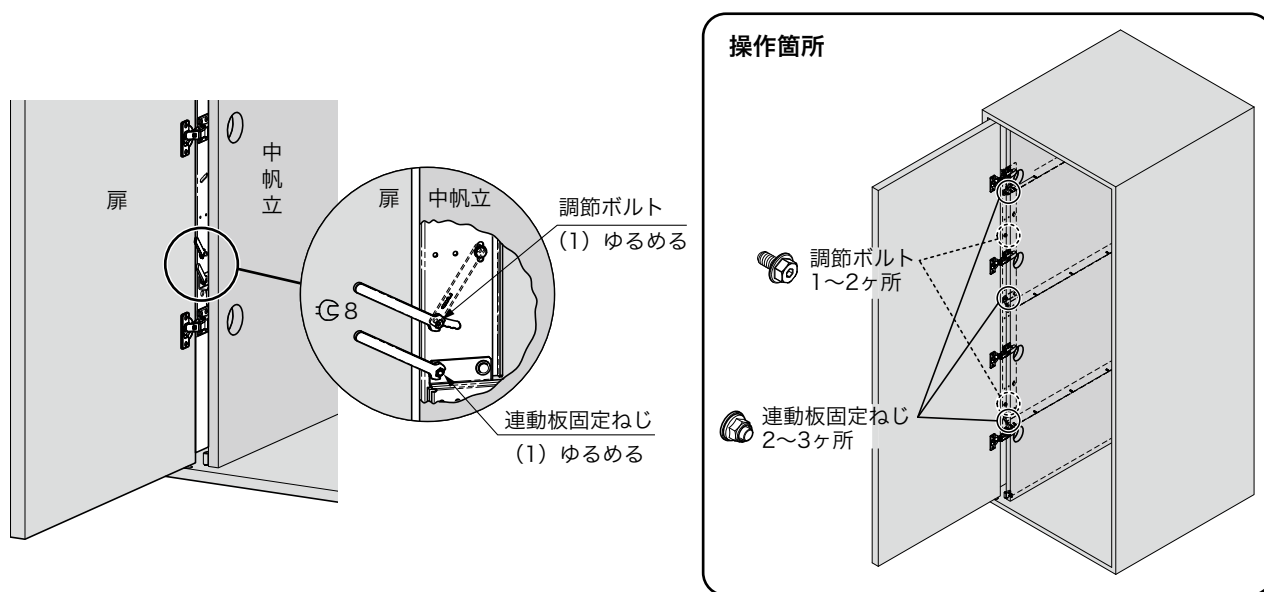
右吊元の場合



扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

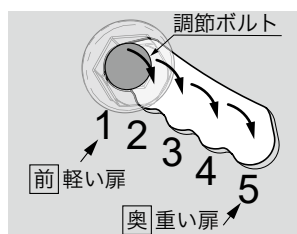
● 扉の垂れ調整

(1) 扉を引き出し、スパナで連動板固定ねじ・調節ボルトをゆるめてください。

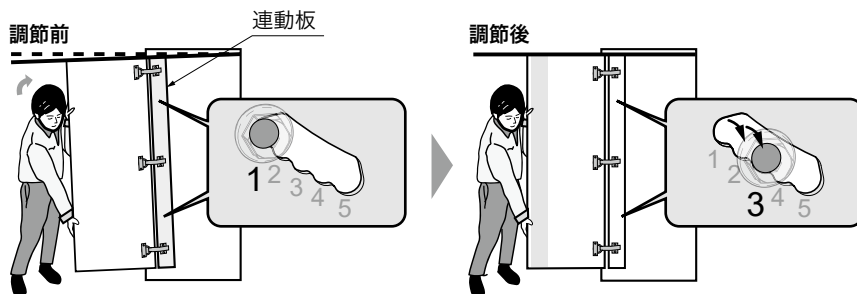


(2) 扉を持ち上げ、調節ボルトを一段階ずつ奥側にずらし、扉・連動板が垂直になるよう調整してください。

扉の質量に合わせ、
5段階の調節可能。

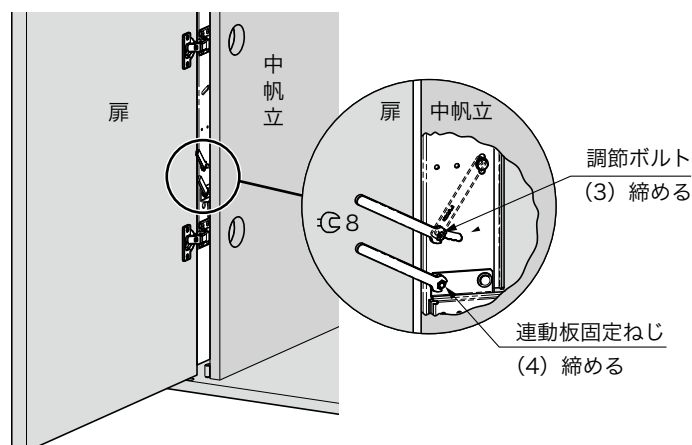


※調節ボルトが上下2ヶ所ある場合は、
位置を合わせてください。



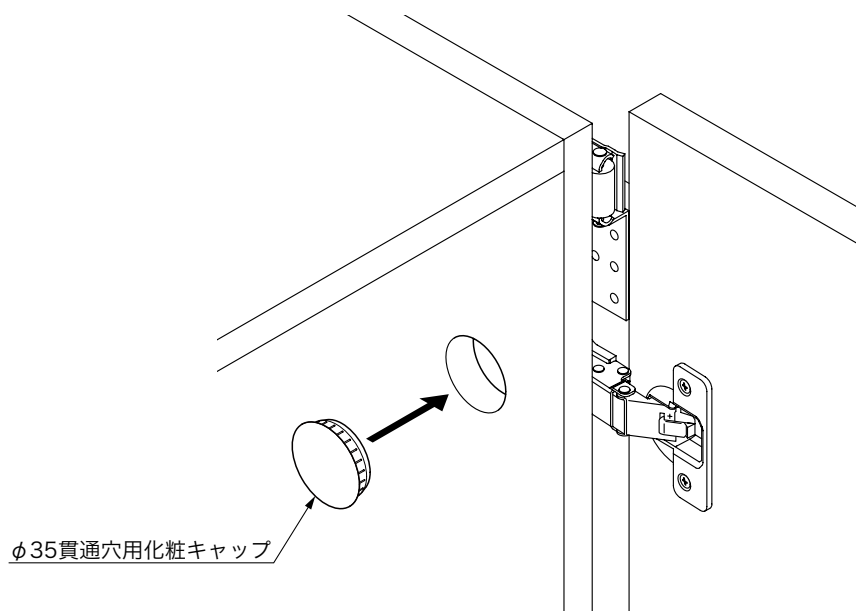
(3) 調整が終わりましたら、調節ボルトを締めてください。

(4) 連動板固定ねじを締めてください。



扉・棚板の取外し・取付け・調整方法

扉の調整が完了したら、側板の開口部にφ35貫通穴用化粧キャップを取り付けてください。

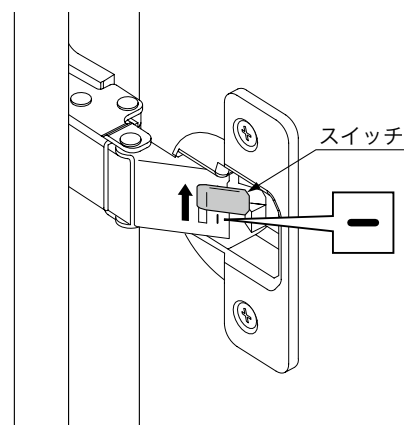
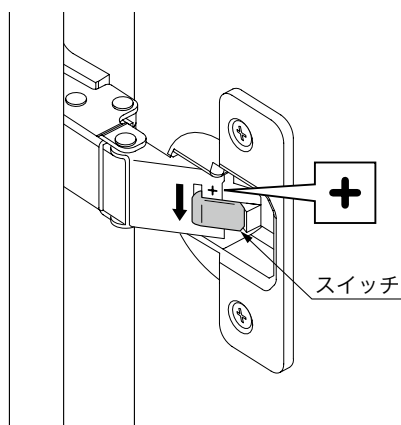


● 閉まり具合調整

ヒンジにはソフトクロー징機能が搭載されており、スイッチの切り替えで減速力の強弱が調整できます。扉が閉まる時の速度の調整は、ヒンジの強弱スイッチを1ヶ所ずつ切り替えて調整してください。

＋ 表示・・・減速力＜強＞

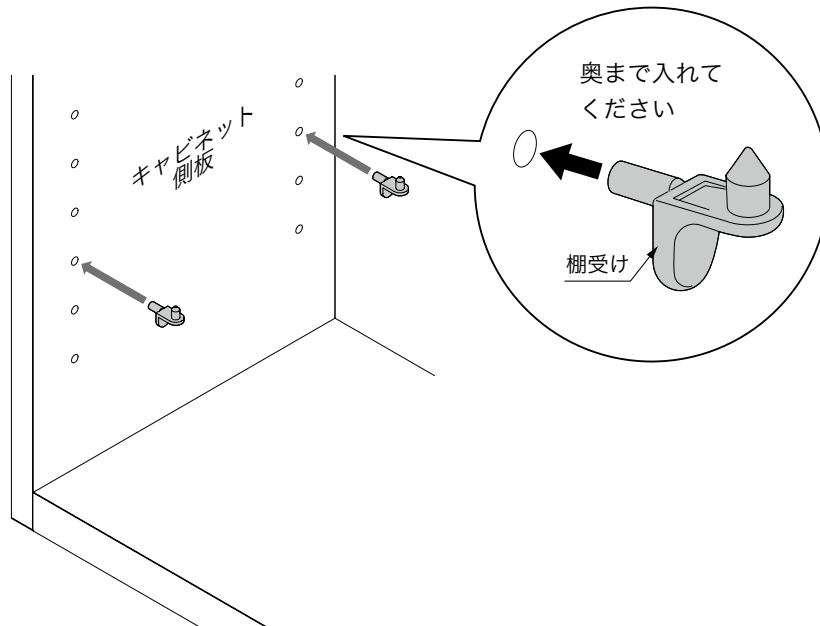
－ 表示・・・減速力＜弱＞



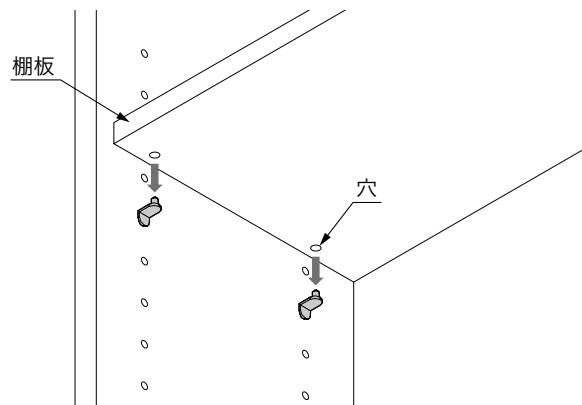
棚板

■ 棚板の取付け

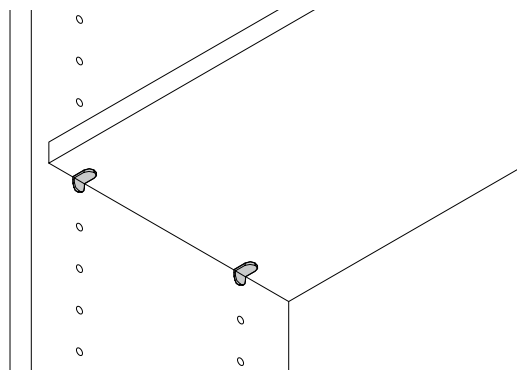
- ① キャビネットの側板のダボ穴に棚受けをしっかりと差し込んでください。



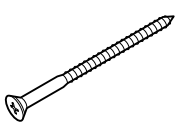
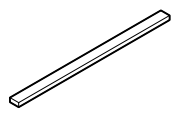
- ② 上方から棚板の穴に棚受けを差し込み、セットしてください。

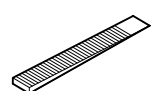
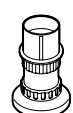
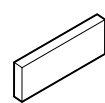
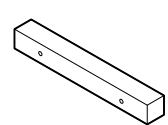
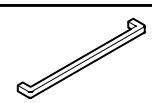
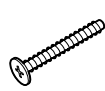


- ③ 棚板が確実に固定されていることを確認してください。

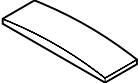
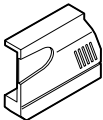
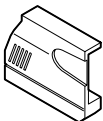
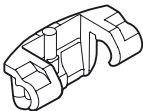
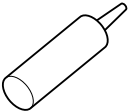
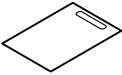


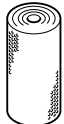
部品一覧表

部品	
連結ネジ φ4.5x28 (シルバー)	
・キャビネット連結 (側面/上面) ・サイドパネル取付 ・ワークトップ固定	
連結ネジ φ4.5x38 (ブラック)	
・巾木取付 ・棚下照明パネル取付	
連結ネジ φ4.5x75 (シルバー)	
・キャビネット壁固定	
L金具用固定ネジ φ3.5x13	
・アッパーキャビネット (垂直フリップパー扉) 背面ふさぎ板取付	
家電収納用上面連結ネジφ4x35	
・キャビネット連結 (家電収納上面) ・ワークトップ固定 (家電収納上面)	
連結ネジ用化粧キャップ	
・連結ネジ化粧 (側面/上面/背面)	
連結ネジ用化粧シール	
・巾木取付ネジ化粧 ・棚下照明パネル取付ネジ化粧	
レッグ調整穴用化粧キャップ	
・レッグ調整穴ふさぎ	
φ20貫通穴用化粧キャップ	
・ロングビット用貫通穴ふさぎ	
φ35貫通穴用化粧キャップ	
・垂直フリップパー扉調整用穴ふさぎ	
防水ゴム	
・15x1000xt5 ・サイドパネル下部用	

部品	
調整用クサビ	
・樹脂製レッグが付かない キャビネットの高さ調整 ・巾木固定位置調整	
樹脂製レッグ	
扉取付ネジ M4x10	
・垂直フリップパー扉取付	
扉緩衝材	
・垂直フリップパー戸当り	
ふかし材	
・アッパーキャビネット (垂直フリップパー扉) 壁面固定用	
把手 (ハンドル)	 ※実際の形状は把手の種類により異なります。
把手取付け用ネジ	
・ハンドル / つまみ用	

部品一覧表

部品	
ヒンジカップカバー	
・ 開き扉ヒンジ用	
アームカバー	
・ 開き扉ヒンジ用	
ステー本体カバー (L)	
・ フラップ扉用	
ステー本体カバー (R)	
・ フラップ扉用	
Dカバー	
・ フラップ扉用	
棚受け (可動棚用)	
86°角度ストッパー	
・ 一般ヒンジ用	
シリコンシーリング剤	
・ カップボード横並び時のワークトップ突き付け部分 ・ カップボードトール側サイドパネル〜ワークトップ のクリアランス部分	
取扱説明書保管袋	
取付 / 取扱説明書	

部品	
養生テープ	
エアパッキン	
・ 養生用	

下記のURLまたはQRコードから取付動画の再生ページへアクセスできます。



カップボードの取付け 基本編

https://graftekt.jp/manual-attach/backset/mov_backset/title/15-0